

2022年度 現代英語学科 シラバス

■ 目次

1.	1年生 教育課程(カリキュラムマップ)		4
2.	1年生 カリキュラムツリー		5
3.	1年生 年間予定表		6
4.	1年生 シラバス		8

開講科目	頁	開講科目	頁
日本語表現法	8	Chorus English	47
国際文化	9	海外研修	48
心理学	10	オンライン語学研修	49
情報処理Ⅰ	11	ビジネスプロトコール	50
情報処理Ⅱ	12	秘書実務	51
Oral CommunicationⅠ	13	エアラインサービス	52
Oral CommunicationⅡ	17	フランス語Ⅰ	54
ListeningⅠ	21	キャリア形成演習Ⅰ	55
ListeningⅡ	25	キャリア形成演習Ⅱ	56
Reading & VocabularyⅠ	29	基礎ゼミ	57
Reading & VocabularyⅡ	33	総合演習Ⅰ	58
Grammar & CompositionⅠ	37	TOEIC Preparation	63
Grammar & CompositionⅡ	41	STEP Preparation	64
Extensive Reading	45		

5.	2年生 教育課程(カリキュラムマップ)		66
6.	2年生 カリキュラムツリー		67
7.	2年生年間予定表		68
8.	読み替え対応表		70
9.	2年生 シラバス		71

開講科目	頁	開講科目	頁
歴史と文化	71	Advanced Reading	86
法律入門	72	English for Tourism	87
現代の社会	73	Cinema English	88
Oral CommunicationⅢ	74	Drama Workshop	89
Business Communication	78	観光ビジネス論	90
Essay Writing	79	フランス語Ⅱ	91
Media English	82	総合演習Ⅱ	92
Public Speaking	84	総合演習Ⅲ	97
Debating Skills	85		

9.	ナンバリング		104
10.	学科教員一覧		109
11.	実務経験を有する教員一覧		109
12.	オフィスアワー、成績評価		110

現代英語学科

1 年生

(2022年度入学生)

- 教育課程（カリキュラムマップ）
- カリキュラムツリー
- 年間予定表
- シラバス

学修成果（到達目標）

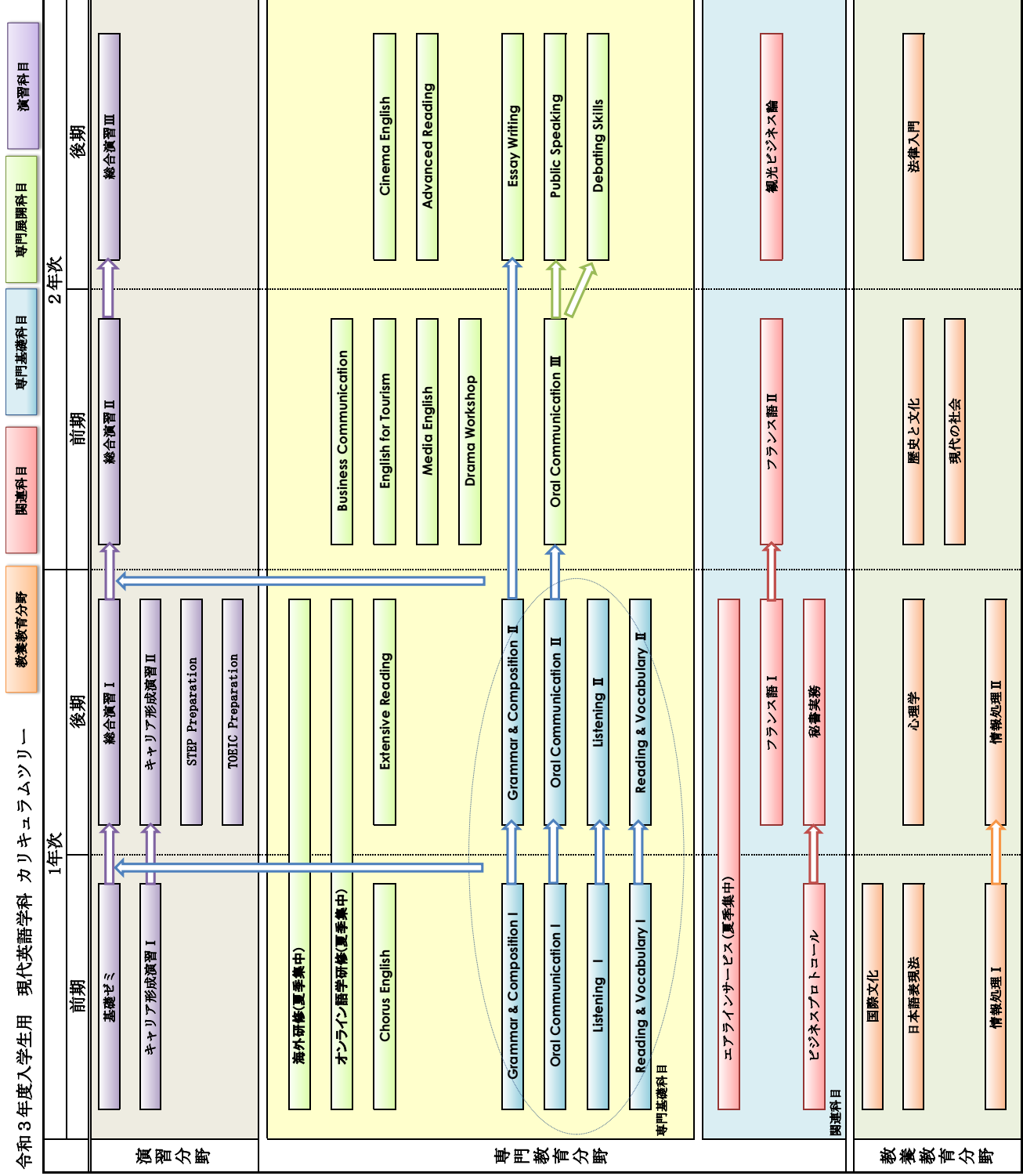
- 1 **【基礎力】** 一般教養並びに各専門分野の基礎的能力
 - ① 人間、社会、文化などについての教養を身につけている。
 - ② 身近な話題に関して対応することができる英語4技能を身につけている。（CEFR-B1レベル程度）
- 2 **【実践力】** 各分野の実際の場面に対応できる力
 - ① 自立した英語使用者として、臆せずコミュニケーションを図ることができる。
 - ② 他者の考えを理解し、多角的に物事を捉えながら、自分の考えを構築し表現することができる。
- 3 **【人間関係力】** 専門職・社会人として必要な人間性・コミュニケーション能力
 - ① 社会や職場に必要なコミュニケーション能力を身につけ、他者と良好な人間関係を築くことができる。
 - ② 基本的なプロトコルやビジネス実務能力を身につけ、実践することができる。
- 4 **【生涯学習力】** 生涯にわたって学び、成長できる力
 - ① 生涯にわたって課題を発見し、解決する力を身につけている。
 - ② 変化に富むグローバル社会において、生涯を通じて自分を成長させることができる。
- 5 **【地域理解力】** 地域・文化の多様性を理解し、地域に貢献できる力
 - ① 自国の歴史・文化・社会・経済について理解し、異文化間コミュニケーションに役立てることができる。
 - ② 様々な地域の文化・社会を知り、それぞれの価値観に対応して調和と共生を積極的に図ることができる。

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力
学修成果とは、学生がその授業科目で何ができるようになったかを表すものです。					
●は、各授業科目が学修成果の1～5のどれに当てはまるかを表すものです。					

現代英語学科 カリキュラムマップ

科目区分			授業科目の名称	授業回数	履修年次・学修成果										単位数			
					1年					2年					必修	選択		
					前期	後期	学修成果					前期	後期	学修成果				
1	2	3	4	5			1	2	3	4	5							
教養教育分野	人間と文化	日本語表現法	15	○		●	●									1		
		国際文化	15	○			●			●							2	
		歴史と文化	15								○				●	●	2	
	人間と社会	心理学	15		○			●	●								2	
		法律入門	15								○	○	●		●		2	
		現代の社会	15								○		●			●	2	
	人間と科学	情報処理Ⅰ	15	○				●	●								1	
		情報処理Ⅱ	15		○				●	●								1
専門教育分野	専門基礎科目	Oral CommunicationⅠ	30	○		●	●										2	
		Oral CommunicationⅡ	30		○	●	●											2
		ListeningⅠ	30	○		●	●											2
		ListeningⅡ	30		○	●	●											2
		Reading & VocabularyⅠ	30	○		●	●											2
		Reading & VocabularyⅡ	30		○	●	●											2
		Grammar & CompositionⅠ	30	○		●	●											2
		Grammar & CompositionⅡ	30		○	●	●											2
	専門展開科目	Oral CommunicationⅢ	30								○			●			●	2
		Business Communication	15								○			●	●			2
		Essay Writing	15									○	●	●				2
		Media English	15								○			●			●	2
		Public Speaking	15									○※		●	●			2
		Debating Skills	15									○※		●	●			2
		Extensive Reading	15		○	●	●							●				2
		Advanced Reading	15									○		●		●		2
		English for Tourism	15								○			●			●	2
		Chorus English	15	○		●	●											2
		Cinema English	15									○		●			●	2
		Drama Workshop	15								○			●			●	2
		海外研修	集中		○	●	●	●	●	●								2
		オンライン語学研修	集中		○	●	●	●	●	●								1
	関連科目	ビジネスプロトコール	15	○				●	●									2
		秘書実務	15		○			●	●									2
		観光ビジネス論	15									○			●		●	2
		エアラインサービス	15		○			●		●								2
		フランス語Ⅰ	15		○				●	●								1
		フランス語Ⅱ	15								○				●	●		1
演習分野	演習科目	キャリア形成演習Ⅰ	15	○				●	●								1	
		キャリア形成演習Ⅱ	15		○			●	●								1	
		基礎ゼミ	15	○		●	●	●									1	
		総合演習Ⅰ	15		○	●	●	●	●	●							1	
		総合演習Ⅱ	15								○			●	●	●	●	1
		総合演習Ⅲ	15									○		●	●	●	●	1
		TOEIC Preparation	15		○	●	●											1
		STEP Preparation	15		○	●	●											1
		総計（卒業要件62単位以上）															40	34

※選択必修（Public Speaking / Debating Skills より、2単位以上必修）



2022年度 現代英語学科1年生 年間予定表

前期

	日	月	火	水	木	金	土
4月						1	2
	3	4	5	6 入学式	7 オリエンテーション	8 オリエンテーション	9
	10	11 1	12 健康診断	13 健康診断	14 1	15 1	16
	17	18 2	19 1	20 1	21 2	22 2	23
	24	25 3	26 2	27 2	28 3	29 昭和の日	30
5月	1	2	3 憲法記念日	4 みどりの日	5 こどもの日	6 3	7
	8	9 4	10 3	11 3	12 4	13 4	14
	15	16 5	17 4	18 4	19 5	20 5	21
	22	23 6	24 5	25 5	26 6	27 6	28
	29	30 7	31 6	1 6	2 7	3 7	4
6月	5	6 8	7 7	8 7	9 8	10 8	11
	12	13 9	14 8	15 8	16 9	17 9	18
	19	20 10	21 9	22 9	23 10	24 10	25
	26	27 11	28 10	29 10	30 11	1 11	2
7月	3	4 12	5 11	6 11	7 12	8 12	9
	10	11 13	12 12	13 12	14 13	15 13	16
	17	18 海の日	19 13	20 13	21 14	22 14	23
	24	25 14	26 14	27 14	28 15	29 15	30
	31	1 15	2 15	3 15	4 予備日	5 定期試験	6
8月	7	8 定期試験	9 追試験	10	11 山の日	12	13
	14	15	16	17	18	19 不合格者発表	20
	21	22	23	24	25 再試験	26	27
	28	29	30	31	1	2	3
9月	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17
	18	19 敬老の日	20	21	22 オリエンテーション	23 秋分の日	24
	25	26 1	27 1	28 1	29 1	30 1	1

※振替授業日については、変更になる場合があります。LMSや掲示にて確認してください。

※追試験の日程については、別途、LMSや掲示にて確認してください。

※再試験の日程については、変更になる場合があります。LMSや掲示にて確認してください。

2022年度 現代英語学科1年生 年間予定表

後期

	日	月	火	水	木	金	土
9月	18	19 敬老の日	20	21	22 オリエンテーション	23 秋分の日	24
	25	26 1	27 1	28 1	29 1	30 1	1
10月	2	3 2	4 2	5 2	6 2	7 2	8
	9	10 スポーツの日	11 3	12 3	13 3	14 3	15
	16	17 3	18 4	19 4	20 4	21 4	22
	23	24 4	25 5	26 5	27 5	28 せいよう祭 準備日	29 せいよう祭
	30	31 5	1 6	2 6	3 文化の日	4 5	5
11月	6	7 6	8 7	9 7	10 6	11 6	12
	13	14 7	15 8	16 8	17 7	18 7	19
	20	21 8	22 9	23 勤労感謝の日	24 8	25 8	26
	27	28 9	29 10	30 9	1 9	2 9	3
12月	4	5 10	6 11	7 10	8 10	9 10	10
	11	12 11	13 12	14 11	15 11	16 11	17
	18	19 12	20 13	21 12	22 12	23 12	24
	25	26	27	28	29	30	31
1月	1	2	3	4 13	5 13	6 13	7
	8	9 成人の日	10 14	11 14	12 14	13 14	14
	15	16 13	17 15	18 15	19 15	20 15	21
	22	23 14	24 月 15	25 予備日	26 定期試験	27 定期試験	28
	29	30 定期試験	31 追試験	1	2	3 不合格者発表	4
2月	5	6	7	8 再試験	9	10	11 建国記念の日
	12	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23 天皇誕生日	24	25
	26	27	28	1	2	3	4
3月	5	6	7	8	9	10	11
	12	13	14	15	16	17	18
	19	20	21 春分の日	22	23	24	25
	26	27	28	29	31	31	

※振替授業日については、変更になる場合があります。LMSや掲示にて確認してください。

※追試験の日程については、別途、LMSや掲示にて確認してください。

※再試験の日程については、変更になる場合があります。LMSや掲示にて確認してください。

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CO-0-HCU-01				
	●		●							
科目名	日本語表現法				単位 認定者	徳田 幸雄		評価の方法	授業内課題 (チェックテスト)	100 %
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	1 年	開講時期	前期	単位数	1 単位			
						授業時間数	30 時間			
					授業形態	演習	授業回数		15 回	
授業の概要	書き言葉と話し言葉における日本語運用の基本を学び、論理的なコミュニケーションの手段である言語表現を効果的に実現する基礎能力を養う。まず日本語の特徴的な知識について学び、日本語運用の基本を身に付ける。その上で、書き言葉・話し言葉等の様々な表現行為に触れ、自らも表現し、相手に伝わる表現について実践的理解を深める。具体的な場面での適切な表現方法を実際に考えることで、大学や社会で必要となる日本語表現の様々なスキルを獲得することを目指す。									
到達目標	日常生活において、適切な言葉で表現・伝達できる力を身につける。 ・日本語の特徴を理解するとともに、正しい敬語表現を身につける。 ・目的に合わせた文章（文書）作成ができるようになる。									
学修者への期待等	日本語を知ることは日本文化を知ることでもある。社会人のための教養という面だけではなく、自らの文化を再認識・再評価し、さらには自身のルーツを見つめ直す機会としてもらいたい。									
回	授業計画					準備学修				
1	ガイダンス 世界から見た日本語の特徴					日本語と英語との相違を考えてみよう。(10分程度)				
2	日本語の歴史					前回のチェック・テストの復習。(10分程度)				
3	ことばと表現①(熟語、語句)					前回のチェック・テストの復習。(10分程度)				
4	ことばと表現②(ことわざ、故事成語)					前回のチェック・テストの復習。(10分程度)				
5	敬語表現①(敬語の基本)					前回のチェック・テストの復習。(10分程度)				
6	敬語表現②(尊敬語と謙譲語)					前回のチェック・テストの復習。(10分程度)				
7	修飾語と被修飾語との関係					前回のチェック・テストの復習。(10分程度)				
8	修飾語と被修飾語との関係(練習問題)					前回のチェック・テストの復習。(10分程度)				
9	句読点の打ち方(原則論)					前回のチェック・テストの復習。(10分程度)				
10	句読点の打ち方と文章要約(述語への着目)					前回のチェック・テストの復習。(10分程度)				
11	句読点の打ち方と文章要約(必要な点と不要な点)					前回のチェック・テストの復習。(10分程度)				
12	句読点の打ち方と文章要約(境界の点)					前回のチェック・テストの復習。(10分程度)				
13	句読点の打ち方と文章要約(逆転の点)					前回のチェック・テストの復習。(10分程度)				
14	句読点の打ち方と文章要約(自由の点)					前回のチェック・テストの復習。(10分程度)				
15	文章の構成									
教科書	プリントを配布する。									
参考文献	「日本語の作文技術（朝日文庫）」本多勝一著 朝日新聞出版 「大学生のための日本語表現実践ノート」米田明美他著 風間書房									
備考	講義はすべて遠隔（オンデマンド）で実施する。									
※以下は該当者のみ記載する。										
実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)										

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力	科目ナンバリング CE-0-HCU-03					
		●			●						
科目名	国際文化				単位 認定者	スミス・アンソニー		評価 の方法	試験(筆記)	50	%
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	1 年	開講時期	前期	単位数	2 単位		授業内課題	30	%
						授業時間数	30 時間		受講態度	20	%
					授業形態	講義	授業回数		15 回		
授業の概要	国際社会が身近になる中で、異なる文化背景を有する他者との共存、それに伴う異文化理解を求められている。英語を専門として学修する者にとっては取り分け、英語圏文化背景への知識が必要となる。本講義では、必須の教養と従来から言われてきた、「ギリシャ・ローマ神話、聖書、シェイクスピア」の三本の柱を建てて、西洋社会、英語圏文化へのアプローチを試みる。										
到達目標	本講義では、英語圏社会との関わりにおいて、必須とされる「教養」の基本を知ること、言語への理解を含めて、文化理解を深めることを目標とする。										
学修者への 期待等	受講者間でのディスカッションやコメントシートなど、授業の内容に関して自身の意見をアウトプットする時間を設ける。アクティブラーニングを期待する。										
回	授業計画					準備学修					
1	授業ガイダンスとギリシャ・ローマ神話への導入										
2	創世神話 ① ガイアとウラノスを中心に					資料精読 (概ね30分)					
3	創世神話 ② クロノスとレアを中心に					資料精読 (概ね30分)					
4	ダイダロスとイカロス					資料精読 (概ね30分)					
5	オルペウスとエウリュディケ					資料精読 (概ね30分)					
6	ペルセウスとメドゥーサ					資料精読 (概ね30分)					
7	テセウスとミノタウルス					資料精読 (概ね30分)					
8	ギリシャ・ローマ神話の翻案、パロディーなど					資料精読 (概ね30分)					
9	キリスト教、ユダヤ教、イスラム教の世界					資料精読 (概ね30分)					
10	旧約聖書 創世記から出エジプトまで					資料精読 (概ね30分)					
11	新約聖書 四つの福音書を中心に					資料精読 (概ね30分)					
12	アメリカ大統領とキリスト教					資料精読 (概ね30分)					
13	イスラム教の聖典に描かれている「ノアの箱舟」					資料精読 (概ね30分)					
14	シェイクスピアの四大悲劇 ① ハムレットとオセロ					資料精読 (概ね30分)					
15	シェイクスピアの四大悲劇 ② マクベスとリア王					資料精読 (概ね30分)					
教科書	講義にてプリントを配布する										
参考文献	講義中に適宜指示する。										
備考	状況により遠隔授業に変更する場合がある。										
※以下は該当者のみ記載する。											
実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)											

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-0-HSO-01				
			●	●						
科目名	心理学				単位認定者	宇野 忍		評価の方法	試験(筆記)	70 %
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	選択	1 年	開講時期	後期	単位数	2 単位		受講態度	30 %
					授業形態	講義	授業時間数		30 時間	
							授業回数		15 回	
授業の概要	人間を理解するため、自分をより知るために、心理学という学問を体系的に学ぶ。認知心理学をはじめ、認知発達及び社会発達、パーソナリティ、社会心理学といった主な領域を中心に、心理学全般における理解と基礎的知識の修得を目指す。									
到達目標	①心理学はどんな科学かを例をあげて説明できる。 ②感覚・知覚・認知、学習・記憶、発達、パーソナリティ、テストと測定、説得とコミュニケーションなどに関する心理学の基礎的概念について例を挙げて説明できる。									
学修者への期待等	授業で得た知識を記憶するだけでなく、自分の周囲の物事に使って、自分の事例や例外を探してほしい。自分のつまずきや驚き、違和感を大切に、本当はどうかを追求してほしい。									
回	授業計画					準備学修				
1	心理学はどんな対象を、どんな方法で研究し、どんな規則性を明らかにする科学かー心理学史					事前準備：「心理学」に対する自分のイメージを箇条書きにしてみよう。(概ね30分)				
2	なぜ幼児は変なひらがなを書くのか、どう援助すればわかるかー心理学研究の具体例					事前準備：ひらがなを学び始めた頃の自分の書き間違いを思い出してみよう。(概ね30分)				
3	感覚・知覚・認知という心のはたらきは知識にどう左右されるのかー感覚・知覚・認知とは何か					事前準備：錯覚とは何か、どんなものがあるかを調べておこう。(概ね30分)				
4	発達とは何か；発達はどんな様相を示すのか					事前準備：発達期について調べよう。(概ね30分)				
5	発達をもたらすものは何かー成熟説という考え					事前準備：成熟説について調べよう。(概ね30分)				
6	発達をもたらすものは何かー発達の最近接域理論という考え					事前準備：ヴィゴツキーの発達の最近説領域理論を調べよう。(概ね30分)				
7	学習とは何かー学習の過程の基本的特徴とは何か					事前準備：アリの絵を描いてみる。描いた後で知りたくなったことは何か確かめよう。(概ね30分)				
8	問題解決の仕方と学習のタイプ＝学習は一種類か					事前準備：ジャンケンができるためにできなければならないことはなに」か、考えよう。(概ね30分)				
9	忘れやすい記憶、忘れにくい記憶とは					「鎌倉幕府の成立は1192年」という歴史上の事柄を記憶してみよう。(概ね30分)				
10	テストと測定ー心を測るものさしとしての心理テスト(知能検査、性格検査、適性検査)					事前準備：今までに受けた心理テストは何を測定しているか、考えてみよう。(概ね30分)				
11	パーソナリティとは何かー類型論、特性論					事前準備：性格に対する類型論・特性論を調べよう。(概ね30分)				
12	私たちはいつでも同じパーソナリティを示すか、一状況主義的パーソナリティ					事前準備：自分はどんな状況でも同じパーソナリティの持ち主か、内省しよう。(概ね30分)				
13	私たちはいつ人間になるのか、日本人になるのかー群れと文化とモデル・パーソナリティ					事前準備：日本人の赤ん坊は人間か、日本人か考えよう。(概ね30分)				
14	思考と人格ー二値的思考と権威主義的人格・偏見					事前準備：周囲の物事や人間などに対する偏見はなぜ起こるか、考えよう。(概ね30分)				
15	人はなぜ説得されにくいのかー説得とコミュニケーション					事前準備：自分はどんなときに説得されやすいか、自分の経験を内省しよう(概ね30分)				
教科書	特に指定しません。毎回の授業で資料を配布します。									
参考文献	授業内で適宜紹介します。									
備考	授業後にコメントペーパーに授業内容への質問・意見等を書いてもらい、それらへ回答することで授業環境を応答的なものにします。コメントペーパーの内容は受講態度として成績に反映します。									
※以下は該当者のみ記載する。										
実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)										

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力	科目ナンバリング					
			●	●		CO-0-HSC-01					
科目名	情報処理 I				単位 認定者	氏家 留美子		評価 の方法	試験（筆記）	50	%
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	1 年	開講時期	前期	単位数	1 単位		授業内課題	20	%
						授業時間数 <td>30 時間</td> <td>受講態度</td> <td>30</td> <td>%</td>	30 時間		受講態度	30	%
				授業形態	演習	授業回数 <td>15 回</td> <td></td> <td></td> <td></td>	15 回				
授業の概要	現代のコミュニケーションツールとして重要な位置を占めるパソコンを用いて、文書作成やデータ処理など情報伝達・発信方法の基礎を学ぶ。加えて、パソコンをコミュニケーションツール、ビジネスツールとして活用する能力を養う。また、パソコンを使う者のマナー、情報保護の意識等も学修する。										
到達目標	パソコンの基本操作を修得し、業務内でWord・Excel・PowerPointが効率的に使用出来ることを目標とする。 ◆Word：書式設定や印刷設定を適切に使える。表・図形・写真を取り入れた表現力のある文書を作成できる。 ◆Excel：書式設定をして表を整えることができる。適切な計算式や関数を使える。グラフを作成できる。 ◆PowerPoint：プレゼンテーションについて理解し、訴求力のあるスライド作成とスライドショー実施ができる。										
学修者への期待等	パソコンの基本操作から行う。操作が苦手な者は、これを機に操作が出来るようにすること。 操作が出来る者であっても、自分にとって不足しているスキルはより向上するよう学修すること。 操作がわからない部分はそのままにせず、演習中に巡回をするので質問をして確認すること。 教材データを保存するために、USBメモリを授業2回目以降で使用する。授業1回目の時にUSBメモリについては詳しく説明するので、2回目の授業までに各自準備しておくこと。										
回	授業計画					準備学修					
1	基礎知識：Windowsの基本操作 Word：入力方法・ビジネス文書入力・保存					【予習について】 マウス操作・入力操作は各自できるようにして授業に臨むこと。特に入力操作が苦手な場合は、タイピングの練習をして技術を向上させること。 (30分程度) 【復習について】 Word・Excelは、はじめは基礎内容から入り、段階的に応用内容に進んでいくため、各回の内容をしっかりと身につけ、次の授業へ臨むこと。 授業内に完成しなかった作成物は、次回までに完成しておくこと。 これまでの経験によって、パソコンスキル（技能）は各人で異なるため、自分の現在のスキルを把握し、学修したパソコン操作が身についていないと感じる場合は、授業で作成したものを繰り返し操作して復習すること。 (各自のスキルにより30分～1時間程度)					
2	Word：文書の書式設定・印刷設定										
3	Word：表を取り入れた文書の作成										
4	Word：段落の網かけ・均等割り付け・ルビ・囲い文字・傍点・段組み・ヘッダーフッター										
5	Word：イラスト・写真・ワードアート・図形描画										
6	Word：レポートなどの長文作成時の効率的な機能 情報保護：情報セキュリティ・著作権に関する知識										
7	PowerPoint：スライドの作成・アニメーションの設定 スライドショーの実施方法・印刷設定										
8	PowerPoint：図解表現の手法・指示するテーマを元に課題の作成										
9	Excel：入力と編集方法・数式や関数（SUM・AVERAGE）・書式設定・行列操作・表示形式・保存・印刷設定										
10	Excel：相対参照と絶対参照の使い分けをした数式										
11	Excel：基本的な関数（MAX・MIN・COUNT・COUNTA）										
12	Excel：グラフ作成										
13	Excel：データベースの操作（並べ替え・フィルター）										
14	Excel：条件を指定する関数（IF・COUNTIF・SUMIF関数など）										
15	Excel：一覧表から参照する関数（VLOOKUP関数など） Excel関数のまとめ										
教科書	「30時間アカデミック Office2019 Windows 10対応」 杉本くみ子／大澤栄子 実教出版										
参考文献	進行に応じて適宜プリントを配付する。										
備考	授業内容は、クラス全体の操作の進捗により前後する場合もある。 「試験」は、Word・Excel・PowerPointの使用方法に関する筆記試験を行う。 「課題」は、指示した作成ファイルをデータ形式で提出する。後日、添削をした上で各学修者へ返却する。 当科目は情報処理室で実施する。パソコンの操作手順を示す際に講師の操作画面を各学生のパソコン画面へ映す授業支援システム(SkyClassesMng)を利用する。										

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング					
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-0-HSC-01					
			●	●							
科目名	情報処理Ⅱ				単位認定者	氏家 留美子		評価の方法	小テスト	50	%
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	選択	1 年	開講時期	後期 <th>単位数</th> <td>1 単位</td> <td>授業内課題</td> <td>20</td> <td>%</td>	単位数	1 単位		授業内課題	20	%
						授業時間数	30 時間		受講態度	30	%
				授業形態	演習	授業回数	15 回				
授業の概要	現代社会の基盤を構成している情報にかかわる知識や技術を科学的な見方・考え方で理解し、修得する。情報機器操作能力のさらなる向上を目指し、情報に関する科学的思考力・判断力等を養う。併せて、情報を取捨選択する能力・態度を育てる。また、情報通信ネットワークやメディアの特性・役割を十分に理解し、情報を安全かつ適切に活用できる能力を養う。										
到達目標	情報を適切に活用するITリテラシーのスキル向上を目指す。 Word・Excelなどのビジネスソフトを使いこなす技術を身につけ、作業を効率化でき、生産性を高めることができる。										
学修者への期待等	情報処理Ⅰにおいて学修した内容を充実させ、さらなる操作力の向上を図る。また、サーティファイ認定試験対策を通じてタッチタイピング能力の向上を図り、各種ソフトの応用操作力を身に付け、情報を適正・安全に利用する事を学ぶ。 各自が作成したデータを保存するためのUSBメモリを準備すること。										
回	授業計画					準備学修					
1	認定試験の実施概要と出題範囲の確認 ITリテラシー向上の必要性・セキュリティの知識 タッチタイピングの修得方法					【復習について】 授業で学んだ操作内容を復習し、次回までに確実に操作できるようにすること。 また、授業時間内に完成しなかった部分は、次の授業までに完成させておくこと。 問題集には多くの問題が収録されている。 操作に慣れてきたら、授業で取り上げない問題にも挑戦し、常に認定試験合格レベルを目指すこと。 復習時間は30分～1時間程度。 タッチタイピングを修得するためにも、できれば毎日数分でもよいのでタイピングの練習をすること。					
2	Word：認定試験問題を使用した操作1 印刷設定・ヘッダーフッター・文字書式段落書式の違い 表の挿入と編集・画像挿入と編集・タブとリーダー										
3	Word：認定試験問題を使用した操作2 ページ設定・書式設定・表編集・画像編集・ワードアートの活用										
4	Word：認定試験問題を使用した操作3 ヘッダーフッターの編集・段落罫線や網かけ・ワードアート										
5	Word：認定試験問題を使用した操作4 ヘッダーフッター・均等割り付け・テキストボックス・図形描画										
6	Word：認定試験問題を使用した操作5 受験プログラムの使い方・試験本番をふまえた練習										
7	Word：認定試験問題を使用した操作6 操作のまとめ										
8	Word：認定試験問題を使用した操作7 サンプル問題で試験本番をふまえた練習										
9	Excel：認定試験問題を使用した操作1 列幅・罫線・書式設定・関数										
10	Excel：認定試験問題を使用した操作2 関数・並べ替え・フィルター・グラフ										
11	Excel：認定試験問題を使用した操作3 書式設定・関数・テーブル・グラフ作成・印刷設定										
12	Excel：認定試験問題を使用した操作4 関数の使い分け・グラフ作成・印刷設定・ヘッダーフッター										
13	Excel：認定試験問題を使用した操作5 関数・グラフ作成・並べ替えとフィルター・印刷設定										
14	Excel：認定試験問題を使用した操作6 受験プログラムを使い試験本番をふまえた練習										
15	Excel：認定試験問題を使用した操作7 操作のまとめ										
教科書	「Word®文書処理技能認定試験 3級問題集（2019対応）」サーティファイ 「Excel®表計算処理技能認定試験 3級問題集（2019対応）」サーティファイ										
参考文献	進行に応じて適宜プリントを配付する。										
備考	授業内容は、全体の操作の進捗により前後する場合もある。 「小テスト」はWord・Excelなどの操作内容に関する筆記試験を行う。事前に告知した上で、授業内で10分程度、 数回実施する。 「課題」は、指示した作成ファイルをデータ形式で提出する。後日、添削をした上で返却する。 授業は、情報処理室で実施する。授業中にパソコンの操作手順を示す場合は、講師の操作画面を各学生のパソコン画面へ映す授業支援システム（SkyClassesMng）を利用する。										

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目（実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性）

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-1-EBA-01				
	●	●								
科目名	Oral Communication I				単位 認定者	ジョーンズ ドミニク		評価 の方法	試験（SEPA）	30　%
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	1 年	開講時期	前期	単位数	2 単位		授業内課題	40　%
						授業時間数	60 時間		受講態度	20　%
					授業形態	演習	授業回数		30 回	オンライン英会話
授業の概要	本科目の目的は、ネイティブスピーカーと日常的にコミュニケーションを取ることに慣れ、状況に応じ躊躇することなく発話し、会話を維持するスキルを身につけることである。パターンプラクティス等により定型表現を習得し、相手とのコミュニケーションを図れるようになる。国際共通語である英語には、話者の出身地によって発音のバラエティが存在することを理解し、ペアワークを通して、自分の発音に自信を持ち、積極的に英語で会話ができるようになることを企図する。									
到達目標	将来のキャリアと継続教育に役立つような英語を駆使する自信をつけ、コミュニケーションに役立つ語彙や表現を修得する。									
学修者への 期待等	授業には、テキスト、辞書（言語の学修に辞書は必須）、ノート、ファイル（授業で渡されたプリント等を整理できるもの）を必ず持参すること。また、授業の前に必ず予習しておくこと。具体的には、次の授業で学ぶであろう章に目を通し、分からない語彙があれば辞書で調べておくこと。オンライン英会話も勉強します。 Online WorkbookやAudio、visual material、を利用して、できるだけ抵抗や苦労なく内容理解が進められるようにしてください。授業外課題としてオンライン英会話受講します。									
回						準備学修				
1	本授業の進め方について、予習、復習、評価について、Online Workbook登録 Critical Thinking					テキストの使い方Your guide to Unlockに目を通すVideoを見ておく。 授業計画に対応するCritical Thinkingの予習（概ね1時間）				
2	Places ① Preparation for Speaking Part 1　Signposting					Preparation for Speaking Part 1の予習、Unlock Online（概ね30分）				
3	Places ② Preparation for Speaking Part 2　Simple Past Tense					Preparation for Speaking Part 2の予習、Unlock Online（概ね30分）				
4	Places ③ Speaking Task					Unlock Online（概ね30分）				
5	Places ④ Critical Thinking					Critical Thinkingの予習、Unlock Online（概ね30分）				
6	Places 復習					疑問点などを質問できるように整理しておくこと（概ね30分）				
7	プレゼンテーション（1） Presentation preparation					発表の準備をしてきてください（概ね1時間）				
8	プレゼンテーション（2） Presentation									
9	Festivals and Celebrations ① Preparation for Speaking Part 1　Making Suggestions					Preparation for Speaking Part 1の予習、Unlock Online（概ね30分）				
10	Festivals and Celebrations ② Preparation for Speaking Part 2　Present Tense					Preparation for Speaking Part 2の予習、Unlock Online（概ね30分）				
11	Festivals and Celebrations ③ Speaking Task					Unlock Online（概ね30分）				
12	Festivals and Celebrations ④ Critical Thinking					Critical Thinkingの予習、Unlock Online（概ね30分）				

回	授業計画	準備学修
13	Festivals and Celebrations 復習	疑問点などを質問できるように整理しておくこと (概ね30分)
14	プレゼンテーション (1) Presentation preparation	発表の準備をしてきてください (概ね1時間)
15	プレゼンテーション (2) Presentation	
16	The Internet and Technology ① Preparation for Speaking Part 1 Giving Information	Preparation for Speaking Part 1の予習、 Unlock Online (概ね30分)
17	The Internet and Technology ② Preparation for Speaking Part 2 Contrasting Information	Preparation for Speaking Part 2の予習、 Unlock Online (概ね30分)
18	The Internet and Technology ③ Speaking Task	Unlock Online (概ね30分)
19	The Internet and Technology ④ Critical Thinking	Critical Thinkingの予習、 Unlock Online (概ね30分)
20	The Internet and Technology 復習	疑問点などを質問できるように整理しておくこと (概ね30分)
21	プレゼンテーション (1) Presentation preparation	発表の準備をしてきてください (概ね1時間)
22	プレゼンテーション (2) Presentation	
23	Weather and Climate ① Preparation for Speaking Part 1 Decisions	Preparation for Speaking Part 1の予習、 Unlock Online (概ね30分)
24	Weather and Climate ② Preparation for Speaking Part 2 Predictions	Preparation for Speaking Part 2の予習、 Unlock Online (概ね30分)
25	Weather and Climate ③ Speaking Task	Unlock Online (概ね30分)
26	Weather and Climate ④ Critical Thinking	Critical Thinkingの予習、 Unlock Online (概ね30分)
27	プレゼンテーション (1) Presentation preparation	発表の準備をしてきてください (概ね1時間)
28	プレゼンテーション (2) Presentation	
29	Spoken English Proficiency Assessment Preparation	疑問点などを質問できるように整理しておくこと (概ね30分)
30	Spoken English Proficiency Assessment	疑問点などを質問できるように整理しておくこと (概ね30分)
教科書	Unlock Listening、 Speaking & Critical Thinking 2 with Unlock Online Workbook (Second Edition). Stephanie Dimond-Bayir and Kimberley Russell with Chris Sowton、 Cambridge University Press.	
参考文献	特になし	
備考	内容の進捗によってシラバスの内容を変更することがあります。状況により、遠隔授業になる場合がある。	

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-1-EBA-01				
	●	●								
科目名	Oral Communication I				単位認定者	スミス アンソニー		評価の方法	試験(筆記)	60 %
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	1 年	開講時期	前期	単位数	2 単位		授業内課題	20 %
						授業時間数	60 時間		授業態度	20 %
				授業形態	演習	授業回数	30 回			
授業の概要	本科目の目的は、ネイティブスピーカーと日常的にコミュニケーションを取ることに慣れ、状況に応じ躊躇することなく発話し、会話を維持するスキルを身につけることである。パターンプラクティス等により定型表現を習得し、相手とのコミュニケーションを図れるようになる。国際共通語である英語には、話者の出身地によって発音のバラエティが存在することを理解し、ペアワークを通して、自分の発音に自信を持ち、積極的に英語で会話ができるようになることを企図する。									
到達目標	将来のキャリアと継続教育に役立つような英語を駆使する自信をつけ、コミュニケーションに役立つ語彙や表現を修得する。									
学修者への期待等	授業には、テキスト、辞書（言語の学修に辞書は必須）、ノート、ファイル（授業で渡されたプリント等を整理できるもの）を必ず持参すること。また、授業の前に必ず予習しておくこと。具体的には、次の授業で学ぶであろう章に目を通し、分からない語彙があれば辞書で調べておくこと。									
回	授業計画					準備学修				
1	Unit 1. See You Soon ① Conversation & Grammar Check					Conversation & Grammar Exercises（概ね30分）				
2	Unit 1. See You Soon ② Short Conversations & Short Reading					Short Q&A & Short Reading Exercises（概ね30分）				
3	Unit 2. Welcome to Japan! ① Conversation & Grammar Check					Conversation & Grammar Exercises（概ね30分）				
4	Unit 2. Welcome to Japan! ② Short Conversations & Short Reading					Short Q&A & Short Reading Exercises（概ね30分）				
5	Unit 3. Sandy's First Sushi ① Conversation & Grammar Check					Conversation & Grammar Exercises（概ね30分）				
6	Unit 3. Sandy's First Sushi ② Short Conversations & Short Reading					Short Q&A & Short Reading Exercises（概ね30分）				
7	Unit 4. Festival Fun ① Conversation & Grammar Check					Conversation & Grammar Exercises（概ね30分）				
8	Unit 4. Festival Fun ② Short Conversations & Short Reading					Short Q&A & Short Reading Exercises（概ね30分）				
9	Unit 5. Play Ball! ① Conversation & Grammar Check					Conversation & Grammar Exercises（概ね30分）				
10	Unit 5. Play Ball! ② Short Conversations & Short Reading					Short Q&A & Short Reading Exercises（概ね30分）				
11	Unit 6. Lucky Cats ① Conversation & Grammar Check					Conversation & Grammar Exercises（概ね30分）				
12	Unit 6. Lucky Cats ② Short Conversations & Short Reading					Short Q&A & Short Reading Exercises（概ね30分）				

回	授業計画	準備学修
13	Unit 7. No One Sings Like Brian ① Conversation & Grammar Check	Conversation & Grammar Exercises (概ね30分)
14	Unit 7. No One Sings Like Brian ② Short Conversations & Short Reading	Short Q&A & Short Reading Exercises (概ね30分)
15	Unit 8. Yui's Cooking Class ① Conversation & Grammar Check	Conversation & Grammar Exercises (概ね30分)
16	Unit 8. Yui's Cooking Class ② Short Conversations & Short Reading	Short Q&A & Short Reading Exercises (概ね30分)
17	Unit 9. Where's Sandy? ① Conversation & Grammar Check	Conversation & Grammar Exercises (概ね30分)
18	Unit 9. Where's Sandy? ② Short Conversations & Short Reading	Short Q&A & Short Reading Exercises (概ね30分)
19	Unit 10. Let's Take a Hike ① Conversation & Grammar Check	Conversation & Grammar Exercises (概ね30分)
20	Unit 10. Let's Take a Hike ② Short Conversations & Short Reading	Short Q&A & Short Reading Exercises (概ね30分)
21	Unit 11. Time for a Tour ① Conversation & Grammar Check	Conversation & Grammar Exercises (概ね30分)
22	Unit 11. Time for a Tour ② Short Conversations & Short Reading	Short Q&A & Short Reading Exercises (概ね30分)
23	Unit 12. Photos from Hakone ① Conversation & Grammar Check	Conversation & Grammar Exercises (概ね30分)
24	Unit 12. Photos from Hakone ② Short Conversations & Short Reading	Short Q&A & Short Reading Exercises (概ね30分)
25	Unit 13. Sho's Barbecue Party ① Conversation & Grammar Check	Conversation & Grammar Exercises (概ね30分)
26	Unit 13. Sho's Barbecue Party ② Short Conversations & Short Reading	Short Q&A & Short Reading Exercises (概ね30分)
27	Unit 14. On the Go ① Conversation & Grammar Check	Conversation & Grammar Exercises (概ね30分)
28	Unit 14. On the Go ② Short Conversations & Short Reading	Short Q&A & Short Reading Exercises (概ね30分)
29	Unit 15. Sandy's Farewell Dinner ① Conversation & Grammar Check	Conversation & Grammar Exercises (概ね30分)
30	Unit 15. Sandy's Farewell Dinner ② Short Conversations & Short Reading	Short Q&A & Short Reading Exercises (概ね30分)
教科書	「ENGLISH CONTRASTS」 Robert Hickling 金星堂	
参考文献	特になし	
備考	状況により遠隔授業に変更する場合がある。	

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング					
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-1-EBA-02					
	●	●									
科目名	Oral CommunicationⅡ					単位 認定者	ジョーンズ ドミニク		評価 の方法	試験（SEPA）	30 %
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	1 年	開講時期	後期	単位数	2 単位	授業内課題		40 %	
						授業時間数	60 時間	受講態度		20 %	
				授業形態	演習	授業回数	30 回	オンライン英会話		10 %	
授業の概要	「Oral CommunicationⅠ」で学習した内容を踏まえ、英会話の自信を裏付けるためのスピーキング、リスニング能力のスキルアップを目的とする。具体的には、ネイティブスピーカーによって頻繁に使用される語彙、熟語、慣用句等の知識を培い、多様な場面での会話に対応できるようになることを企図する。また、グループインタラクティブを通して、「話題の引き出し」を増やしていく。併せて、相手と快適にコミュニケーションを取るための応答やリアクション等、コミュニケーションの技法も修得する。										
到達目標	将来のキャリアと継続教育に役立つような英語を駆使する自信をつけ、コミュニケーションに役立つ語彙や表現を修得する。										
学修者への期待等	授業には、テキスト、辞書（言語の学修に辞書は必須）、ノート、ファイル（授業で渡されたプリント等を整理できるもの）を必ず持参すること。また、授業の前に必ず予習しておくこと。具体的には、次の授業で学ぶであろう章に目を通し、分からない語彙があれば辞書で調べておくこと。Online WorkbookやAudio、visual material、を利用し、できるだけ抵抗や苦勞なく内容理解が進められるようにしてください。授業外課題としてオンライン英会話を受講します。										
回	授業計画					準備学修					
1	本授業の進め方について、予習、復習、評価について、Online Workbook登録 Critical Thinking					テキストの使い方Your guide to Unlockに目を通す。 Videoを見ておく。 授業計画に対応するCritical Thinkingの予習（概ね1時間）					
2	Sports and Competition ① Preparation for Speaking Part 1 Conditionals					Preparation for Speaking Part 1の予習、Unlock Online（概ね30分）					
3	Sports and Competition ② Preparation for Speaking Part 2 Adverbs					Preparation for Speaking Part 2の予習、Unlock Online（概ね30分）					
4	Sports and Competition ③ Speaking Task					Unlock Online（概ね30分）					
5	Sports and Competition ④ Critical Thinking					Critical Thinkingの予習、Unlock Online（概ね30分）					
6	Sports and Competition 復習					疑問点などを質問できるように整理しておくこと（概ね30分）					
7	プレゼンテーション（1） Presentation preparation					発表の準備をしてきてください（概ね1時間）					
8	プレゼンテーション（2） Presentation										
9	Business ① Preparation for Speaking Part 1 Comparatives					Preparation for Speaking Part 1の予習、Unlock Online（概ね30分）					
10	Business ② Preparation for Speaking Part 2 Superlatives					Preparation for Speaking Part 2の予習、Unlock Online（概ね30分）					
11	Business ③ Speaking Task					Unlock Online（概ね30分）					
12	Business ④ Critical Thinking					Critical Thinkingの予習、Unlock Online（概ね30分）					

回	授業計画	準備学修
13	Business 復習	疑問点などを質問できるように整理しておくこと (概ね30分)
14	プレゼンテーション (1) Presentation preparation	発表の準備をしてきてください (概ね1時間)
15	プレゼンテーション (2) Presentation	
16	People ① Preparation for Speaking Part 1 Giving Details	Preparation for Speaking Part 1の予習、Unlock Online (概ね30分)
17	People ② Preparation for Speaking Part 2 Past Continuous	Preparation for Speaking Part 2の予習、Unlock Online (概ね30分)
18	People ③ Speaking Task	Unlock Online (概ね30分)
19	People ④ Critical Thinking	Critical Thinkingの予習、Unlock Online (概ね30分)
20	People 復習	疑問点などを質問できるように整理しておくこと (概ね30分)
21	プレゼンテーション (1) Presentation preparation	発表の準備をしてきてください (概ね1時間)
22	プレゼンテーション (2) Presentation	
23	The Universe ① Preparation for Speaking Part 1 Turn Taking	Preparation for Speaking Part 1の予習、Unlock Online (概ね30分)
24	The Universe ② Preparation for Speaking Part 2 Levels of Agreement	Preparation for Speaking Part 2の予習、Unlock Online (概ね30分)
25	The Universe ③ Speaking Task	Unlock Online (概ね30分)
26	The Universe ④ Critical Thinking	Critical Thinkingの予習、Unlock Online (概ね30分)
27	プレゼンテーション (1) Presentation preparation	発表の準備をしてきてください (概ね1時間)
28	プレゼンテーション (2) Presentation	
29	Spoken English Proficiency Assessment Preparation	疑問点などを質問できるように整理しておくこと (概ね30分)
30	Spoken English Proficiency Assessment	疑問点などを質問できるように整理しておくこと (概ね30分)
教科書	Unlock Listening、Speaking & Critical Thinking 2 with Unlock Online Workbook (Second Edition). Stephanie Dimond-Bayir and Kimberley Russell with Chris Sowton, Cambridge University Press.	
参考文献	特になし	
備考	内容の進捗によってシラバスの内容を変更することがあります。状況により、遠隔授業になる場合がある。	

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力	科目ナンバリング CE-1-EBA-02				
	●	●								
科目名	Oral Communication II				単位 認定者	スミス アンソニー		評価 の方法	試験（筆記）	60 %
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	1 年	開講時期	後期	単位数	2 単位		授業内課題	20 %
						授業時間数	60 時間		受講態度	20 %
					授業形態	演習	授業回数		30 回	
授業の概要	「Oral Communication I」で学習した内容を踏まえ、英会話の自信を裏付けるためのスピーキング、リスニング能力のスキルアップを目的とする。具体的には、ネイティブスピーカーによって頻繁に使用される語彙、熟語、慣用句等の知識を培い、多様な場面での会話に対応できるようになることを企図する。また、グループインタラクションを通して、「話題の引き出し」を増やしていく。併せて、相手と快適にコミュニケーションを取るための応答やリアクション等、コミュニケーションの技法も修得する。									
到達目標	使用するテキストは、中級レベルの英語学習者を対象としたものである。各ユニットで紹介されている身近な話題について自らの意見を相手に伝え、自由にディスカッションできるスキルを養う。									
学修者への期待等	授業には、テキスト、辞書（言語の学修に辞書は必須）、ノート、ファイル（授業で渡されたプリント等を整理できるもの）を必ず持参すること。また、授業の前に必ず予習しておくこと。									
回	授業計画					準備学修				
1	ユニット1 Food Groupwork & Discussion					Vocabulary Building/ Dialog Completion/Groupwork Preparation（概ね40分）				
2	ユニット2 (1) Japan Groupwork & Discussion					Vocabulary Building/ Dialog Completion/Groupwork Preparation（概ね40分）				
3	ユニット2 (2) Japan Individual Presentation					Vocabulary Building/ Dialog Completion/Groupwork Preparation（概ね40分）				
4	ユニット3 Shopping Groupwork & Discussion					Vocabulary Building/ Dialog Completion/Groupwork Preparation（概ね40分）				
5	ユニット4 (1) Music Groupwork & Discussion					Vocabulary Building/ Dialog Completion/Groupwork Preparation（概ね40分）				
6	ユニット4 (2) Music Individual Presentation					Vocabulary Building/ Dialog Completion/Groupwork Preparation（概ね40分）				
7	ユニット5 Transportation Groupwork & Discussion					Vocabulary Building/ Dialog Completion/Groupwork Preparation（概ね40分）				
8	ユニット6 The salaryman and work Groupwork & Discussion					Vocabulary Building/ Dialog Completion/Groupwork Preparation（概ね40分）				
9	ユニット7 (1) Family Groupwork & Discussion					Vocabulary Building/ Dialog Completion/Groupwork Preparation（概ね40分）				
10	ユニット 7 (2) Family Individual Presentation					Vocabulary Building/ Dialog Completion/Groupwork Preparation（概ね40分）				
11	ユニット 8 (1) Travel Groupwork & Discussion					Vocabulary Building/ Dialog Completion/Groupwork Preparation（概ね40分）				
12	ユニット 8 (2) Travel Individual Presentation					Vocabulary Building/ Dialog Completion/Groupwork Preparation（概ね40分）				

回	授業計画	準備学修
13	ユニット 9 (1) Europe Groupwork & Discussion	Vocabulary Building/ Dialog Completion/Groupwork Preparation (概ね40分)
14	ユニット 9 (2) Europe Individual Presentation	Vocabulary Building/ Dialog Completion/Groupwork Preparation (概ね40分)
15	ユニット 10 (1) Famous people Groupwork & Discussion	Vocabulary Building/ Dialog Completion/Groupwork Preparation (概ね40分)
16	ユニット 10 (2) Famous people Individual Presentation	Vocabulary Building/ Dialog Completion/Groupwork Preparation (概ね40分)
17	ユニット 11 Sports Groupwork & Discussion	Vocabulary Building/ Dialog Completion/Groupwork Preparation (概ね40分)
18	ユニット 12 Home Groupwork & Discussion	Vocabulary Building/ Dialog Completion/Groupwork Preparation (概ね40分)
19	ユニット 13 Health Groupwork & Discussion	Vocabulary Building/ Dialog Completion/Groupwork Preparation (概ね40分)
20	ユニット 14 (1) Entertainment Groupwork & Discussion	Vocabulary Building/ Dialog Completion/Groupwork Preparation (概ね40分)
21	ユニット 14 (2) Entertainment Individual Presentation	Vocabulary Building/ Dialog Completion/Groupwork Preparation (概ね40分)
22	ユニット 15 Animals Groupwork & Discussion	Vocabulary Building/ Dialog Completion/Groupwork Preparation (概ね40分)
23	ユニット 16 Weather Groupwork & Discussion	Vocabulary Building/ Dialog Completion/Groupwork Preparation (概ね40分)
24	ユニット 17 (1) The United States Groupwork & Discussion	Vocabulary Building/ Dialog Completion/Groupwork Preparation (概ね40分)
25	ユニット17 (2) The United States Individual Presentation	Vocabulary Building/ Dialog Completion/Groupwork Preparation (概ね40分)
26	ユニット 18 (1) Superstitions Groupwork & Discussion	Vocabulary Building/ Dialog Completion/Groupwork Preparation (概ね40分)
27	ユニット 18 (2) Superstitions Individual Presentation	Vocabulary Building/ Dialog Completion/Groupwork Preparation (概ね40分)
28	ユニット 19(1) Education Groupwork & Discussion	Vocabulary Building/ Dialog Completion/Groupwork Preparation (概ね40分)
29	ユニット19(2) Education Individual Presentation	Vocabulary Building/ Dialog Completion/Groupwork Preparation (概ね40分)
30	ユニット20 Nationalities Groupwork & Discussion	Vocabulary Building/ Dialog Completion/Groupwork Preparation (概ね40分)
教科書	「Let's Talk About It」 Craig Drayton & Mark Gibbon Pearson Longman	
参考文献	特になし	
備考	状況により遠隔授業に変更する場合がある。	

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-1-EBA-03				
	●	●								
科目名	Listening I				単位 認定者	相田 明子 (A)		評価の 方法	授業内課題等	70 %
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	1 年	開講時期	前期	単位数	2 単位		受講態度	30 %
						授業時間数	60 時間			
				授業形態	演習	授業回数	30 回			
授業の概要	本科目は、国際共通語である英語に、多くの地域による発音の変種が存在することを理解し、それぞれの発音の特徴を捉え、聴き取り能力を向上させることを目的とする。具体的には、音声学の知識を基に、英語の音を聴き分け、音の同化や消失、渡り音などについて理解し、正しく聴き取れるようになる。 さらにディクテーションを行い、英語の強弱、リズムを的確に拾い、内容理解の正確さを高める。自身が発話する際にもこれらの英語の特性を意識した発話になるように、リピート練習等を取り入れる。場面による特有の会話表現も学修し、会話力向上につなげる。									
到達目標	基礎的なリスニング力を身に付け、日常会話の際に相手の意図が理解できる。又、自分の意思を相手に分かりやすい発音やイントネーションで話すことができるようになる。									
学修者への期待等	カンヌ国際広告賞を受賞したTVコマーシャルを題材に扱ったテキストを採用する。約30秒という時間の中に効果的なメッセージを込めたTVコマーシャルはリスニング素材としても非常に有用である。予習段階で、該当する章の語彙やテーマに関して理解を深め、必要に応じて周辺知識の調査をしておくこと。また、授業内でおこなうスキブットのロールプレイ、コマーシャルの主題に関するディスカッションの際には、積極的な参加が期待される。									
回						準備学修				
1	本授業の進め方について、予習、復習、評価についての説明。 Unit 1- Meijer - Higher Standards, Lower Prices① 1. Preliminary Reading～3. Reading Comprehension					Unit 1 TV Commercialの視聴 テキスト Unit 1 Preliminary Reading 予習（概ね1時間程度）				
2	Unit 1- Meijer - Higher Standards, Lower Prices② Task for TV Commercials No.1 and No.2 4. Vocabulary Preview ～ 9.Utilizing Useful Words and Phrases. ロールプレイとグループワーク。					テキストUnit 1 Transcript Completionの内容を理解する 新出語彙の確認（概ね1時間程度）				
3	Unit 2 - This Calls for a Bud Light① 1. Preliminary Reading ～ 3. Reading Comprehension					Unit 2 TV Commercialの視聴 テキストUnit2Preliminary Reading 予習（概ね1時間程度）				
4	Unit 2 - This Calls for a Bud Light② Task for TV Commercials 4. Vocabulary Preview ～ 9.Utilizing Useful Words and Phrases. ロールプレイとグループワーク					テキストUnit 2 Transcript Completionの内容を理解する 新出語彙の確認（概ね1時間程度）				
5	Unit 3 - Anti-Discrimination Campaign① 1. Preliminary Reading ～ 3. Reading Comprehension					Unit 3 TV Commercialの視聴 テキストUnit3Preliminary Reading 予習（概ね1時間程度）				
6	Unit 3 - Anti-Discrimination Campaign② Task for TV Commercials 4. Vocabulary Preview ～ 10.Utilizing Useful Words and Phrases. ロールプレイとグループワーク					テキストUnit 3 Transcript Completionの内容を理解する 新出語彙の確認（概ね1時間程度）				
7	Unit 4 - McDonald’s-King of Fast-Food Restaurant① 1. Preliminary Reading ～ 3. Reading Comprehension					Unit 4 TV Commercialの視聴 テキストUnit4対応箇所の予習（概ね1時間程度）				
8	Unit 4 - McDonald’s-King of Fast-Food Restaurant② Task for TV Commercials No.1 and No.2 4. Vocabulary Preview ～ 9.Utilizing Useful Words and Phrases. ロールプレイとグループワーク					テキストUnit4 Transcript Completionの内容を理解する 新出語彙の確認（概ね1時間程度）				
9	Unit 5 - Relax, it’s FedEx.① 1. Preliminary Reading ～ 3. Reading Comprehension. Unit1～4の単語テスト					Unit 5 TV Commercialの視聴 テキストUnit5Preliminary Reading 予習 単語テストの準備（概ね1時間30分程度）				
10	Unit 5 - Relax, it’s FedEx.② Task for TV Commercials No.1 and No.2 4. Vocabulary Preview ～ 9.Utilizing Useful Words and Phrases. ロールプレイとグループワーク					テキストUnit 5 Transcript Completionの内容を理解する 新出語彙の確認（概ね1時間程度）				
11	Unit 6 - BMW-A Car beyond Reason① 1. Preliminary Reading ～ 3. Reading Comprehension					Unit 6 TV Commercialの視聴 テキストUnit6Preliminary Reading 予習（概ね1時間程度）				
12	Unit 6 - BMW-A Car beyond Reason② Task for TV Commercial 4. Vocabulary Preview ～ 9.Utilizing Useful Words and Phrases. ロールプレイとグループワーク					テキストUnit 6 Transcript Completionの内容を理解する 新出語彙の確認（概ね1時間程度）				

回	授業計画	準備学修
13	Unit 7 - Banking for the Filthy Rich① 1. Preliminary Reading ~ 3. Reading Comprehension	Unit 7 TV Commercialの視聴 テキストUnit7Preliminary Reading 予習 (概ね1時間程度)
14	Unit 7 - Banking for the Filthy Rich② Task for TV Commercials No.1 and No.2 4. Vocabulary Preview ~ 9.Utilizing Useful Words and Phrases. ロールプレイとグループワーク	テキストUnit 7 Transcript Completionの内容を理解する 新出語彙の確認 (概ね1時間程度)
15	Unit 1 ~ Unit 7の総まとめ	今までに学修したことを復習すること。 (概ね2時間程度)
16	Unit 8 - Learning Languages① 1. Preliminary Reading ~ 3. Reading Comprehension	Unit 8 TV Commercialの視聴 テキストUnit 8 Preliminary Reading 予習 (概ね1時間程度)
17	Unit 8 - Learning Languages② Task for TV Commercial 4. Vocabulary Preview ~ 9.Utilizing Useful Words and Phrases. ロールプレイとグループワーク	テキストUnit 8 Transcript Completionの内容を理解する 新出語彙の確認 (概ね1時間程度)
18	Unit 9 - Pepsi-Ask for More① 1. Preliminary Reading ~ 3. Reading Comprehension. Unit 5~の単語テスト	Unit 9 TV Commercialの視聴 テキストUnit9 Preliminary Reading 予習 単語テストの準備 (概ね1時30分間程度)
19	Unit 9 - Pepsi-Ask for More② Task for TV Commercials No.1 and No.2 4. Vocabulary Preview ~ 9.Utilizing Useful Words and Phrases. ロールプレイとグループワーク	テキストUnit 9 Transcript Completionの内容を理解する 新出語彙の確認 (概ね1時間程度)
20	Unit 10 - United Nation Development Programme① 1. Preliminary Reading ~ 3. Reading Comprehension	Unit 10 TV Commercialの視聴 テキストUnit10 Preliminary Reading予習 (概ね1時間程度)
21	Unit 10 - United Nation Development Programme② Task for TV Commercial 4. Vocabulary Preview ~ 9.Utilizing Useful Words and Phrases. ロールプレイとグループワーク	テキストUnit 10 Transcript Completionの内容を理解する 新出語彙の確認 (概ね1時間程度)
22	Unit 11 - Disney-Magic Happens① 1. Preliminary Reading ~ 3. Reading Comprehension	Unit 11 TV Commercialの視聴 テキストUnit11Preliminary Reading 予習 (概ね1時間程度)
23	Unit 11 - Disney-Magic Happens② Task for TV Commercial 4. Vocabulary Preview ~ 9.Utilizing Useful Words and Phrases. ロールプレイとグループワーク	テキストUnit 11 Transcript Completionの内容を理解する 新出語彙の確認 (概ね1時間程度)
24	Unit 12 - Coca-Cola-For Everyone① 1. Preliminary Reading ~ 3. Reading Comprehension	Unit 12 TV Commercialの視聴 テキストUnit12 Preliminary Reading予習 (概ね1時間程度)
25	Unit 12 - Coca-Cola-For Everyone② Task for TV Commercial 4. Vocabulary Preview ~ 9.Utilizing Useful Words and Phrases. ロールプレイとグループワーク	テキストUnit 12Transcript Completionの内容を理解する 新出語彙の確認 (概ね1時間程度)
26	Unit 13 - Anti-Smoking Campaign① 1. Preliminary Reading ~ 3. Reading Comprehension. Unit 9~12の単語テスト	Unit 13 TV Commercialの視聴 テキストUnit13 Preliminary Reading予習 単語テストの準備 (概ね1時間30分程度)
27	Unit 13 - Anti-Smoking Campaign② Task for TV Commercials No.1 and No.2 4. Vocabulary Preview ~ 9.Utilizing Useful Words and Phrases. ロールプレイとグループワーク	テキストUnit 13 Transcript Completionの内容を理解する 新出語彙の確認 (概ね1時間程度)
28	Unit 14 - Counterfeit Mini Coopers① 1. Preliminary Reading ~ 3. Reading Comprehension	Unit 14 TV Commercialの視聴 テキストUnit14 Preliminary Reading予習 (概ね1時間程度)
29	Unit 14 - Counterfeit Mini Coopers② Task for TV Commercial 4. Vocabulary Preview ~ 9.Utilizing Useful Words and Phrases. ロールプレイとグループワーク	テキストUnit14Transcript Completionの内容を理解する 新出語彙の確認 (概ね1時間程度)
30	Unit 8~Unit 14の総まとめ	今までに学修したことを復習すること。 (概ね2時間程度)
教科書	「English in 30 Seconds」Masayuki Aoki 2018 南雲堂	
参考文献		
備考	本科目はアクティブ・ラーニングを取り入れた学習法とする。シラバスの内容は授業の進行状況によって変更する 場合がある。授業内課題は返却時に指導する。状況により遠隔授業になる場合がある。	

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-1-EBA-03				
	●	●								
科目名	Listening I				単位 認定者	相田 明子 (B)		評価の 方法	授業内課題等	70 %
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	1 年	開講時期	前期	単位数	2 単位		受講態度	30 %
						授業時間数	60 時間			
				授業形態	演習	授業回数	30 回			
授業の概要	本科目は、国際共通語である英語に、多くの地域による発音の変種が存在することを理解し、それぞれの発音の特徴を捉え、聴き取り能力を向上させることを目的とする。具体的には、音声学の知識を基に、英語の音を聴き分け、音の同化や消失、渡り音などについて理解し、正しく聴き取れるようになる。 さらにディクテーションを行い、英語の強弱、リズムを的確に拾い、内容理解の正確さを高める。自身が発話する際にもこれらの英語の特性を意識した発話になるように、リピート練習等を取り入れる。場面による特有の会話表現も学修し、会話力向上につなげる。									
到達目標	基礎的なリスニング力を身に着け、日常会話の際に相手の意図が理解できる。又、自分の意思を相手に分かりやすい発音やイントネーションで話すことができるようになる。									
学修者への期待等	日常生活や公共の場で遭遇する話題・出来事を題材に、情報を正確に聴き取る練習を繰り返し行います。集中力を高めて授業に臨みましょう。また、リスニング力を向上させるためには、語彙・英語表現を習得することも重要です。新出語彙や文法に関する知識を、自ら進んで学ぶ意欲が期待されます。									
回	授業計画					準備学修				
1	本授業の進め方について、予習、復習、評価についての説明。 Unit1: Meeting People (挨拶や自己紹介に関する英語表現)、リスニング練習・ペアワークを中心に活動する					Unit 1 : Vocabulary, Language Focus, Grammarのパートを辞書を使って読んでおく。(概ね1時間程度)				
2	Unit1: 前回のリスニング内容の復習、Reading & Writingに取り組み、Writingした英文を発表する。Review Quiz(1)					Unit 1:Readingのパートを辞書を使って読み、問題に答えておく。新出のVocabularyをまとめる(概ね1時間程度)				
3	Unit2: Time to Eat (食べ物、栄養、食事に関する英語表現) リスニング練習・ペアワークを中心に活動する					Unit 2 : Vocabulary, Language Focus, Grammarのパートを辞書を使って読んでおく。(概ね1時間程度)				
4	Unit2: 前回のリスニング内容の復習、Reading & Writingに取り組み、Writingした英文を発表する。Review Quiz(2)					Unit 2 :Readingのパートを辞書を使って読み、問題に答えておく。新出のVocabularyをまとめる(概ね1時間程度)				
5	Unit3 : Living with Technology (Websiteやテクノロジーに関する英語表現) リスニング練習・ペアワークを中心に活動する					Unit 3 : Vocabulary, Language Focus, Grammarのパートを辞書を使って読んでおく。(概ね1時間程度)				
6	Unit3: 前回のリスニング内容の復習、Reading & Writingに取り組み、Writingした英文を発表する。Review Quiz(3)					Unit 3:Readingのパートを辞書を使って読み、問題に答えておく。新出のVocabularyをまとめる(概ね1時間程度)				
7	Unit4 : Shopping for Clothes (Websiteやテクノロジーに関する英語表現) リスニング練習・ペアワークを中心に活動する					Unit 4 : Vocabulary, Language Focus, Grammarのパートを辞書を使って読んでおく。(概ね1時間程度)				
8	Unit4: 前回のリスニング内容の復習、Reading & Writingに取り組み、Writingした英文を発表する。Review Quiz(4)					Unit 4:Readingのパートを辞書を使って読み、問題に答えておく。新出のVocabularyをまとめる(概ね1時間程度)				
9	Unit5 : A Helping Hand and Home (電化製品や価格に関する英語表現) リスニング練習・ペアワークを中心に活動する					Unit 5 : Vocabulary, Language Focus, Grammarのパートを辞書を使って読んでおく。(概ね1時間程度)				
10	Unit5: 前回のリスニング内容の復習、Reading & Writingに取り組み、Writingした英文を発表する。Review Quiz(5)					Unit 5:Readingのパートを辞書を使って読み、問題に答えておく。新出のVocabularyをまとめる(概ね1時間程度)				
11	Unit6 : Going Places (乗り物、交通機関、道案内に関する英語表現) リスニング練習・ペアワークを中心に活動する					Unit 6 : Vocabulary, Language Focus, Grammarのパートを辞書を使って読んでおく。(概ね1時間程度)				
12	Unit6: 前回のリスニング内容の復習、Reading & Writingに取り組み、Writingした英文を発表する。Review Quiz(6)					Unit 6:Readingのパートを辞書を使って読み、問題に答えておく。新出のVocabularyをまとめる(概ね1時間程度)				

回	授業計画	準備学修
13	Unit7 : Not Feeling So Good (痛み・疾病、医者への予約に関する英語表現) リスニング練習・ペアワークを中心に活動する	Unit 7: Vocabulary, Language Focus, Grammarのパートを辞書を使って読んでおく。(概ね1時間程度)
14	Unit7: 前回のリスニング内容の復習、Reading & Writingに取り組み、Writingした英文を発表する。Review Quiz(7)	Unit 7:Readingのパートを辞書を使って読み、問題に答えておく。新出のVocabularyをまとめる(概ね1時間程度)
15	Unit8 : The Big Screen (映画に関する英語表現) リスニング練習・ペアワークを中心に活動する	Unit 8: Vocabulary, Language Focus, Grammarのパートを辞書を使って読んでおく。(概ね1時間程度)
16	Unit8: 前回のリスニング内容の復習、Reading & Writingに取り組み、Writingした英文を発表する。Review Quiz(8)	Unit 8:Readingのパートを辞書を使って読み、問題に答えておく。新出のVocabularyをまとめる(概ね1時間程度)
17	Unit9 : How do you feel? (自己の感情や体調を描写する際によく使う英語表現) リスニング練習・ペアワークを中心に活動する	Unit 9: Vocabulary, Language Focus, Grammarのパートを辞書を使って読んでおく。(概ね1時間程度)
18	Unit9: 前回のリスニング内容の復習、Reading & Writingに取り組み、Writingした英文を発表する。Review Quiz(9)	Unit 9:Readingのパートを辞書を使って読み、問題に答えておく。新出のVocabularyをまとめる(概ね1時間程度)
19	Unit10 : All in Good Fun (好き・嫌いをを使って自分の意見を言う、相手の意見を伺う) リスニング練習・ペアワークを中心に活動する	Unit 10: Vocabulary, Language Focus, Grammarのパートを辞書を使って読んでおく。(概ね1時間程度)
20	Unit10: 前回のリスニング内容の復習、Reading & Writingに取り組み、Writingした英文を発表する。Review Quiz(10)	Unit 10:Readingのパートを辞書を使って読み、問題に答えておく。新出のVocabularyをまとめる(概ね1時間程度)
21	Unit11 : Game Time (スポーツに関する語彙、助言の仕方に関する英語表現) リスニング練習・ペアワークを中心に活動する	Unit 11: Vocabulary, Language Focus, Grammarのパートを辞書を使って読んでおく。(概ね1時間程度)
22	Unit11: 前回のリスニング内容の復習、Reading & Writingに取り組み、Writingした英文を発表する。Review Quiz(11)	Unit 11:Readingのパートを辞書を使って読み、問題に答えておく。新出のVocabularyをまとめる(概ね1時間程度)
23	Unit12 : Rain or Shine (天候に関する語彙、天気予報で使われる英語表現) リスニング練習・ペアワークを中心に活動する	Unit 12: Vocabulary, Language Focus, Grammarのパートを辞書を使って読んでおく。(概ね1時間程度)
24	Unit12: 前回のリスニング内容の復習、Reading & Writingに取り組み、Writingした英文を発表する。Review Quiz(12)	Unit 12:Readingのパートを辞書を使って読み、問題に答えておく。新出のVocabularyをまとめる(概ね1時間程度)
25	Unit13: Eating Out (外食をする際に使用する語彙、注文の仕方や食事での会話表現) リスニング練習・ペアワークを中心に活動する	Unit 13: Vocabulary, Language Focus, Grammarのパートを辞書を使って読んでおく。(概ね1時間程度)
26	Unit13: 前回のリスニング内容の復習、Reading & Writingに取り組み、Writingした英文を発表する。Review Quiz(13)	Unit 13:Readingのパートを辞書を使って読み、問題に答えておく。新出のVocabularyをまとめる(概ね1時間程度)
27	Unit14: School Life (職業に関する語彙、目標の設定や問題解決の際に用いる英語表現) リスニング練習・ペアワークを中心に活動する	Unit 14: Vocabulary, Language Focus, Grammarのパートを辞書を使って読んでおく。(概ね1時間程度)
28	Unit14: 前回のリスニング内容の復習、Reading & Writingに取り組み、Writingした英文を発表する。Review Quiz(14)	Unit 14:Readingのパートを辞書を使って読み、問題に答えておく。新出のVocabularyをまとめる(概ね1時間程度)
29	Unit 1～7の語彙・重要表現、文法表現等を復習、リスニング練習とReviewテスト	Unit 1～7で学修したことを復習すること。(概ね2時間程度)
30	Unit 8～14の語彙・重要表現、文法表現等を復習、リスニング練習とReviewテスト	Unit 8～14で学修したことを復習すること。(概ね2時間程度)
教科書	「New Connection Book 1 (CEFR A1-A2)」 成美堂	
参考文献	講義の際に指示する。	
備考	本科目はアクティブ・ラーニングを取り入れた学習法とする。シラバスの内容は授業の進行状況によって変更する場合がある。授業内課題は返却時に指導する。状況により遠隔授業になる場合がある。	

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

学修成果						科目ナンバリング				
1基礎力2実践力3人間関係力4生涯学習力5地域理解力						CE-1-EBA-04				
●●										
科目名	Listening II				単位認定者	ジョーンズ ドミニク		評価の方法	試験（筆記）	40 %
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	1 年	開講時期	後期	単位数	2 単位		授業内課題	30 %
				授業形態	演習	授業時間数	60 時間		受講態度	20 %
						授業回数	30 回		オンライン英会話	10 %
授業の概要	「Listening I」で学修した内容を踏まえ、英語ニュースや英語プレゼンテーション番組、著名人のインタビュー等多種多様な英語を題材に、特定の情報の聴き取りや話の趣旨が理解できるリスニングスキルを身につけることを目的とする。ディクテーションや多聴を行いながら、話者の違いによる発音や発話速度を理解し、間違いなく内容を聴き取れるようになることを企図する。迅速で的確に内容を把握するリスニングスキルを身につけることで、さらなるコミュニケーション能力の向上につなげる。									
到達目標	将来のキャリアと継続教育に役立つような英語を駆使する自信をつけ、リスニング力、コミュニケーションに役立つ語彙や表現を修得する。									
学修者への期待等	授業には、テキスト、辞書（言語の学修に辞書は必須）、ノート、ファイル（授業で渡されたプリント等を整理できるもの）を必ず持参すること。また、授業の前に必ず予習しておくこと。具体的には、次の授業で学ぶであろう章に目を通し、分からない語彙があれば辞書で調べておくこと。Online WorkbookやAudio、visual material、を利用して、できるだけ抵抗や苦労なく内容理解が進められるようにしてください。									
回	授業計画					準備学修				
1	ユニット 1 (1) Introduce yourself to a partner					「Unit 1」の予習（概ね30分）				
2	ユニット 1 (2) Understand Conversations about interests									
3	ユニット 1 (3) Respond to questions about your interest									
4	ユニット 1 (4) Introducing yourself 発表 準備					プレゼンテーションの準備（概ね30分）				
5	ユニット 1 (5) Introducing yourself 発表									
6	ユニット 2 (1) Who are they talking about?					「Unit 2」の予習（概ね30分）				
7	ユニット 2 (2) Understand descriptions of appearance									
8	ユニット 2 (3) Introduce family 発表 準備					プレゼンテーション準備（概ね30分）				
9	ユニット 2 (4) Introduce family 発表									
10	ユニット 1、2 復習					疑問点などを質問できるように整理しておくこと（概ね30分）				
11	ユニット 3 (1) When do you start?					「Unit 3」の予習（概ね30分）				
12	ユニット 3 (2) Understand conversations about personal routines									

回	授業計画	準備学修
13	ユニット 3 (3) Describe personal schedule 発表 準備	プレゼンテーションの準備 (概ね30分)
14	ユニット 3 (4) Describe personal schedule 発表	
15	ユニット 4 (1) Where does this go?	「Unit 4」の予習 (概ね30分)
16	ユニット 4 (2) Understand about where things are	
17	ユニット 4 (3) Talk about where things are 発表 準備	プレゼンテーションの準備 (概ね30分)
18	ユニット 4 (4) Talk about where things are 発表	
19	ユニット 3、4 復習	疑問点などを質問できるように整理しておくこと (概ね30分)
20	ユニット 5 (1) How do I get there?	「Unit 5」の予習 (概ね30分)
21	ユニット 5 (2) Follow directions to a destination	
22	ユニット 5 (3) Invitation to a special event 発表 準備	プレゼンテーションの準備 (概ね30分)
23	ユニット 5 (4) Invitation to a special event 発表	
24	ユニット 6 (1) What happened?	「Unit 6」の予習 (概ね30分)
25	ユニット 6 (2) Understand past events	
26	ユニット 6 (3) Describe a special place 発表 準備	プレゼンテーションの準備 (概ね30分)
27	ユニット 6 (4) Describe a special place 発表	
28	ユニット 5、6 復習	疑問点などを質問できるように整理しておくこと (概ね30分)
29	ファイナルプレゼンテーション 準備	プレゼンテーションの準備 (概ね30分)
30	ファイナルプレゼンテーション 発表	
教科書	English Firsthand 1 with MyMobileWorld (5th Ed). Marc Helgesen、 John Wiltshier、 Steven Brown. Pearson	
参考文献	特になし	
備考	内容の進捗によってシラバスの内容を変更することがあります。状況により、遠隔授業になる場合があります。	

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-1-EBA-04				
	●	●								
科目名	Listening II				単位 認定者	スミス アンソニー		評価 の方法	試験（筆記）	60 %
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	1 年	開講時期	後期	単位数	2 単位		授業内課題	20 %
						授業時間数	60 時間		受講態度	20 %
				授業形態	演習	授業回数	30 回			
授業の概要	「Listening I」で学修した内容を踏まえ、英語ニュースや英語プレゼンテーション番組、著名人のインタビュー等多種多様な英語を題材に、特定の情報の聴き取りや話の趣旨が理解できるリスニングスキルを身につけることを目的とする。ディクテーションや多聴を行いながら、話者の違いによる発音や発話速度を理解し、間違いなく内容を聴き取れるようになることを企図する。迅速で的確に内容を把握するリスニングスキルを身につけることで、さらなるコミュニケーション能力の向上につなげる。									
到達目標	将来のキャリアと継続教育に役立つような英語を駆使する自信をつけ、リスニング力、コミュニケーションに役立つ語彙や表現を修得する。									
学修者への期待等	授業には、テキスト、辞書（言語の学修に辞書は必須）、ノート、ファイル（授業で渡されたプリント等を整理できるもの）を必ず持参すること。また、授業の前に必ず予習しておくこと。具体的には、次の授業で学ぶであろう章に目を通し、分からない語彙があれば辞書で調べておくこと。									
回	授業計画					準備学修				
1	Unit1: Roommates (Describing Personal Qualities/Asking about Problems)、リスニング練習・ペアワークを中心に活動する					Unit 1 : Vocabulary, Language Focus, Grammarのパートを辞書を使って読んでおく。（概ね1時間程度）				
2	Unit1: 前回のリスニング内容の復習、Reading & Writingに取り組み、Writingした英文を発表する。Review Quiz (1)					Unit 1:Readingのパートを辞書を使って読み、問題に答えておく。新出のVocabularyをまとめる（概ね1時間程度）				
3	Unit2: Checking Out (Making Suggestions/Giving Warnings) リスニング練習・ペアワークを中心に活動する					Unit 2 : Vocabulary, Language Focus, Grammarのパートを辞書を使って読んでおく。（概ね1時間程度）				
4	Unit2: 前回のリスニング内容の復習、Reading & Writingに取り組み、Writingした英文を発表する。Review Quiz (2)					Unit 2 :Readingのパートを辞書を使って読み、問題に答えておく。新出のVocabularyをまとめる（概ね1時間程度）				
5	Unit3 : Get in Shape (Discussing Health) リスニング練習・ペアワークを中心に活動する					Unit 3 : Vocabulary, Language Focus, Grammarのパートを辞書を使って読んでおく。（概ね1時間程度）				
6	Unit3: 前回のリスニング内容の復習、Reading & Writingに取り組み、Writingした英文を発表する。Review Quiz (3)					Unit 3:Readingのパートを辞書を使って読み、問題に答えておく。新出のVocabularyをまとめる（概ね1時間程度）				
7	Unit4 : Money Management (Describing Financial Situations/Talking about Your Budget) リスニング練習・ペアワークを中心に活動する					Unit 4 : Vocabulary, Language Focus, Grammarのパートを辞書を使って読んでおく。（概ね1時間程度）				
8	Unit4: 前回のリスニング内容の復習、Reading & Writingに取り組み、Writingした英文を発表する。Review Quiz (4)					Unit 4:Readingのパートを辞書を使って読み、問題に答えておく。新出のVocabularyをまとめる（概ね1時間程度）				
9	Unit5 : Close Ties (Expressing Surprise/Talking about Progress) リスニング練習・ペアワークを中心に活動する					Unit 5 : Vocabulary, Language Focus, Grammarのパートを辞書を使って読んでおく。（概ね1時間程度）				
10	Unit5: 前回のリスニング内容の復習、Reading & Writingに取り組み、Writingした英文を発表する。Review Quiz (5)					Unit 5:Readingのパートを辞書を使って読み、問題に答えておく。新出のVocabularyをまとめる（概ね1時間程度）				
11	Unit6 : Time to Celebrate (Making and Responding to Invitations) リスニング練習・ペアワークを中心に活動する					Unit 6 : Vocabulary, Language Focus, Grammarのパートを辞書を使って読んでおく。（概ね1時間程度）				
12	Unit6: 前回のリスニング内容の復習、Reading & Writingに取り組み、Writingした英文を発表する。Review Quiz (6)					Unit 6:Readingのパートを辞書を使って読み、問題に答えておく。新出のVocabularyをまとめる（概ね1時間程度）				

回	授業計画	準備学修
13	Unit7 : Animals in Danger (Being Frank and Joking/Showing Understanding) リスニング練習・ペアワークを中心に活動する	Unit 7: Vocabulary, Language Focus, Grammarのパートを辞書を使って読んでおく。(概ね1時間程度)
14	Unit7: 前回のリスニング内容の復習、Reading & Writingに取り組み、Writingした英文を発表する。Review Quiz (7)	Unit 7: Readingのパートを辞書を使って読み、問題に答えておく。新出のVocabularyをまとめる(概ね1時間程度)
15	Unit8 : A Fine Art (Talking about Natural Talents) リスニング練習・ペアワークを中心に活動する	Unit 8: Vocabulary, Language Focus, Grammarのパートを辞書を使って読んでおく。(概ね1時間程度)
16	Unit8: 前回のリスニング内容の復習、Reading & Writingに取り組み、Writingした英文を発表する。Review Quiz (8)	Unit 8: Readingのパートを辞書を使って読み、問題に答えておく。新出のVocabularyをまとめる(概ね1時間程度)
17	Unit9 : Tune In (Relaxing) リスニング練習・ペアワークを中心に活動する	Unit 9: Vocabulary, Language Focus, Grammarのパートを辞書を使って読んでおく。(概ね1時間程度)
18	Unit9: 前回のリスニング内容の復習、Reading & Writingに取り組み、Writingした英文を発表する。Review Quiz (9)	Unit 9: Readingのパートを辞書を使って読み、問題に答えておく。新出のVocabularyをまとめる(概ね1時間程度)
19	Unit10 : Music to Our Ears (Discussing Success/Talking about Influence) リスニング練習・ペアワークを中心に活動する	Unit 10: Vocabulary, Language Focus, Grammarのパートを辞書を使って読んでおく。(概ね1時間程度)
20	Unit10: 前回のリスニング内容の復習、Reading & Writingに取り組み、Writingした英文を発表する。Review Quiz (10)	Unit 10: Readingのパートを辞書を使って読み、問題に答えておく。新出のVocabularyをまとめる(概ね1時間程度)
21	Unit11 : Study Abroad (Talking about Easy and Difficult Things/Expressing Worry) リスニング練習・ペアワークを中心に活動する	Unit 11: Vocabulary, Language Focus, Grammarのパートを辞書を使って読んでおく。(概ね1時間程度)
22	Unit11: 前回のリスニング内容の復習、Reading & Writingに取り組み、Writingした英文を発表する。Review Quiz (11)	Unit 11: Readingのパートを辞書を使って読み、問題に答えておく。新出のVocabularyをまとめる(概ね1時間程度)
23	Unit12 : Technology and You (Expressing Function/Disussing Technology) リスニング練習・ペアワークを中心に活動する	Unit 12: Vocabulary, Language Focus, Grammarのパートを辞書を使って読んでおく。(概ね1時間程度)
24	Unit12: 前回のリスニング内容の復習、Reading & Writingに取り組み、Writingした英文を発表する。Review Quiz (12)	Unit 12: Readingのパートを辞書を使って読み、問題に答えておく。新出のVocabularyをまとめる(概ね1時間程度)
25	Unit13: Right and Wrong (Sharing Information/Showing Anger) リスニング練習・ペアワークを中心に活動する	Unit 13: Vocabulary, Language Focus, Grammarのパートを辞書を使って読んでおく。(概ね1時間程度)
26	Unit13: 前回のリスニング内容の復習、Reading & Writingに取り組み、Writingした英文を発表する。Review Quiz (13)	Unit 13: Readingのパートを辞書を使って読み、問題に答えておく。新出のVocabularyをまとめる(概ね1時間程度)
27	Unit14: Your Career Starts Now (Giving Encouragement/Discussing Possibility) リスニング練習・ペアワークを中心に活動する	Unit 14: Vocabulary, Language Focus, Grammarのパートを辞書を使って読んでおく。(概ね1時間程度)
28	Unit14: 前回のリスニング内容の復習、Reading & Writingに取り組み、Writingした英文を発表する。Review Quiz (14)	Unit 14: Readingのパートを辞書を使って読み、問題に答えておく。新出のVocabularyをまとめる(概ね1時間程度)
29	Unit 1～7の語彙・重要表現、文法表現等を復習、リスニング練習とReviewテスト	Unit 1～7で学修したことを復習すること。(概ね2時間程度)
30	Unit 8～14の語彙・重要表現、文法表現等を復習、リスニング練習とReviewテスト	Unit 8～14で学修したことを復習すること。(概ね2時間程度)
教科書	「New Connection Book 2 (CEFR A2-B1)」 成美堂	
参考文献	特になし	
備考	状況により遠隔授業に変更することがある。	

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-1-EBA-05				
	●	●								
科目名	Reading & Vocabulary I				単位 認定者	小松 義隆 (A)		評価 の方法	授業内課題等	70 %
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	1 年	開講時期	前期	単位数	2 単位		受講態度	30 %
					授業形態 <td rowspan="2">演習</td> <td>授業時間数</td> <td>60 時間</td> <td></td> <td></td>	演習	授業時間数		60 時間	
				授業回数			30 回			
授業の概要	本科目の目的は、英語の読解力を向上させ、併せて、ボキャブラリービルディングを図ることである。合理的な構造の英語では、単語は文脈によって大きく意味が異なることを理解し、長文読解を通して、辞書の活用法を学ぶ。これにより、語彙を広げるだけでなく語源に基づいた英単語の構造を知り、表現の幅を広げ、英語コミュニケーション能力の向上にもつなげる。読解に関しては、パラグラフの構造、文章の構成を理解し、容易にトピックセンテンスを見つけられるようになることで逐語訳をせずに文意を把握する力の養成と読解速度の向上を図る。									
到達目標	学生個人が持っている知識を活用しながら現代社会の様々な話題に関する相当量の英文読み、早く・正確に内容を把握できる。段落や文章の構成を理解し、必要な情報を迅速に抜き出せる。辞書の活用法を学び、語彙を広げコミュニケーション能力の向上につなげる。									
学修者への期待等	英語4技能のうち知識の定着が特に重要となるのがReadingとVocabulary buildingである。本授業では現代の日本の様々なトピックについて扱っているテキストを通し、本文中に出てくる語彙や文法事項と並列して学修を進めていく（リメディアル効果もあり）。本授業は週2回ペースで行われるため単調化を防ぐ意味でも2つ目の構成として、オンライン英字新聞Time for Kidsの記事もとりあげる。Up-to-dateな時事ネタを読み、周辺調査をすることで社会情勢にも明るくなり、同時に読解力、語彙力をつける。語彙を増やす取り組みとしては接頭辞、語幹、接尾辞に関してイラストを通してそれぞれのイメージをわかりやすく扱った「英単語の語源図鑑」を隔回の授業で扱い、後期にまでわたって使用することで着実な語彙力伸長も図る予定である。本授業で扱う内容（テキストのトピック・英字新聞記事・語源等）に興味をもって参加することを期待する。									
回	授業計画					準備学修				
1	本授業の進め方について、予習、復習、評価についての説明。 Chapter 1 Ken Watanabe 『英単語の語源図鑑』Chapter 1 part 1					「はしがき」を読み、テキストを概観して構成を見ておく。 Notesを参照しながらChapter 1の内容を予習する。 Grammar Review～Exerciseまで 「英単語の語源図鑑」対応箇所 (概ね1時間)				
2	Time for Kids ① Article 1 (1回目の授業時に配布) グループ別記事内容（および周辺知識）発表					1回目の授業時に配布したTime for Kids記事（グループ別）を分担し予習（概ね1時間）				
3	Chapter 2 Sakana-kun 「英単語の語源図鑑」Chapter 1 part 2					Notesを参照しながらChapter 2の内容を予習する。 Grammar Review～Exerciseまで 「英単語の語源図鑑」対応箇所 (概ね1時間)				
4	Time for Kids ② Article 2 (2回目の授業時に配布) グループ別記事内容（および周辺知識）発表					2回目の授業時に配布したTime for Kids記事（グループ別）を分担し予習（概ね1時間）				
5	Chapter 3 Kohei Uchimura 「英単語の語源図鑑」Chapter 2 part 1					Notesを参照しながらChapter 3の内容を予習する。 Grammar Review～Exerciseまで 「英単語の語源図鑑」対応箇所 (概ね1時間)				
6	Time for Kids ③ Article 3 (4回目の授業時に配布) グループ別記事内容（および周辺知識）発表					4回目の授業時に配布したTime for Kids記事（グループ別）を分担し予習（概ね1時間）				
7	Chapter 4 Hiromi Miyake 「英単語の語源図鑑」Chapter 2 part 2					Notesを参照しながらChapter 4の内容を予習する。 Grammar Review～Exerciseまで 「英単語の語源図鑑」対応箇所 (概ね1時間)				
8	Time for Kids ④ Article 4 (6回目の授業時に配布) グループ別記事内容（および周辺知識）発表					6回目の授業時に配布したTime for Kids記事（グループ別）を分担し予習（概ね1時間）				
9	Chapter 5 Taiwan 「英単語の語源図鑑」Chapter 3 part 1					Notesを参照しながらChapter 5の内容を予習する。 Grammar Review～Exerciseまで 「英単語の語源図鑑」対応箇所 (概ね1時間)				
10	Time for Kids ⑤ Article 5 (8回目の授業時に配布) グループ別記事内容（および周辺知識）発表					8回目の授業時に配布したTime for Kids記事（グループ別）を分担し予習（概ね1時間）				
11	Chapter 6 Apples 「英単語の語源図鑑」Chapter 3 part 2					Notesを参照しながらChapter 6の内容を予習する。 Grammar Review～Exerciseまで 「英単語の語源図鑑」対応箇所 (概ね1時間)				
12	Time for Kids ⑥ Article 6 (10回目の授業時に配布) グループ別記事内容（および周辺知識）発表					10回目の授業時に配布したTime for Kids記事（グループ別）を分担し予習（概ね1時間）				

回	授業計画	準備学修
13	Chapter 7 B-Class Food Boom 「英単語の語源図鑑」 Chapter 4 part 1	Notesを参照しながらChapter 7の内容を予習する。 Grammar Review～Exerciseまで 「英単語の語源図鑑」 対応箇所 (概ね1時間)
14	Time for Kids ⑦ Article 7 (12回目の授業時に配布) グループ別記事内容 (および周辺知識) 発表	12回目の授業時に配布したTime for Kids記事 (グループ別) を分担し予習 (概ね1時間)
15	Chapter 8 Food Traceability 「英単語の語源図鑑」 Chapter 4 part 2	Notesを参照しながらChapter 8の内容を予習する。 Grammar Review～Exerciseまで 「英単語の語源図鑑」 対応箇所 (概ね1時間)
16	既習範囲のまとめと確認	これまでの授業で学修した範囲の確認 (概ね1.5時間)
17	Chapter 9 Naming Rights 「英単語の語源図鑑」 Chapter 5 part 1	Notesを参照しながらChapter 9の内容を予習する。 Grammar Review～Exerciseまで 「英単語の語源図鑑」 対応箇所 (概ね1時間)
18	Time for Kids ⑧ Article 8 (14回目の授業時に配布) グループ別記事内容 (および周辺知識) 発表	14回目の授業時に配布したTime for Kids記事 (グループ別) を分担し予習 (概ね1時間)
19	Chapter 10 Smart Cities 「英単語の語源図鑑」 Chapter 5 part 2	Notesを参照しながらChapter 10の内容を予習する。 Grammar Review～Exerciseまで 「英単語の語源図鑑」 対応箇所 (概ね1時間)
20	Time for Kids ⑨ Article 9 (18回目の授業時に配布) グループ別記事内容 (および周辺知識) 発表	18回目の授業時に配布したTime for Kids記事 (グループ別) を分担し予習 (概ね1時間)
21	Chapter 11 Geopark 「英単語の語源図鑑」 Chapter 6 part 1	Notesを参照しながらChapter 11の内容を予習する。 Grammar Review～Exerciseまで 「英単語の語源図鑑」 対応箇所 (概ね1時間)
22	Time for Kids ⑩ Article 10 (20回目の授業時に配布) グループ別記事内容 (および周辺知識) 発表	20回目の授業時に配布したTime for Kids記事 (グループ別) を分担し予習 (概ね1時間)
23	Chapter 12 Rare Earths 「英単語の語源図鑑」 Chapter 6 part 2	Notesを参照しながらChapter 12の内容を予習する。 Grammar Review～Exerciseまで 「英単語の語源図鑑」 対応箇所 (概ね1時間)
24	Time for Kids ⑪ Article 11 (22回目の授業時に配布) グループ別記事内容 (および周辺知識) 発表	22回目の授業時に配布したTime for Kids記事 (グループ別) を分担し予習 (概ね1時間)
25	Chapter 13 Biomass 「英単語の語源図鑑」 Chapter 7 part 1	Notesを参照しながらChapter 13の内容を予習する。 Grammar Review～Exerciseまで 「英単語の語源図鑑」 対応箇所 (概ね1時間)
26	Time for Kids ⑫ Article 12 (24回目の授業時に配布) グループ別記事内容 (および周辺知識) 発表	24回目の授業時に配布したTime for Kids記事 (グループ別) を分担し予習 (概ね1時間)
27	Chapter 14 Green Curtains 「英単語の語源図鑑」 Chapter 7 part 2	Notesを参照しながらChapter 14の内容を予習する。 Grammar Review～Exerciseまで 「英単語の語源図鑑」 対応箇所 (概ね1時間)
28	Time for Kids ⑬ Article 12 (26回目の授業時に配布) グループ別記事内容 (および周辺知識) 発表	26回目の授業時に配布したTime for Kids記事 (グループ別) を分担し予習 (概ね1時間)
29	Chapter 15 The Robot Industry 「英単語の語源図鑑」 Chapter 8 part 1	Notesを参照しながらChapter 15の内容を予習する。 Grammar Review～Exerciseまで 「英単語の語源図鑑」 対応箇所 (概ね1時間)
30	Time for Kids ⑭ Article 14 (28回目の授業時に配布) グループ別記事内容 (および周辺知識) 発表	28回目の授業時に配布したTime for Kids記事 (グループ別) を分担し予習 (概ね1時間)
教科書	「ジャパン イノベーション」 ジョアン・ペロケティ他 2017 南雲堂 「英単語の語源図鑑」 清水健司、すずきひろし かんき出版	
参考文献	特になし	
備考	内容の進捗によってシラバスの内容を変更することがあります。 状況により、遠隔授業になる場合があります。 授業内課題 (各回の訳等) はLMSに提出してください。コメントをつける形式でフィードバックします。	

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力	科目ナンバリング				
	●	●				CE-1-EBA-05				
科目名	Reading & Vocabulary I				単位 認定者	小松 義隆 (B)		評価の 方法	授業内課題等	70 %
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	1 年	開講時期	前期	単位数	2 単位		受講態度	30 %
						授業時間数	60 時間			
					授業形態	演習	授業回数		30 回	
授業の概要	本科目の目的は、英語の読解力を向上させ、併せて、ボキャブラリービルディングを図ることである。合理的な構造の英語では、単語は文脈によって大きく意味が異なることを理解し、長文読解を通して、辞書の活用法を学ぶ。これにより、語彙を広げるだけでなく語源に基づいた英単語の構造を知り、表現の幅を広げ、英語コミュニケーション能力の向上にもつなげる。読解に関しては、パラグラフの構造、文章の構成を理解し、容易にトピックセンテンスを見つけられるようになることで逐語訳をせずに文意を把握する力の養成と読解速度の向上を図る。									
到達目標	学生個々人が持っている知識を活用しながら現代社会の様々な話題に関する相当量の英文読み、早く・正確に内容を把握できる。段落や文章の構成を理解し、必要な情報を迅速に抜き出せる。辞書の活用法を学び、語彙を広げコミュニケーション能力の向上につなげる。									
学修者への期待等	英語4技能のうち知識の定着が特に重要となるのがReadingとVocabulary buildingである。本授業では現代の日本の様々なトピックについて扱っているテキストを通し、本文中に出てくる語彙や文法事項と並列して学修を進めていく（リメディアル効果もあり）。本授業は週2回ペースで行われるため単調化を防ぐ意味でも2つ目の構成として、オンライン英字新聞Time for Kidsの記事もとりあげる。Up-to-dateな時事ネタを読み、周辺調査をすることで社会情勢にも明るくなり、同時に読解力、語彙力をつける。語彙を増やす取り組みとしては接頭辞、語幹、接尾辞に関してイラストを通してそれぞれのイメージをわかりやすく扱った「英単語の語源図鑑」を隔回の授業で扱い、後期にまでわたって使用することで着実な語彙力伸長も図る予定である。本授業で扱う内容（テキストのトピック・英字新聞記事・語源等）に興味をもって参加することを期待する。									
回	授業計画					準備学修				
1	本授業の進め方について、予習、復習、評価についての説明。 Chapter 1 Ken Watanabe 『英単語の語源図鑑』Chapter 1 part 1					「はしがき」を読み、テキストを概観して構成を見ておく。 Notesを参照しながらChapter 1の内容を予習する。Grammar Review～Exerciseまで 「英単語の語源図鑑」 対応箇所 (概ね1時間)				
2	Time for Kids ① Article 1 (1回目の授業時に配布) グループ別記事内容（および周辺知識）発表					1回目の授業時に配布したTime for Kids記事（グループ別）を分担し予習（概ね1時間）				
3	Chapter 2 Sakana-kun 「英単語の語源図鑑」Chapter 1 part 2					Notesを参照しながらChapter 2の内容を予習する。Grammar Review～Exerciseまで 「英単語の語源図鑑」 対応箇所 (概ね1時間)				
4	Time for Kids ② Article 2 (2回目の授業時に配布) グループ別記事内容（および周辺知識）発表					2回目の授業時に配布したTime for Kids記事（グループ別）を分担し予習（概ね1時間）				
5	Chapter 3 Kohei Uchimura 「英単語の語源図鑑」Chapter 2 part 1					Notesを参照しながらChapter 3の内容を予習する。Grammar Review～Exerciseまで 「英単語の語源図鑑」 対応箇所 (概ね1時間)				
6	Time for Kids ③ Article 3 (4回目の授業時に配布) グループ別記事内容（および周辺知識）発表					4回目の授業時に配布したTime for Kids記事（グループ別）を分担し予習（概ね1時間）				
7	Chapter 4 Hiromi Miyake 「英単語の語源図鑑」Chapter 2 part 2					Notesを参照しながらChapter 4の内容を予習する。Grammar Review～Exerciseまで 「英単語の語源図鑑」 対応箇所 (概ね1時間)				
8	Time for Kids ④ Article 4 (6回目の授業時に配布) グループ別記事内容（および周辺知識）発表					6回目の授業時に配布したTime for Kids記事（グループ別）を分担し予習（概ね1時間）				
9	Chapter 5 Taiwan 「英単語の語源図鑑」Chapter 3 part 1					Notesを参照しながらChapter 5の内容を予習する。Grammar Review～Exerciseまで 「英単語の語源図鑑」 対応箇所 (概ね1時間)				
10	Time for Kids ⑤ Article 5 (8回目の授業時に配布) グループ別記事内容（および周辺知識）発表					8回目の授業時に配布したTime for Kids記事（グループ別）を分担し予習（概ね1時間）				
11	Chapter 6 Apples 「英単語の語源図鑑」Chapter 3 part 2					Notesを参照しながらChapter 6の内容を予習する。Grammar Review～Exerciseまで 「英単語の語源図鑑」 対応箇所 (概ね1時間)				
12	Time for Kids ⑥ Article 6 (10回目の授業時に配布) グループ別記事内容（および周辺知識）発表					10回目の授業時に配布したTime for Kids記事（グループ別）を分担し予習（概ね1時間）				

回	授業計画	準備学修
13	Chapter 7 B-Class Food Boom 「英単語の語源図鑑」Chapter 4 part 1	Notesを参照しながらChapter 7の内容を予習する。Grammar Review～Exerciseまで 「英単語の語源図鑑」 対応箇所 (概ね1時間)
14	Time for Kids ⑦ Article 7 (12回目の授業時に配布) グループ別記事内容 (および周辺知識) 発表	12回目の授業時に配布したTime for Kids記事 (グループ別) を分担し予習 (概ね1時間)
15	Chapter 8 Food Traceability 「英単語の語源図鑑」Chapter 4 part 2	Notesを参照しながらChapter 8の内容を予習する。Grammar Review～Exerciseまで 「英単語の語源図鑑」 対応箇所 (概ね1時間)
16	既習範囲のまとめと確認	これまでの授業で学修した範囲の確認 (概ね1.5時間)
17	Chapter 9 Naming Rights 「英単語の語源図鑑」Chapter 5 part 1	Notesを参照しながらChapter 9の内容を予習する。Grammar Review～Exerciseまで 「英単語の語源図鑑」 対応箇所 (概ね1時間)
18	Time for Kids ⑧ Article 8 (14回目の授業時に配布) グループ別記事内容 (および周辺知識) 発表	14回目の授業時に配布したTime for Kids記事 (グループ別) を分担し予習 (概ね1時間)
19	Chapter 10 Smart Cities 「英単語の語源図鑑」Chapter 5 part 2	Notesを参照しながらChapter 10の内容を予習する。Grammar Review～Exerciseまで 「英単語の語源図鑑」 対応箇所 (概ね1時間)
20	Time for Kids ⑨ Article 9 (18回目の授業時に配布) グループ別記事内容 (および周辺知識) 発表	18回目の授業時に配布したTime for Kids記事 (グループ別) を分担し予習 (概ね1時間)
21	Chapter 11 Geopark 「英単語の語源図鑑」Chapter 6 part 1	Notesを参照しながらChapter 11の内容を予習する。Grammar Review～Exerciseまで 「英単語の語源図鑑」 対応箇所 (概ね1時間)
22	Time for Kids ⑩ Article 10 (20回目の授業時に配布) グループ別記事内容 (および周辺知識) 発表	20回目の授業時に配布したTime for Kids記事 (グループ別) を分担し予習 (概ね1時間)
23	Chapter 12 Rare Earths 「英単語の語源図鑑」Chapter 6 part 2	Notesを参照しながらChapter 12の内容を予習する。Grammar Review～Exerciseまで 「英単語の語源図鑑」 対応箇所 (概ね1時間)
24	Time for Kids ⑪ Article 11 (22回目の授業時に配布) グループ別記事内容 (および周辺知識) 発表	22回目の授業時に配布したTime for Kids記事 (グループ別) を分担し予習 (概ね1時間)
25	Chapter 13 Biomass 「英単語の語源図鑑」Chapter 7 part 1	Notesを参照しながらChapter 13の内容を予習する。Grammar Review～Exerciseまで 「英単語の語源図鑑」 対応箇所 (概ね1時間)
26	Time for Kids ⑫ Article 12 (24回目の授業時に配布) グループ別記事内容 (および周辺知識) 発表	24回目の授業時に配布したTime for Kids記事 (グループ別) を分担し予習 (概ね1時間)
27	Chapter 14 Green Curtains 「英単語の語源図鑑」Chapter 7 part 2	Notesを参照しながらChapter 14の内容を予習する。Grammar Review～Exerciseまで 「英単語の語源図鑑」 対応箇所 (概ね1時間)
28	Time for Kids ⑬ Article 12 (26回目の授業時に配布) グループ別記事内容 (および周辺知識) 発表	26回目の授業時に配布したTime for Kids記事 (グループ別) を分担し予習 (概ね1時間)
29	Chapter 15 The Robot Industry 「英単語の語源図鑑」Chapter 8 part 1	Notesを参照しながらChapter 15の内容を予習する。Grammar Review～Exerciseまで 「英単語の語源図鑑」 対応箇所 (概ね1時間)
30	Time for Kids ⑭ Article 14 (28回目の授業時に配布) グループ別記事内容 (および周辺知識) 発表	28回目の授業時に配布したTime for Kids記事 (グループ別) を分担し予習 (概ね1時間)
教科書	「ジャパン イノベーション」ジョアン・ペロケティ他 2017 南雲堂 「英単語の語源図鑑」清水健司、すずきひろし かんき出版	
参考文献	特になし	
備考	内容の進捗によってシラパスの内容を変更することがあります。 状況により、遠隔授業になる場合があります。 授業内課題 (各回の訳等) はLMSに提出してください。コメントをつける形式でフィードバックします。	
※以下は該当者のみ記載する。		
実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)		

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング					
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-1-EBA-06					
	●	●									
科目名	Reading & Vocabulary II				単位認定者	相田 明子		評価の方法	試験(筆記)	50	%
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	1 年	開講時期	後期 <th>単位数</th> <td>2 単位</td> <td>授業内課題等</td> <td>30</td> <td>%</td>	単位数	2 単位		授業内課題等	30	%
						授業時間数	60 時間		受講態度	20	%
					授業形態	演習	授業回数		30 回		
授業の概要	「Reading & Vocabulary I」で学修した内容を踏まえ、辞書を正しく活用しながら、専門的な内容を含んだやや高度な英文の読解能力を養成することを目的とする。科学記事や、新聞記事など、ジャンルごとの文体や構成を理解し、そこに現れる専門用語や省略表現などを学び、継続的に語彙量を増やす。具体的な方法としては、スキミング、スキヤニング、スラッシュリーディングなどの方法を用いながら意味のかたまりを捉え、長い文章の中から必要な情報を素早く的確に把握できる能力を培う。										
到達目標	1. やや高度な英語の長文を、その文章が書かれた背景や状況を考慮しながら、読解できるようになる。 2. 辞書の正しい活用法を知り、様々な領域の語彙を習得する。 3. 授業でのアクティビティを通して、実用的な英語運用能力の基礎を身に付ける。										
学修者への期待等	課された準備学修を、辞書を使いながら丁寧に行ってください。最初は時間がかかるかもしれませんが、英語読解力は徐々に向上します。授業には必ず英和辞書を携帯してください（スマートフォンの辞書機能は、長文の精読の学修には充分ではありません。）										
回	授業計画					準備学修					
1	本授業の進め方について、予習、復習、評価について Unit 1 The Brexit Referendum 国民投票とBrexit : Brexitについて、これまでの変遷を追いながら本文を精読する。 Words and Vocabularyの確認。					テキストの本文の英文を和訳する。 Exercises 1と2を解答する（授業計画に対応する予習） （概ね1時間）					
2	Unit 1 The Brexit Referendum : 前回に続き本文を精読し、Brexitが英国やヨーロッパに与える影響について話し合う。練習問題の解答をする。 Words and Vocabularyの小テスト。					テキストの本文の英文を和訳する。 Exercises 1と2を解答する（授業計画に対応する予習） （概ね1時間）					
3	Unit 2 The New Mayor of London : 本文を精読しながら英国における民族・宗教の問題について学ぶ。 Words and Vocabularyの確認。					テキストの本文の英文を和訳する。 Exercises 1と2を解答する（授業計画に対応する予習） （概ね1時間）					
4	Unit 2 The New Mayor of London:前回に続き本文を精読し、ロンドンにおける民族・宗教について意見を出し合う。練習問題の解答をする。 Words and Vocabularyの小テスト。					テキストの本文の英文を和訳する。 Exercises 1と2を解答する（授業計画に対応する予習） （概ね1時間）					
5	Unit 3 Brits on Bikes 自転車の歴史と最新事情:交通標識についての最新語彙を学びながら、本文を精読する。 Words and Vocabularyの確認。					テキストの本文の英文を和訳する。 Exercises 1と2を解答する（授業計画に対応する予習） （概ね1時間）					
6	Unit 3 Brits on Bikes:先週に続き本文を精読する。練習問題の解答をする。 Words and Vocabularyの小テスト。					テキストの本文の英文を和訳する。 Exercises 1と2を解答する（授業計画に対応する予習） （概ね1時間）					
7	Unit 4 Oxford and Cambridge:英国の大学制度について学びながら、本文を精読する。 Words and Vocabularyの確認。					テキストの本文の英文を和訳する。 Exercises 1と2を解答する（授業計画に対応する予習） （概ね1時間）					
8	Unit 4 Oxford and Cambridge:前回に続き本文を精読しながら、2つの大学都市における最新事情について、教科書の内容をまとめて発表する。練習問題の解答。 Words and Vocabularyの小テスト。					テキストの本文の英文を和訳する。 Exercises 1と2を解答する（授業計画に対応する予習） （概ね1時間）					
9	Unit 5 A Profile of Cornwall : 英国の"County"について触れながら、本文を精読する。 Words and Vocabularyの確認。					テキストの本文の英文を和訳する。 Exercises 1と2を解答する（授業計画に対応する予習） （概ね1時間）					
10	Unit 5 A Profile of Cornwall : 先週に続いて本文を精読しながら、他の"County"についても触れる。練習問題の解答。 Words and Vocabularyの小テスト。					テキストの本文の英文を和訳する。 Exercises 1と2を解答する（授業計画に対応する予習） （概ね1時間）					
11	Unit 6 The Cost of Being Young Today : 各世代に対する名称であるジェネレーションX、ジェネレーションY、Millennialsについて学びながら本文を精読する。 Words and Vocabularyの確認。					テキストの本文の英文を和訳する。 Exercises 1と2を解答する（授業計画に対応する予習） （概ね1時間）					
12	Unit 6 The Cost of Being Young Today : 先週に続いて本文を精読しながら、Millenialsであることの特権や代償について意見を出し合う。 Words and Vocabularyの小テスト。					テキストの本文の英文を和訳する。 Exercises 1と2を解答する（授業計画に対応する予習） （概ね1時間）					

回	授業計画	準備学修
13	Unit 7 It All Began at Rugby School 英国のグラマースクールについて学びながら、本文の精読をする。 Words and Vocabularyの確認	テキストの本文の英文を和訳する。 Exercises 1と2を解答する（授業計画に対応する予習） （概ね1時間）
14	Unit 7 It All Began at Rugby School:先週に続いて本文を精読しながら、ラグビーの発祥について意見交換をする。 Words and Vocabularyの小テスト。	テキストの本文の英文を和訳する。 Exercises 1と2を解答する（授業計画に対応する予習） （概ね1時間）
15	既習範囲の総まとめと確認	既習範囲の復習（概ね1時間）
16	Unit 8 Britain and the Sea : ヨーロッパの「海洋」の歴史を学びながら本文の精読をする。 Words and Vocabularyの確認。	テキストの本文の英文を和訳する。 Exercises 1と2を解答する（授業計画に対応する予習） （概ね1時間）
17	Unit 8 Britain and the Sea:先週に続いて本文を精読しながら、 海洋帝国としての英国について要点をまとめる。 Words and Vocabularyの小テスト。	テキストの本文の英文を和訳する。 Exercises 1と2を解答する（授業計画に対応する予習） （概ね1時間）
18	Unit 9 Images of Scotland: イングランドとスコットランドについて、 歴史・地理等を学びながら本文を精読する。 Words and Vocabularyの確認。	テキストの本文の英文を和訳する。 Exercises 1と2を解答する（授業計画に対応する予習） （概ね1時間）
19	Unit 9 Images of Scotland: 先週に続いて本文を精読しながらスコットランドについて自分の意見を述べる。 Words and Vocabularyの小テスト。	テキストの本文の英文を和訳する。 Exercises 1と2を解答する（授業計画に対応する予習） （概ね1時間）
20	Unit 10 The New Look: 本文を精読しながら、英国（ヨーロッパ）のファッション最新事情に触れる。 Words and Vocabularyの確認。	テキストの本文の英文を和訳する。 Exercises 1と2を解答する（授業計画に対応する予習） （概ね1時間）
21	Unit 10 The New Look: 先週に続いて本文を精読しながら、ファッションを体現する権利について話し合う。 Words and Vocabularyの小テスト。	テキストの本文の英文を和訳する。 Exercises 1と2を解答する（授業計画に対応する予習） （概ね1時間）
22	Unit 11 The Japanese in Britain : 本文を精読しながら、英国と日本の歴史を学ぶ。 Words and Vocabularyの確認。	テキストの本文の英文を和訳する。 Exercises 1と2を解答する（授業計画に対応する予習） （概ね1時間）
23	Unit 11 The Japanese in Britain: 先週に続いて本文を精読しながら、英国と日本の類似点について意見を出し合う。 Words and Vocabularyの小テスト。	テキストの本文の英文を和訳する。 Exercises 1と2を解答する（授業計画に対応する予習） （概ね1時間）
24	Unit 12 Health matters : 本文を精読しながら、「福祉国家」英国について学ぶ。 Words and Vocabularyの確認。	テキストの本文の英文を和訳する。 Exercises 1と2を解答する（授業計画に対応する予習） （概ね1時間）
25	Unit 12 Health matters: 先週に続いて本文を精読しながら、英国の社会保障制度について、日本と比較しながら考えてみる。 Words and Vocabularyの小テスト。	テキストの本文の英文を和訳する。 Exercises 1と2を解答する（授業計画に対応する予習） （概ね1時間）
26	Unit 13 The House of Windsor: 英国の王室制度について学ぶ。 Words and Vocabularyの確認。	テキストの本文の英文を和訳する。 Exercises 1と2を解答する（授業計画に対応する予習） （概ね1時間）
27	Unit 13 The House of Windsor: 先週に続いて本文を精読しながら、英国王室の社会的役割について感じたことを発表する。 Words and Vocabularyの小テスト。	テキストの本文の英文を和訳する。 Exercises 1と2を解答する（授業計画に対応する予習） （概ね1時間）
28	Unit 14 The Changing London Skylines: ロンドンという都市の歴史を学ぶ。 Words and Vocabularyの確認。	テキストの本文の英文を和訳する。 Exercises 1と2を解答する（授業計画に対応する予習） （概ね1時間）
29	Unit 15 The Changing London Skylines:先週に続いて本文を精読しながら、21世紀のロンドンの景観を眺める。 Words and Vocabularyの確認。	テキストの本文の英文を和訳する。 Exercises 1と2を解答する（授業計画に対応する予習） （概ね1時間）
30	既習範囲の総まとめと確認	既習範囲の復習（概ね1時間）
教科書	「Britain at a Watershed」 John H. Randle 成美堂	
参考文献	授業時に適宜紹介する。	
備考	内容の進捗によってシラバスの内容を変更することがあります。状況により、遠隔授業になる場合がある。	
※以下は該当者のみ記載する。		
実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)		

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング						
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-1-EBA-06						
	●	●										
科目名	Reading & Vocabulary II				単位 認定者	小松 義隆		評価 の方法	授業内課題等	70	%	
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科		必修	1 年	開講時期	後期	単位数		2 単位	受講態度	30	%
						授業形態	演習		授業時間数	60 時間		
									授業回数	30 回		
授業の概要	「Reading & Vocabulary I」で学修した内容を踏まえ、辞書を正しく活用しながら、専門的な内容を含んだやや高度な英文の読解能力を養成することを目的とする。科学記事や、新聞記事など、ジャンルごとの文体や構成を理解し、そこに現れる専門用語や省略表現などを学び、継続的に語彙量を増やす。具体的な方法としては、スキミング、スキヤニング、スラッシュリーディングなどの方法を用いながら意味のかたまりを捉え、長い文章の中から必要な情報を素早く的確に把握できる能力を培う。											
到達目標	「Reading & Vocabulary I」より専門的・高度になった内容を扱う。多種多様なトピックに関して、世界に発信・共有する価値のある概念をプレゼンテーションする番組、TED Talkをとり挙げたテキストを使用し、口語英語の文体に慣れ、内容を正確に把握できるようになる。口語英語を読み解き訳することで通訳に必要な素養について自分たちで考え、内容を自然な日本語にまとめることができるようになる。											
学修者への期待等	プレゼンテーションで使用される口語表現に慣れ、プレゼンテーションの構成を参考にしてください。プレゼンターは基本的に早口で専門的な語彙を使用しています。発表の中には言葉の間違いや言い直し、ジョークの類も多々出てきますが、それぞれの内容に興味をもって取り組んでください。そして自然な日本語に変換することを意識してください。インターネットや辞書等を活用し、各トピックや記事の周辺情報も調べてください。前期から使用している『英単語の語源図鑑』を継続して使用することになります。											
回	授業計画					準備学修						
1	本授業の進め方について、予習、復習、評価について Unit 1 LIFE CHANGES Lesson A: The Power to Change 『英単語の語源図鑑』Chapter 8 part 2					テキストの使い方WHAT IS 21st CENTURY READINGに目を通す 授業計画に対応するLesson Aの予習 (概ね1時間)						
2	Unit 1 LIFE CHANGES Lesson B: Try Something New for 30 Days(3:24) (Matt Cutts)					授業計画と対応するTED Talkを見ておく。Lesson Bの予習 (概ね1時間)						
3	Unit 2 TEAM POWER Lesson A: The Marshmallow Challenge 『英単語の語源図鑑』Chapter 9 part 1					授業計画に対応するLesson Aの予習 (概ね1時間)						
4	Unit 2 TEAM POWER Lesson B: Build a Tower、 Build a Team(6:48) (Tom Wujec)					授業計画と対応するTED Talkを見ておく。Lesson Bの予習 (概ね1時間)						
5	既習得内容の確認① Unit1-2のDeveloping Reading Skillsの確認と Comprehension Questionsの答え合わせ等					Unit1-2の範囲のDeveloping Reading Skillsの確認と Comprehension Questionsの予習・復習 (概ね1時間)						
6	Unit 3 OCEAN WONDERS Lesson A: Message from the Sea 『英単語の語源図鑑』Chapter 9 part 2					授業計画に対応するLesson Aの予習 (概ね1時間)						
7	Unit 3 OCEAN WONDERS Lesson B: Underwater Astonishments(5:21) (David Gallo)					授業計画と対応するTED Talkを見ておく。Lesson Bの予習 (概ね1時間)						
8	Unit 4 WHAT WE WEAR Lesson A: The Science of Style 『英単語の語源図鑑』Chapter 10 part 1					授業計画に対応するLesson Aの予習 (概ね1時間)						
9	Unit 4 WHAT WE WEAR Lesson B: Wear Nothing New(5:21) (Jessi Arrington)					授業計画と対応するTED Talkを見ておく。Lesson Bの予習 (概ね1時間)						
10	既習得内容の確認② Unit3-4のDeveloping Reading Skillsの確認と Comprehension Questionsの答え合わせ等					Unit3-4の範囲のDeveloping Reading Skillsの確認と Comprehension Questionsの予習・復習 (概ね1時間)						
11	Unit 5 MOMENTS AND MEMORIES Lesson A: Preserving the Past 『英単語の語源図鑑』Chapter 10 part 2					授業計画に対応するLesson Aの予習 (概ね1時間)						
12	Unit 5 MOMENTS AND MEMORIES Lesson B-1: One Second Every Day(7:59) (前半部分) (Cesar Kuriyama)					授業計画と対応するTED Talkを見ておく。Lesson Bの予習 (概ね1時間)						

回	授業計画	準備学修
13	Unit 5 MOMENTS AND MEMORIES Lesson B-2: One Second Every Day(7:59) (後半部分) (Cesar Kuriyama)	授業計画と対応するTED Talkを見ておく。Lesson Bの予習 (概ね1時間)
14	既習範囲のまとめと確認 (Unit1-5)	Unit1-5で学修した範囲の確認 (概ね1時間)
15	Unit 6 BUILDING SOLUTIONS Lesson A: Living Spaces 『英単語の語源図鑑』 Chapter 11 part 1	授業計画に対応するLesson Aの予習 (概ね1時間)
16	Unit 6 BUILDING SOLUTIONS Lesson B: Ingenious Homes in Unexpected Places(16:58) (0:00～4:11) (Iwan Baan)	授業計画と対応するTED Talkを見ておく。Lesson Bの予習 (概ね1時間)
17	Unit 6 BUILDING SOLUTIONS Lesson B: Ingenious Homes in Unexpected Places(16:58) (4:11～8:53) (Iwan Baan)	授業計画と対応するTED Talkを見ておく。Lesson Bの予習 (概ね1時間)
18	Unit 6 BUILDING SOLUTIONS Lesson B: Ingenious Homes in Unexpected Places(16:58) (8:53～16:58) (Iwan Baan)	授業計画と対応するTED Talkを見ておく。Lesson Bの予習 (概ね1時間)
19	Unit 7 ROAD TO FAME Lesson A: Going Viral 『英単語の語源図鑑』 Chapter 11 part 2	授業計画に対応するLesson Aの予習 (概ね1時間)
20	Unit 7 ROAD TO FAME Lesson B: Why Videos Go Viral(7:16) (Kevin Allocca)	授業計画と対応するTED Talkを見ておく。Lesson Bの予習 (概ね1時間)
21	既習得内容の確認③ Unit6-7のDeveloping Reading Skillsの確認と Comprehension Questionsの答え合わせ等	Unit6-7の範囲のDeveloping Reading Skillsの確認と Comprehension Questionsの予習・復習 (概ね1時間)
22	Unit 8 FACE OFF Lesson A: Lions Killed Near Nairobi 『英単語の語源図鑑』 Chapter 12 part 1	授業計画に対応するLesson Aの予習 (概ね1時間)
23	Unit 8 FACE OFF Lesson B: My Invention that Made Peace with Lions(7:20) (Richard Turere)	授業計画と対応するTED Talkを見ておく。Lesson Bの予習 (概ね1時間)
24	Unit 9 COMMUNITY VOICES Lesson A: Art in the Community 『英単語の語源図鑑』 Chapter 12 part 2	授業計画に対応するLesson Aの予習 (概ね1時間)
25	Unit 9 COMMUNITY VOICES Lesson B: Before I Die、 I Want To…(6:16) (Candy Chang)	授業計画と対応するTED Talkを見ておく。Lesson Bの予習 (概ね1時間)
26	既習得内容の確認④ Unit8-9のDeveloping Reading Skillsの確認と Comprehension Questionsの答え合わせ等	Unit8-9の範囲のDeveloping Reading Skillsの確認と Comprehension Questionsの予習・復習 (概ね1時間)
27	Unit 10 ROBOTS AND US Lesson A: Robots Like Us 『英単語の語源図鑑』 確認とまとめ	授業計画に対応するLesson Aの予習 (概ね1時間)
28	Unit 10 ROBOTS AND US Lesson B: The Rise of Personal Robots(14:00) (前半部分) (Cynthia Breazeal)	授業計画と対応するTED Talkを見ておく。Lesson Bの予習 (概ね1時間)
29	Unit 10 ROBOTS AND US Lesson B: The Rise of Personal Robots(14:00) (後半部分) (Cynthia Breazeal)	授業計画と対応するTED Talkを見ておく。Lesson Bの予習 (概ね1時間)
30	既習範囲のまとめと確認	Unit6-10で学修した範囲の確認 (概ね1時間)
教科書	「21st CENTURY READING LEVEL 1」 Robin Longshaw・Laurie Blass 2015 National Geographic Learning/Cengage Learning 「英単語の語源図鑑」 清水健司、すずきひろし かんき出版 並行しXreadingを使用し、多読を实践する	
参考文献	「続英単語の語源図鑑」 清水健司・すずきひろし 2019 かんき出版	
備考	内容の進捗によってシラバスの内容を変更することがあります。 状況により、遠隔授業になる場合があります。 授業内課題 (各回の訳等) はLMSに提出してください。コメントをつける形式でフィードバックします。	

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力	科目ナンバリング CE-1-EBA-07				
	●	●								
科目名	Grammar & Composition I				単位 認定者	金井 典子 (A)		評価 の方法	試験（筆記）	60 %
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	1 年	開講時期	前期	単位数	2 単位		授業内課題	40 %
						授業時間数	60 時間			
					授業形態	演習	授業回数		30 回	
授業の概要	本科目は、英語コミュニケーションの基盤となる英文法を理解し、様々なコミュニケーションの場面において正しく活用できるようになることを目的とする。既習事項の再確認の上に、暗記によらず、文法事項を論理的に理解し、その定着を図る。加えて、英作文は文法事項定着の一手段と捉え、日記等の課題を設定し、英文の産出の機会を十分に用意する。これにより、より発展的な英語使用者となるための強固な基礎力を育成する。									
到達目標	英文法を理解し、コミュニケーションに活用することができる。 伝えたいこと、説明したいことを平易な英文で表現できるようになる。									
学修者への期待等	授業には英和辞典を持参すること（スマートフォンの辞書、翻訳機能では学修には足りません。辞書は必携です。）指定された予習・復習を行い授業に臨むこと。英語力向上のためには、授業外の学修を確実に行うことが欠かせません。									
回	授業計画					準備学修				
1	授業の概要確認。テキストの指示。予習・復習の指示。 FACTBOOK: CORE(入学前課題)の内容から、基本事項のreview.									
2	Factbook: 序章 主語と述語、否定文と疑問文、不規則動詞 解説と演習									
3	Factbook: 文型 (1) (2) 5文型の解説と演習 自動詞と他動詞					(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分程度)				
4	Factbook: 文型 (1) (2) 5文型の復習 文型 (3) 文型Plus 解説と演習					(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分程度)				
5	Word to Sentence 1章、2章、3章					(復習) 授業で終了しなかった場合、指定箇所を完成させておく。(概ね30分程度)				
6	Word to Sentence 4章、5章、6章					(復習) 授業で終了しなかった場合、指定箇所を完成させておく。(概ね30分程度)				
7	Factbook: 時制 (1) (2) 解説と演習 修飾とふたつのルール					(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分程度)				
8	Factbook: 時制 (1) (2) 復習					(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分程度)				
9	Word to Sentence 7章、8章、9章					(復習) 授業で終了しなかった場合、指定箇所を完成させておく。(概ね30分程度)				
10	Factbook: 完了形 (1) (2) 解説と演習					(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分程度)				
11	Factbook: 完了形 (1) (2) 復習					(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分程度)				
12	中間まとめ: Factbook、Word to Sentenceの学修範囲を中間試験する。					(予習) 指定範囲について、十分に学修する。(概ね2時間程度)				
13	中間試験のreview.									

回	授業計画	準備学修
14	Factbook: 助動詞 (1) must / may / will 解説と演習	(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分程度)
15	Factbook: 助動詞 (2) (3) can / should / 控えめ表現 助動詞+完了形 解説と演習	(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分程度)
16	Factbook: 助動詞 (1) ～ (3) 復習	(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分程度)
17	Word to Sentence 10章、11章、12章	(復習) 授業で終了しなかった場合、指定箇所を完成させておく。(概ね30分程度)
18	Factbook: Option 名詞 (1) (2) (3) 解説と演習	(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分程度)
19	Factbook: Option 名詞 (1) ～ (2) 復習	(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分程度)
20	Word to Sentence 13章、14章、15章	(復習) 授業で終了しなかった場合、指定箇所を完成させておく。(概ね30分程度)
21	Factbook: 受動態 (1) 受動態の基本形 日本語との違い 解説と演習	(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分程度)
22	Factbook: 受動態 (2) 前置詞と受動態 / SV00 SV0C 解説と演習	(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分程度)
23	Factbook: 受動態 (1) (2) 復習	(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分程度)
24	Word to Sentence 16章、17章、18章	(復習) 授業で終了しなかった場合、指定箇所を完成させておく。(概ね30分程度)
25	Factbook: Option 形容詞 解説と演習	(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分程度)
26	Word to Sentence 19章、20章、21章	(復習) 授業で終了しなかった場合、指定箇所を完成させておく。(概ね30分程度)
27	Factbook: Option 副詞 解説と演習	(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分程度)
28	Word to Sentence 22章、23章、24章	(復習) 授業で終了しなかった場合、指定箇所を完成させておく。(概ね30分程度)
29	前期の学修成果確認 (TOEIC Bridge受験)	(予習) TOEIC Bridgeの問題形式を確認しておく。(概ね30分程度)
30	総復習: ここまで学修した範囲の復習を行う。	(予習) 2冊の教科書を復習し、疑問点を抽出しておく。(概ね2時間程度)
教科書	「総合英語FACTBOOK: Advanced New Edition」 桐原書店編集部編 桐原書店 「Word to Sentence Basic Verbs -基本動詞の定着から英作文へ」 桐原書店編集部編 桐原書店	
参考文献	「総合英語FACTBOOK これからの英文法」 大西隼人、ポールマクベイ 桐原書店 その他、授業時に適宜紹介する。	
備考	上記以外に、授業外課題として、Xreading (多読システムによる多読) を課す。 受講者の理解度等により順番や重点の置き方を変更する場合がある。状況により、遠隔授業に変更する場合がある。	

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-1-EBA-07				
	●	●								
科目名	Grammar & Composition I				単位認定者	金井 典子 (B)		評価の方法	試験 (筆記)	60 %
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	1 年	開講時期	前期	単位数	2 単位		授業内課題	40 %
						授業時間数	60 時間			
				授業形態	演習	授業回数	30 回			
授業の概要	本科目は、英語コミュニケーションの基盤となる英文法を理解し、様々なコミュニケーションの場面において正しく活用できるようになることを目的とする。既習事項の再確認の上に、暗記によらず、文法事項を論理的に理解し、その定着を図る。加えて、英作文は文法事項定着の一手段と捉え、日記等の課題を設定し、英文の産出の機会を十分に用意する。これにより、より発展的な英語使用者となるための強固な基礎力を育成する。									
到達目標	英文法を理解し、コミュニケーションに活用することができる。 伝えたいこと、説明したいことを平易な英文で表現できるようになる。									
学修者への期待等	授業には英和辞典を持参すること（スマートフォンの辞書、翻訳機能では学修には足りません。辞書は必携です。）指定された予習・復習を行い授業に臨むこと。英語力向上のためには、授業外の学修を確実に行うことが欠かせません。									
回	授業計画					準備学修				
1	授業の概要確認。テキストの指示。予習・復習の指示。 FACTBOOK: CORE (入学前課題) の内容から、基本事項のreview.									
2	Factbook: 序章 主語と述語、否定文と疑問文、不規則動詞 解説と演習									
3	Factbook: 文型 (1) (2) 5文型の解説と演習 自動詞と他動詞					(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分程度)				
4	Factbook: 文型 (1) (2) 5文型の復習 文型 (3) 文型Plus 解説と演習					(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分程度)				
5	Word to Sentence 1章、2章、3章					(復習)授業で終了しなかった場合、指定箇所を完成させておく。(概ね30分程度)				
6	Word to Sentence 4章、5章、6章					(復習)授業で終了しなかった場合、指定箇所を完成させておく。(概ね30分程度)				
7	Factbook: 時制 (1) (2) 解説と演習 修飾とふたつのルール					(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分程度)				
8	Factbook: 時制 (1) (2) 復習					(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分程度)				
9	Word to Sentence 7章、8章、9章					(復習)授業で終了しなかった場合、指定箇所を完成させておく。(概ね30分程度)				
10	Factbook: 完了形 (1) (2) 解説と演習					(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分程度)				
11	Factbook: 完了形 (1) (2) 復習					(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分程度)				
12	中間まとめ: Factbook、Word to Sentenceの学修範囲を中間試験する。					(予習)指定範囲について、十分に学修する。(概ね2時間程度)				
13	中間試験のreview.									

回	授業計画	準備学修
14	Factbook: 助動詞 (1) must / may / will 解説と演習	(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概 ね30分程度)
15	Factbook: 助動詞 (2) (3) can / should / 控えめ 表現 助動詞+完了形 解説と演習	(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概 ね30分程度)
16	Factbook: 助動詞 (1) ～ (3) 復習	(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概 ね30分程度)
17	Word to Sentence 10章、11章、12章	(復習) 授業で終了しなかった場合、指定箇所を完 成させておく。(概ね30分程度)
18	Factbook: Option 名詞 (1) (2) (3) 解説と演習	(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概 ね30分程度)
19	Factbook: Option 名詞 (1) ～ (2) 復習	(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概 ね30分程度)
20	Word to Sentence 13章、14章、15章	(復習) 授業で終了しなかった場合、指定箇所を完 成させておく。(概ね30分程度)
21	Factbook: 受動態 (1) 受動態の基本形 日本語との 違い 解説と演習	(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概 ね30分程度)
22	Factbook: 受動態 (2) 前置詞と受動態 / SV00 SVOC 解説と演習	(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概 ね30分程度)
23	Factbook: 受動態 (1) (2) 復習	(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概 ね30分程度)
24	Word to Sentence 16章、17章、18章	(復習) 授業で終了しなかった場合、指定箇所を完 成させておく。(概ね30分程度)
25	Factbook: Option 形容詞 解説と演習	(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概 ね30分程度)
26	Word to Sentence 19章、20章、21章	(復習) 授業で終了しなかった場合、指定箇所を完 成させておく。(概ね30分程度)
27	Factbook: Option 副詞 解説と演習	(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概 ね30分程度)
28	Word to Sentence 22章、23章、24章	(復習) 授業で終了しなかった場合、指定箇所を完 成させておく。(概ね30分程度)
29	前期の学修成果確認 (TOEIC Bridge受験)	(予習) TOEIC Bridgeの問題形式を確認しておく (概ね30分程度)。
30	総復習: ここまで学修した範囲の復習を行う。	(予習) 2冊の教科書を復習し、疑問点を抽出してお く (概ね2時間程度)。
教科書	「総合英語FACTBOOK:Advanced New Edition」 桐原書店編集部編 桐原書店 「Word to Sentence Basic Verbs -基本動詞の定着から英作文へ」 桐原書店編集部編 桐原書店	
参考文献	「総合英語FACTBOOK これからの英文法」 大西隼人、ポールマクベイ 桐原書店 その他、授業時に適宜紹介する。	
備考	上記以外に、授業外課題として、Xreading (多読システムによる多読) を課す。 受講者の理解度等により順番や重点の置き方を変更する場合がある。状況により、遠隔授業に変更する 場合がある。	

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-1-EBA-08				
	●	●								
科目名	Grammar & Composition II				単位 認定者	金井 典子		評価 の 方法	試験(筆記)	60 %
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	1 年	開講時期	後期	単位数	2 単位		授業内課題等	40 %
						授業時間数	60 時間			
				授業形態	演習	授業回数	30 回			
授業の概要	「Grammar & Composition I」で学修した内容を踏まえ、より高次の文法事項についての的確に理解し、それを応用した文章を産出できるようになることを目的とする。英語文章の展開の仕方、段落構造について理解を深めていく。特に、文章全体の内容の理解や論理の組み立てに最も重要となるディスコースマーカー（Therefore、However、In addition等）に重点を置いて学習する。各段落内部の構造（トピックセンテンス、例証、結論）の構造も理解し、段落単位で英作文を作成できるようになることを目指す。									
到達目標	英文法を理解し、コミュニケーションに活用することができる。 伝えたいこと、説明したいことを平易な英文で表現し、段落単位にまとめることができる。									
学修者への期待等	授業には英和辞典を持参すること（スマートフォンの辞書、翻訳機能では学修には足りません。辞書は必携です。）指定された予習・復習を行い授業に臨むこと。英語力向上のためには、授業外の学修を確実にを行うことが欠かせません。									
回	授業計画					準備学修				
1	授業の概要確認。テキストの指示。予習・復習の指示。前期内容のReview.									
2	Factbook：不定詞（1）3つの用法 解説と演習					(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。（概ね30分程度）				
3	Factbook：不定詞（2）（3）否定形、不定詞の重要表現 独立不定詞 解説と演習					(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。（概ね30分程度）				
4	Factbook：不定詞（1）～（3）復習					(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。（概ね30分程度）				
5	Writing 演習① 不定詞を用いた課題									
6	Factbook:不定詞Plus 解説と演習					(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。（概ね30分程度）				
7	Factbook：動名詞（1）主語・目的語・説明語句としての動名詞 不定詞と動名詞 解説と演習					(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。（概ね30分程度）				
8	Factbook：動名詞（2）動名詞の慣用表現 解説と演習					(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。（概ね30分程度）				
9	Factbook：動名詞（1）（2）復習									
10	Writing 演習② 動名詞を用いた課題									
11	中間まとめ：Factbookの学修範囲を中間試験する。					(予習)指定範囲について、十分に学修する。（概ね2時間程度）				
12	中間試験のreview. Factbook：分詞（1）名詞修飾 説明型 解説と演習					(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。（概ね30分程度）				
13	Factbook：分詞（1）（2）復習、分詞Plus					(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。（概ね30分程度）				

回	授業計画	準備学修
14	Writing 演習③ 分詞を用いた課題	
15	Factbook: 比較 (1) (2) 原級 比較級 解説と演習	(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概 ね30分程度)
16	Factbook: 比較 (3) 最上級 解説と演習 比較 (1) (2) 復習	(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概 ね30分程度)
17	Writing 演習③ 比較を用いた課題	
18	Factbook: 関係詞 (1) who / which / whose 主格について、解説と演習	(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概 ね30分程度)
19	Factbook: 関係詞 (1) who / which / whose 目的格について、解説と演習	(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概 ね30分程度)
20	Factbook: 関係詞 (1) who / which / whose 所有格について、解説と演習	(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概 ね30分程度)
21	Factbook: 関係詞 (2) (3) 関係副詞 非制限用 法 解説と演習	(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概 ね30分程度)
22	Factbook: 関係詞 (1) ~ (3) 復習	(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概 ね30分程度)
23	Writing 演習④ 関係詞を用いた課題	(復習) 授業で終了しなかった場合、指定箇所を完 成させておく。(概ね30分程度)
24	Factbook: 仮定法 (1) 仮定法過去 解説と演習	(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概 ね30分程度)
25	Factbook: 仮定法 (1) 仮定法過去完了 解説と演 習	(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概 ね30分程度)
26	Factbook: 仮定法 (2) ifを伴わない仮定法 仮定 法と倒置 重要表現 解説と演習	(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概 ね30分程度)
27	Factbook: 仮定法 (1) ~ (2) 復習	(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概 ね30分程度)
28	Writing 演習⑤: 検定試験のWriting	(復習) 授業で終了しなかった場合、課題を完成さ せる。(概ね30分程度)
29	学修成果の確認 (TOEIC IP受験)	(予習) TOEICの問題形式を確認し、必要な準備を 行う。(概ね1時間程度)
30	総復習: ここまで学修した範囲の復習を行う。	(予習) 2冊の教科書を復習し、疑問点を抽出してお く(概ね2時間程度)
教科書	「総合英語FACTBOOK: Advanced」 桐原書店編集部編 桐原書店	
参考文献	「総合英語FACTBOOK これからの英文法」 大西隼人、ポールマクベイ 桐原書店 その他、授業時に適宜紹介する。	
備考	上記以外の予習・復習については、授業時に説明する。状況により、遠隔授業に変更する場合がある。 受講者の理解度等により順番や重点の置き方を変更する場合がある。	

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-1-EBA-08				
	●	●								
科目名	Grammar & Composition II				単位認定者	相田 明子		評価の方法	試験(筆記)	60 %
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	1 年	開講時期	後期	単位数	2 単位		授業内課題等	20 %
				授業形態	演習	授業時間数	60 時間		受講態度	20 %
						授業回数	30 回			
授業の概要	「Grammar & Composition I」で学修した内容を踏まえ、より高次の文法事項についての的確に理解し、それを応用した文章を産出できるようになることを目的とする。英語文章の展開の仕方、段落構造について理解を深めていく。特に、文章全体の内容の理解や論理の組み立てに最も重要となるディスコースマーカー（Therefore、However、In addition等）に重点を置いて学習する。各段落内部の構造（トピックセンテンス、例証、結論）の構造も理解し、段落単位で英作文を作成できるようになることを目指す。									
到達目標	英文法を理解し、コミュニケーションに活用することができる。 伝えたいこと、説明したいことを平易な英文で表現し、段落単位にまとめることができる。									
学修者への期待等	授業には英和辞典を持参すること（スマートフォンの辞書、翻訳機能では学修には足りません。辞書は必携です。）指定された予習・復習を行い授業に臨むこと。英語力向上のためには、授業外の学修を確実に行うことが欠かせません。									
回	授業計画					準備学修				
1	授業の概要確認。テキストの指示。予習・復習の指示。 前期内容のReview.									
2	Factbook: 不定詞（1）名詞的用法・形容詞的用法・副詞的用法について 解説と演習					（復習）不定詞の3つの用法に関して、授業で学んだ事項をまとめる（概ね30分程度）				
3	Factbook: 不定詞（2）（3）否定形、不定詞の重要表現 独立不定詞 解説と演習					（復習）不定詞に関する課題を解く（概ね30分程度）				
4	Factbook: 不定詞（1）～（3）復習					（復習）不定詞に関する課題を解く（概ね30分程度）				
5	不定詞：理解を深める（プリント）					（復習）不定詞に関する課題を解く（概ね30分程度）				
6	小テスト① 不定詞 Writing（1）不定詞を意識したライティング					（予習）不定詞に関して、これまで学んできた事項をよく確認しておく（概ね30分程度）				
7	Factbook: 動名詞（1）主語・目的語・説明語句としての動名詞 不定詞と動名詞 解説と演習					（復習）動名詞に関して、授業で学んだ事項をまとめる（概ね30分程度）				
8	Factbook: 動名詞（2）動名詞の慣用表現 解説と演習					（復習）動名詞に関する課題を解く（概ね30分程度）				
9	Factbook: 動名詞（1）（2）復習					（復習）動名詞に関する課題を解く（概ね30分程度）				
10	小テスト② 動名詞 Writing（2）動名詞を意識したライティング					（予習）動名詞に関してこれまで学んだ事柄を確認しておく（概ね30分程度）				
11	Factbook: 分詞（1）名詞修飾 説明型 解説と演習					（予習）分詞に関して、これまで学んできた事項をよく確認しておく（概ね30分程度）				
12	Factbook: 分詞（2）動詞句の修飾 分詞構文 解説と演習					（復習）分詞構文に関して、整理してまとめる。課題を解く（概ね30分程度）				
13	分詞構文の理解を深める（プリント）					（復習）分詞構文に関する課題を解く（概ね30分程度）				

回	授業計画	準備学修
14	小テスト③分詞 Writing(3) 分詞構文をつかうライティング	(予習) 分詞に関してこれまで学んだ事柄を確認しておく(概ね30分程度)
15	Factbook: 比較(1)(2) 原級 比較級 解説と演習	(復習) 原級・比較級に関して、整理してまとめる。課題を解く(概ね30分程度)
16	Factbook: 比較(1)(2) 復習	(復習) 原級・比較級に関する課題を解く(概ね30分程度)
17	Factbook: 比較(3) 最上級 解説と演習 比較(1)(2) 復習	(復習) 最上級に関して、整理してまとめる。課題を解く(概ね30分程度)
18	比較: 理解を深める(プリント)	(復習) 比較に関する課題を解く(概ね30分程度)
19	小テスト④ 比較 Writing(4) 比較を意識したライティング	(予習) 比較に関してこれまで学んだ事柄を確認しておく(概ね30分程度)
20	Factbook: 関係詞(1) who / which / whose 解説と演習	(復習) 関係詞に関して、授業で学んだ事柄を整理してまとめる。課題を解く(概ね30分程度)
21	Factbook: 関係詞(2)(3) 関係副詞 非制限用法 解説と演習	(復習) 関係詞に関する課題を解く(概ね30分程度)
22	Factbook: 関係詞(1)～(3) 復習	(復習) 関係詞に関する課題を解く(概ね30分程度)
23	小テスト⑤関係詞	(予習) 関係詞に関してこれまで学んだ事柄を確認しておく(概ね30分程度)
24	Factbook: 仮定法(1) 仮定法過去 仮定法過去完了 解説と演習	(復習) 仮定法に関して、授業で学んだ事柄を整理してまとめる。課題を解く(概ね30分程度)
25	Factbook: 仮定法(2) ifを伴わない仮定法 仮定法と倒置 重要表現 解説と演習	(復習) 仮定法に関する課題を解く(概ね30分程度)
26	小テスト⑥仮定法 Writing(5) 仮定法を意識したライティング	(予習) 仮定法に関してこれまで学んだ事柄を確認しておく(概ね30分程度)
27	Factbook: 名詞・副詞・形容詞	
28	Factbook: 前置詞 at/in/on	(復習) 前置詞に関する課題を解く(概ね30分程度)
29	後期の学修成果確認 (TOEIC IP 受験)	(復習) TOEIC IPの問題形式について確認しておく(概ね30分程度)
30	総復習: ここまで学修した範囲の復習を行う。	
教科書	「総合英語FACTBOOK: Advanced」 桐原書店編集部編 桐原書店	
参考文献	「総合英語FACTBOOK これからの英文法」 大西隼人、ポールマクベイ 桐原書店 その他、授業時に適宜紹介する。	
備考	上記以外の予習・復習については、授業時に説明する。 受講者の理解度等により順番や重点の置き方を変更する場合がある。状況により遠隔授業になる場合がある。	

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力	科目ナンバリング CE-2-EAD-06					
	●	●									
科目名	Extensive Reading				単位 認定者	小松 義隆		評価 の方法	授業内課題等	70	%
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	選択	1 年	開講時期	後期	単位数	2 単位		受講態度	30	%
						授業時間数	30 時間				
					授業形態	演習	授業回数		15 回		
授業の概要	学生個人の英語レベルに応じて、各自が辞書を引かずに読める程度の易しい英語で書かれた本から読み始め、できるだけ多く読むことで、英文に慣れ、読む速度を上げ、多様な表現に触れ、語彙を広げることを目的とする。読み終えた本の語数を記録し、継続して多読の記録をつける。これに加え、多くの英語の本を読めた達成感を味わうことで、自分の英語力に関する自信を高め、英語でのコミュニケーションを積極的に図れるようになることにつなげる。										
到達目標	多くの英語の本を読むことを通し英文読解に慣れ、止まることなく正確に読めるようになる。読解の過程を通し、主に読み物に現れる様々な表現や文体に慣れ、語彙を広げられるようになる。多読を行った結果として自分の英語読解力、語彙力への自信を高め、積極的に英語でコミュニケーションが図れるようになる。										
学修者への期待等	本科目は授業内はもちろんですが、授業外での個々の多読に取り組む姿勢が特に重要です。英文を読む際に抵抗がなくなるようにするために、日ごろから様々なジャンルの英語の文章を読み、意味を考える習慣をつけてください。また、新たに覚えた単語や表現等はできるだけ多読記録用ノートに記録を取るようしてください。学科で使用するXreadingによる多読は可能な限り取り組んでください。辞書は必携です。毎回の授業で読んだ内容に関してはReading Reportを提出してもらいます（形成的評価）。										
回	授業計画					準備学修					
1	授業ガイダンスと「Extensive Reading」への導入					自分のレベルにあった多読用の本があれば選んでおくこと。見つからなければ当日図書館に選びに行っても良い。（概ね1時間）多読記録用ノートを準備する。					
2	Extensive Reading（多読の試みと解説）					選択した本を読む。獲得した英語表現を記録する。読み終えた場合は単語数の記録をつける。Xreadingによる多読。（概ね1時間）					
3	Extensive Reading（多読の実践と記録） Xreading実践（part 1）、多読教材：1冊目 多読記録用ノート、Xreading語数確認					選択した本を読む。獲得した英語表現を記録する。読み終えた場合は単語数の記録をつける。Xreadingによる多読。（概ね1時間）					
4	Extensive Reading（多読の実践と記録） Xreading実践（part 2）、多読教材：2冊目 多読記録用ノート、Xreading語数確認					選択した本を読む。獲得した英語表現を記録する。読み終えた場合は単語数の記録をつける。これまで学修した内容を確認しておく。Xreadingによる多読。（概ね1時間）					
5	Extensive Readingの振り返り（多読の実践と記録、振り返り） Xreading実践（part 3）、多読教材：3冊目 多読記録用ノート、Xreading語数確認、全体での語彙の共有・確認					選択した本を読む。獲得した英語表現を記録する。読み終えた場合は単語数の記録をつける。これまで読み終えた本の冊数を記録し、内容と新しく覚えた表現の確認をする。Xreadingによる多読。（概ね1.5時間）					
6	Extensive Reading（英字新聞などの紹介、多読の実践と記録） Xreading実践（part 4）、多読教材：4冊目 多読記録用ノート、Xreading語数確認					選択した本を読む。獲得した英語表現を記録する。読み終えた場合は単語数の記録をつける。Xreadingによる多読。（概ね1時間）					
7	Extensive Reading（多読の実践と記録） Xreading実践（part 5）、多読教材：5冊目 多読記録用ノート、Xreading語数確認					選択した本または英字新聞等の多読教材を読む。獲得した英語表現を記録する。読み終えた場合は単語数の記録をつける。Xreadingによる多読。（概ね1時間）					
8	Extensive Reading（多読の実践と記録） Xreading実践（part 6）、多読教材：6冊目 多読記録用ノート、Xreading語数確認					選択した本または英字新聞等の多読教材を読む。獲得した英語表現を記録する。読み終えた場合は単語数の記録をつける。これまで学修した内容を確認しておく。Xreadingによる多読。（概ね1時間）					
9	Extensive Reading（多読の実践と記録） Xreading実践（part 7）、多読教材：7冊目 多読記録用ノート、Xreading語数確認					選択した本または英字新聞等の多読教材を読む。獲得した英語表現を記録する。読み終えた場合は単語数の記録をつける。Xreadingによる多読。（概ね1時間）					

回	授業計画	準備学修
10	Extensive Readingの振り返り（多読の実践と記録、振り返り） Xreading実践（part 8）、多読教材：8冊目 多読記録用ノート、Xreading語数確認、全体での語彙の共有・確認	選択した本または英字新聞等の多読教材を読む。獲得した英語表現を記録する。読み終えた場合は単語数の記録をつける。Xreadingによる多読。（概ね1.5時間）
11	Extensive Reading（ネット上で利用できる英字新聞サイトの紹介、多読の実践と記録） Xreading実践（part 9）、多読教材：9冊目 多読記録用ノート、Xreading語数確認	選択した本、英字新聞等の多読教材等を読む。獲得した英語表現を記録する。読み終えた場合は単語数の記録をつける。Xreadingによる多読。（概ね1時間）
12	Extensive Reading（多読の実践と記録） Xreading実践（part 10）、多読教材：10冊目 多読記録用ノート、Xreading語数確認	選択した本、英字新聞等の多読教材、ネット上で利用できる英字新聞サイトの記事を読む。獲得した英語表現を記録する。読み終えた場合は単語数の記録をつける。Xreadingによる多読。（概ね1時間）
13	Extensive Reading（多読の実践と記録） Xreading実践（part 11）、多読教材：11冊目 多読記録用ノート、Xreading語数確認	選択した本、英字新聞等の多読教材、ネット上で利用できる英字新聞サイトの記事を読む。獲得した英語表現を記録する。読み終えた場合は単語数の記録をつける。これまで学修した内容を確認しておく。Xreadingによる多読。（概ね1時間）
14	Extensive Reading（多読の実践と記録） Xreading実践（part 12）、多読教材：12冊目 多読記録用ノート、Xreading語数確認	選択した本、英字新聞等の多読教材、ネット上で利用できる英字新聞サイトを読む。獲得した英語表現を記録する。読み終えた場合は単語数の記録をつける。Xreadingによる多読。（概ね1時間）
15	Extensive Readingの総括（これまでの読書記録と多読を通して獲得した知識の確認）	提出レポートの準備。これまでの読書記録を振り返り、読んだ本や記事の内容、及び自分の英語力の伸び（使えるようになった表現など）を確認する。Xreadingによる多読。（概ね1.5時間）
教科書	Xreadingを使用した多読、学生各自で自分の英語レベルにあった読み物を準備する。図書館の多読教材（Oxford Bookworm Library Level 1、2程度等）を利用しても可。また授業内で必要に応じてプリントを配布する。	
参考文献	授業内で適宜紹介する。	
備考	内容の進捗によってシラバスの内容を変更することがあります。 状況により、遠隔授業になる場合があります。 授業内課題（各回の訳等）はLMSに提出してください。コメントをつける形式でフィードバックします。	
※以下は該当者のみ記載する。		
実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)		

学修成果						科目ナンバリング												
1 基礎力						2 実践力		3 人間関係力		4 生涯学習力		5 地域理解力		CE-2-EAD-09				
●						●												
科目名		Chorus English						単位 認定者		キンズマン ダレン		評価 の方法	授業内で行うク イズ (2回)		40 %			
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科		選択		1 年		開講時期	前期		単位数			2 単位		プロジェクト		30 %	
										授業時間数			30 時間		授業内課題等		15 %	
							授業形態		演習		授業回数		15 回		受講態度		15 %	
授業の概要		コーラスイングリッシュは、ポピュラーソングを使用して、英語のスキル、特にリスニングとスピーキングの流暢さを向上させ、楽しくてやる気を起こさせる環境を作ります。さらに、学生は選択された曲が作成された文化のおよび社会的背景について学びます。1920年代から現在までのポピュラーソングは、時間の経過に伴い変化し、いくつかの曲は時代を超えても尚、人気があります。コースの中心となるのは、合唱で歌うことです。																
到達目標		英語の歌を注意深く聞いて歌うことで、発音とイントネーション、リズムが向上します。英語で歌うことはグループ活動であるため、プレッシャーなしに英語で表現することができます。 グループ活動はまた、社会的結束と喜びを高めることができます。																
学修者への期待等		歌唱力は重要ではありませんが、歌唱に参加する意欲は必要です。																
回		授業計画						準備学修										
1		ユニット 1 The 1920s Warm-up, listening, class activities, practice, sing						歌を聴く予習 (概ね20分)										
2		ユニット 2 The 1930s Warm-up, listening, class activities, practice, sing																
3		ユニット 3 The 1940s Warm-up, listening, class activities, practice, sing						歌を聴く予習 (概ね20分)										
4		ユニット 4 The 1950s Warm-up, listening, activities, practice, sing																
5		ユニット 5 The 1960s Part 1 Warm-up, listening, class activities, practice, sing						歌を聴く予習 (概ね20分)										
6		Review and quiz.																
7		ユニット 6 The 1960s Part 2 Warm-up, listening, class activities, practice, sing						歌を聴く予習 (概ね20分)										
8		ユニット 7 The 1970s Part 1 Warm-up, listening, activities, practice, sing Practice and Perform																
9		ユニット 8 The 1970s Part 2 Warm-up, listening, activities, practice, sing						歌を聴く予習 (概ね20分)										
10		ユニット9 The 1980s Warm-up, listening, activities, practice, sing						歌を聴く予習 (概ね20分)										
11		ユニット10 The 1990s Warm-up, listening, activities, practice, sing																
12		ユニット11 The 2000s Warm-up, listening, activities, practice, sing						好きな英語の歌を聴く予習 (概ね20分)										
13		ユニット12 The 2010s Warm-up, listening, activities, practice, sing																
14		Review and quiz プロジェクト準備						歌を聴く予習 (概ね20分)										
15		プロジェクト						発表の準備予習 (概ね1 時間)										
教科書		「True Stories Behind the Songs: A Beginning Reader」 Sandra Heyer Pearson Longman, 2010																
参考文献		特になし。																
備考		内容の進捗によってシラバスの内容を変更することがあります。																

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力	科目ナンバリング CE-2-EAD-12				
	●	●	●	●	●					
科目名	海外研修				単位 認定者	未定		評価 の方法		%
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	選択	1 年	開講時期	通年	単位数	2 単位			%
					授業形態	実習	授業時間数		90 時間	
									授業回数	集中
授業の概要	英語圏での研修を通して、世界における英語の重要性を実感し、今後の英語学修のモチベーションとする。英語力の強化はもとより、異文化に直接触れ、異文化社会の中で生活することを通して、コミュニケーション能力を高め、また、課題を発見し、解決する力を身につけることを目的とする。 具体的には、現地の大学での語学研修に加え、現地の住民や他国の留学生などとの交流活動を行う。									
学修者への期待等	①海外研修の履修方法は通常の科目とは違うので注意すること。 ②渡航の準備は各自で責任を持って進めること。 ③事前学修・事後学修も研修の要件となることを理解し、欠席をしないこと。 ④短い研修期間を有意義に過ごすため、日本での準備をしっかりと行うこと。 ⑤現地での学修・生活の記録をつけ、実りある研修生活を送ることを期待する。									
授業計画										
1. 研修先・研修期間 開催が決まり次第、別途、募集案内を配布する。 2. 授業計画 現地校での英語学修と観光事情についての学修を学びの中心とする。 (1) 事前学修 (学内) 第1回 海外研修の目的 第2回 海外研修のための具体的な準備 第3回 海外研修の自己目標設定とグループ内発表 (2) 海外研修 (20日間 現地にて) 現地校での英語クラスに出席し、学修する。 ホストファミリーと交流し、異文化理解やコミュニケーション力の向上に努める。 現地での見学先や交流先での体験は、提示された課題にまとめる。 (3) 事後学修 (学内) 第4回 自己目標に対する研修の振り返り 報告書作成について 第5回 海外研修報告会 3. 目標 ①英語圏での生活と学修により、自身の英語コミュニケーション力を体験的に理解し、今後の学修に活かす。 ②英語圏の人々との交流により、異文化コミュニケーションの楽しさを知る。 【注意事項】 ① 学内実施の「事前学修」、「事後学修」の日程は、LMS等で連絡する。 ② 現地での研修期間中に個人的な事由により現地授業や視察に出席できなかった場合、原則として単位認定を行わない。 ③ 渡航前に現地研修が何らかの事情により中止に至った場合、事前学修が行われていても、単位認定を行わない。										
教科書	資料は授業で配布する。									
参考文献										
備考	新型コロナウイルスの感染状況により、開講しないことがあります。									
※以下は該当者のみ記載する。										
実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)										

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力	科目ナンバリング CE-2-EAD-13				
	●	●	●	●	●					
科目名	オンライン語学研修				単位 認定者	相田 明子		評価の方法	授業内課題等（レポート、発表）	70 %
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	選択	1 年	開講時期	通年	単位数	1 単位		受講態度	30 %
						授業時間数	35 時間			
				授業形態	実習	授業回数	集中			
授業の概要	本科目は、英語圏の語学学校の現地プログラムをオンライン上で学び、集中的に英語力の向上に取り組むことを主たる目的とする。また、世界における英語の重要性を実感し、今後の英語学修のモチベーションとする。現地講師とのコミュニケーションのみならず、他国の学生と共に受講することで、異文化理解を図ることも可能となる。プログラムには講義、グループ学習、ペア学修などを取り入れる。									
到達目標	①諸外国からの学生で構成されるオンライン・クラスルームの一員として、積極的に授業に参加することができる。 ②講師からの問いかけに対し、臆することなく自分の考えや意見を表現できるようになる。 ③授業やグローバル講座において異文化コミュニケーションを楽しみ、様々な価値観を理解することができる。									
学修者への期待等	①履修方法は通常の科目とは違うので注意すること。 ②受講の準備は各自で責任を持って進めること。 ③事前学修・事後学修も研修の要件となることを理解し、欠席をしないこと。 ④個人の自宅からのオンライン学修となるため、責任をもち履修すること。 ⑤積極的に受講する姿勢を期待する。									
授業計画										
1. 研修先・研修期間 カナダVGCインターナショナルカレッジでのオンライン語学講座とグローバル講座 夏休みの約2週間。日本時間の午前7時～開講。 詳細は、4月ガイダンス時に説明する。										
2. 授業計画 現地校とのオンラインによる英語学修とオンライングローバル講座を学びの中心とする。										
(1) 事前学修（学内） 第1回 オンライン語学研修のための学修環境の確認 第2回 オンライン語学研修の目標設定 第3回 グローバル講座（文化交流）のための準備										
(2) 研修期間（14日間 オンラインにて） 英語クラスに出席し、学修する。 （VGCインターナショナルカレッジでの講義を3回を超えて欠席した場合、単位認定を行わない。） 積極的に講義に参加し、コミュニケーション力の向上や異文化理解に努める。 グローバル講座での体験は、指示に従い、記録する。										
(3) 事後学修（学内） 第4回 研修の振り返り 報告書作成について 第5回 研修報告会										
3. 目標 ①自身の英語コミュニケーション力を体験的に理解し、今後の学修に活かす。 ②他国の人々との交流により、異文化コミュニケーションの楽しさを知る。										
【注意事項】 ① 学内実施の「事前学修」、「事後学修」の日程は、別途、連絡する。 ② 何らかの事情により、オンライン講座が中止に至った場合、事前学修が行われていても、単位認定を行わない。 ③ 自宅において、Wi-fiの通信環境を整えておく。										
教科書	資料は授業で配布する。									
参考文献										
備考										

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力	科目ナンバリング CE-3-RCO-01				
			●		●					
科目名	ビジネスプロトコール				単位 認定者	加藤 雅子		評価 の方法	試験(筆記)	70 %
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	1 年	開講時期	前期	単位数	2 単位		受講態度	30 %
						授業時間数	30 時間			
					授業形態	演習	授業回数		15 回	
授業の概要	ビジネスシーンをはじめとする国際的な交流の場面では、歴史、文化、言語などの違いから、誤解が生ずることもある。無用の誤解を避け、相互理解を促し、円滑な国際交流を行うための共通認識であるプロトコールについて、基礎的な知識や技能を身につける。 また、プロトコールは絶対的な規則ではなく、時代、地域や国、会合の趣旨等によって柔軟に運用されるものであることも理解する。									
到達目標	マナーの意味・重要性を修得する。国際プロトコールの原則を理解し説明できる。 日本のビジネスにおける慣習と冠婚葬祭のしきたりについて理解し説明できる。									
学修者への 期待等	全ての項目が普段の生活・社会生活で活かせるものです。積極的に受講し吸収すること。 また、本講義の性質上、不適切な受講態度には厳しく対処するので、己を律して受講すること。									
回	授業計画					準備学修				
1	マナーとは何か（マナー・エチケット・礼儀・作法・プロトコール）、マナーの歴史と意味					テキスト序章「マナーとは何か」と第1章「マナーの歴史と意味」を読んでおく。（概ね30分程度）				
2	国際人としてのプロトコール（1）（プロトコールの原則・席次例・社交の場でのコミュニケーション・挨拶と紹介）					テキスト第2章1節「プロトコールの原則」～4節「挨拶と紹介」を読んでおく。1分半程度の自己紹介の練習をしておく。（概ね30分程度）				
3	国際人としてのプロトコール（2）（外国人への贈り物、国旗の扱い、礼拝の場でのマナー、異文化コミュニケーション）					テキスト第2章5節「外国人への贈り物」～8節「異文化コミュニケーション」を読んでおく。（概ね30分程度）				
4	社会人に必要なマナー（1）（好印象を与えるコミュニケーション）					テキスト第3章1節「好印象を与えるコミュニケーションとは」を読んでおく。（概ね30分程度）				
5	社会人に必要なマナー（2）（服装、贈答、手紙）					テキスト第3章2節「服装のマナー」～4節「手紙のマナー」を読んでおく。敬語と言葉遣いを復習しておく。（概ね30分程度）				
6	食事のマナー					テキスト第5章「食事のマナー」を読んでおく。（概ね30分程度）				
7	お酒のマナー					テキスト第6章「お酒のマナー」を読んでおく。（概ね30分程度）				
8	社会人としての心構え（会社の仕組み、指示・命令の受け方、報告・連絡・相談）					テキスト第4章2節「社会人としての心構え」を読んでおく。（概ね30分程度）				
9	電話応対ロールプレイング					復習として電話応対の実技を行う。（概ね30分程度）				
10	来客応対ロールプレイング					復習として来客応対の実技を行う。（概ね30分程度）				
11	ビジネス文書の種類と書式					テキスト第4章7節「ビジネス文書」を読んでおく。（概ね30分程度）				
12	社外文書と社内文書の作成					復習としてビジネス文書を作成する。（概ね30分程度）				
13	「冠」と「婚」のしきたり					テキスト第7・8章で「冠」「婚」のしきたりを予習しておく。（概ね30分程度）				
14	「葬」と「祭」のしきたり					テキスト第9・10章で「葬」「祭」のしきたりについて予習しておく。（概ね30分程度）				
15	全体の復習及び重点項目の確認					これまでの講義全体を振り返り、内容を明確にしておく。（概ね30分程度）				
教科書	「マナー&プロトコールの基礎知識（第3版）」NP0法人日本マナー・プロトコール協会									
参考文献	「最新版「さすが！」といわせる大人のマナー講座」日本マナー・プロトコール協会著 PHP研究所									
備考	本科目の内容は「マナー・プロトコール検定2級・3級」に繋がる。									
※以下は該当者のみ記載する。										
実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)										
実務経験の概要：元大手航空会社国際線CA、CA教官。2016年G 7 語学ボランティアマナー研修担当。東京2020大会向け「チーム宮城おもてなし」パネラー等。 実務経験と授業科目との関連性：実務経験を活かした講義内容を実施。実践・ケーススタディー等を通して、国際プロトコール及びビジネスマナーを身につけることを目指す。										

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力	科目ナンバリング CE-3-RCO-06					
			●	●							
科目名	秘書実務				単位 認定者	細川 久美子		評価の 方法	試験(筆記)	70	%
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	選択	1 年	開講時期	後期	単位数	2 単位		授業内課題等	20	%
						授業時間数	30 時間		受講態度	10	%
					授業形態	講義	授業回数		15 回		
授業の概要	秘書に求められる知識・技能について理解し業務遂行能力を養い、気配り、機転などの秘書的センスを実践的に学ぶことにより実務能力が身につく。 本科目は、秘書の業務に限らず幅広い職種での対応力に生かすことが 期待できる。										
到達目標	秘書の役割や業務を学ぶことにより、次の事柄について修得することを目標とする。 ①組織人として求められる資質と基本的な仕事の処理の仕方を理解する。 ②人間関係をわきまえた立ち居振る舞いを理解し、相手の立場に立った言動や感じの良い印象を与える所作を実践できるようにする。										
学修者への期待等	受講に際し、講義の妨げになる遅刻、忘れ物、言動などには十分注意して臨んでください。										
回	授業計画					準備学修					
1	授業の進め方・評価について 秘書の定義と必要とされる人柄と資質					【事後】授業の進め方を聞き、明確な目標設定と目標達成するための計画を立てる（60分程度）。					
2	秘書の職務について					【事前】秘書の人柄が補佐役としてどのように影響すると思うか自身の考えをまとめて臨む（60分程度）。					
3	秘書として必要な一般知識について （企業と経営組織、人事・労務管理）					【事後】新聞やWEBなどから、企業と経営組織、人事・労務管理に関する記事や情報をまとめる（60分程度）。					
4	秘書として必要な一般知識について （マーケティング、会計・財務）					【事後】新聞やWEBなどから、マーケティング、会計・財務に関する記事や情報をまとめる（60分程度）。					
5	秘書として必要な一般知識について （金融と経営法務）					【事後】新聞やWEBなどから、金融や法務に関する記事や情報をまとめる（60分程度）。					
6	マナーと接遇について （人間関係と言葉遣い）					【事前】人間関係と言葉遣いについて大切なことを確認をして臨む（60分程度）。					
7	マナーと接遇について （受付・取次、来客対応）					【事後】受付・取次、来客対応についての課題に取り組む（60分程度）。					
8	マナーと接遇について （電話応対）					【事後】電話応対についての課題に取り組む（60分程度）。					
9	マナーと接遇について （慶弔業務、贈答）					【事後】慶弔業務、贈答についての課題に取り組む（60分程度）。					
10	身につけておくべき技能について （会議、ビジネス文書）					【事後】会議、ビジネス文書についての課題に取り組む（60分程度）。					
11	身につけておくべき技能について （社内文書と社外文書）					【事後】社内・社外文書作成課題に取り組む（60分程度）。					
12	身につけておくべき技能について （郵便・秘文書の取り扱い）					【事前】身の回りの郵便物にはどのようなものがあるか情報収集しまとめる（60分程度）。					
13	身につけておくべき技能について （ファイリング、名刺や資料の整理）					【事後】ファイリング、名刺や資料整理についての課題に取り組む（60分程度）。					
14	身につけておくべき技能について （オフィス環境の整備）					【事後】オフィスの環境整備、総合問題演習の課題に取り組む（60分程度）。					
15	学修のまとめ 実務へ向けて					【事後】まとめの課題を提出（60分程度）。					
教科書	「秘書検定合格教本2・3級」新星出版社										
参考文献	「秘書検定実問題集 3級」実務技能検定協会編 早稲田教育出版 「秘書検定実問題集 2級」実務技能検定協会編 早稲田教育出版 「秘書検定実問題集 準1級」実務技能検定協会編 早稲田教育出版										
備考	1. 受講者の理解度等により、講義の順番や重点の置き方を変えることがある。 2. 本科目は秘書検定につながる。										

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

総務部門における実務経験があり、現在、人事・教育サービス会社の取締役である。

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力	科目ナンバリング CE-3-RCO-05						
			●		●							
科目名	エアラインサービス				単位認定者	未定		評価の方法	試験(レポート)	40	%	
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	選択	1 年	開講時期	通年	単位数	2 単位		授業内課題	40	%	
						授業時間数	30 時間		受講態度	20	%	
					授業形態	講義	授業回数		15 回			
授業の概要	本科目では、接客やサービス業界で求められるおもてなしの基本を学び、言葉遣いや立ち居振る舞いなど、社会人としてふさわしい行動を理解し、実践できるようになることを目標とする。 グランドスタッフ、キャビンアテンダントの業務など、エアライン業界に必要な知識やスキルを身につける。企業が求めるサービスマインドやコミュニケーション力を涵養する。											
到達目標	◇社会人にふさわしい行動を理解し、自ら考え行動することができる。 (言葉遣い/立ち居振る舞い/電話応対など) ◇社会人としての基本的な規律を順守できる。 ◇「接客」の大切さを考え、日常生活でも接客を発揮することができる。 ◇自己理解を深め、自信を持って自己PRをすることができる。 ◇客室乗務員、グランドスタッフの仕事を理解し、職種研究を深めることができる。											
学修者への期待等	◇積極的な授業への参加 ◇学修内容を各自で咀嚼して、自己理解を深める。 ◇不明点について曖昧にせず、質問を通じて明確にする。											
回	授業計画					準備学修						
1	未定（開講が決まり次第、別途通知します）											
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
教科書	未定											
参考文献												
備考	新型コロナウイルスの感染状況により、開講しないことがあります。											

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング CE-3-RCO-07					
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力						
				●	●						
科目名	フランス語 I				単位 認定者	野中 みどり		評価の 方法	小テスト	30	%
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	選択	1 年	開講時期	後期	単位数	1 単位		提出物	30	%
					授業時間数	30 時間	授業内の作業		20	%	
				授業形態	演習	授業回数	15 回		確認小テスト	20	%
授業の概要	本科目は、フランス語でコミュニケーションをとるための方法を学び練習することを目的とする。音に慣れるため母音に留意した発音を指導し、教科書に沿って自己表現の方法及び文法を学ぶ。グループワークによる練習を行い、内容の理解を図る。トレーニングとして、発音練習、動詞の活用、単語の小テスト、数字や表現の聞き取りチェックを実施する。さらに教科書とは別に、挨拶を始めとする日常表現を紹介し、表現とともに考え方や文化の違いにも着目する。										
到達目標	①フランス語の発音と文法のルールを理解し実際に使うことができる。 ②モデル会話にならって自己表現の方法を身につけ、それらを活用して簡単な会話なら自発的に行うことができる。 ③家族や友人のこと、さらに自分の希望や理由などを表現し、同様の相手の話を理解できる。 ④簡単な挨拶や日常表現を覚えて使えるようになるとともにフランスの文化や社会について知識を得る。										
学修者への期待等	授業で指示された単語リストや表現を覚えて小テストに臨み、それらの単語や動詞を次の会話で使えるように練習してください。授業内では積極的に発音・会話練習に参加し、授業後はモデル会話を復習して学んだ表現を毎回ノートにまとめてください。										
回	授業計画					準備学修					
1	0 課(1) 学習：フランス語の特徴を学ぶ、p.6アルファベと綴り字記号。グループワーク(以下g)：p.6アルファベを読む、名前を言う。トレーニング(以下t)：発音練習。					今までに触れたことのあるフランス語を思い出しておく。授業後に指示されたクイズを解いておく。					
2	0 課(2) 学習：p.6発音ルール、p.7綴り字記号。g：発音規則に従って読む練習。t：発音と聞き取り。					学習した箇所をすべて発音して復習する、アルファベの表を完成させ挨拶と名前を言えるように練習しておく(概ね1時間)。					
3	1 課(1) 学習：モデル会話「自己紹介」、主語と動詞、名詞の性と数、数字0-10。g：会話練習、国籍の語彙。t：発音と聞き取り。					出てきた単語をすべて発音してルールを復習する、指示された宿題を解く、動詞の活用を練習する(概ね1時間)。					
4	1 課(2) 学習：モデル会話「自己紹介」、動詞の意味と活用。g：会話練習、名前を言う練習。t：活用、発音、聞き取り。					1 課を復習して練習問題を解く。数字1-10を発音練習する。小テストに向けて動詞の活用を覚える(概ね2時間)。					
5	2 課(1) 学習：モデル会話「住んでいる所・話す言語」、er動詞、否定文。g：会話練習、言語の語彙。t：活用、発音、聞き取り。					練習問題を解く、動詞を発音練習する。小テストに向けてer動詞の活用を覚える(概ね1時間)。					
6	2 課(2) 学習：モデル会話「住んでいる所・話す言語」、定冠詞。g：会話練習、学科の語彙。t：発音、聞き取り。					2 課を復習して練習問題を解く。小テストに向けて様々なer動詞の意味を覚える、数字1-10を練習する(概ね2時間)。					
7	3 課(1) 学習：モデル会話「家族・年齢・好み」、不定冠詞、数字11-20。g：会話練習、家族の語彙。t：活用、発音、聞き取り。					練習問題を解く。動詞を発音練習する。小テストに向けてavoirの活用を覚える(概ね1時間)。					
8	3 課(2) 学習：モデル会話「家族・年齢・好み」、否定のde、好みを表す動詞。g：会話練習、趣味の語彙。t：活用、発音、聞き取り。					3 課を復習して練習問題を解く。小テストに向けて単語の意味を覚える(概ね2時間)。					
9	4 課(1) 学習：モデル会話「食べる・飲む」、動詞の活用、部分冠詞。g：会話練習、飲食物の語彙。t：発音、聞き取り。					練習問題を解く、小テストに向けてよく使う不規則動詞の活用を覚える(概ね1時間)。					
10	4 課(2) 学習：モデル会話「食べる・飲む」、提示の表現、疑問詞。g：会話練習、食事の語彙。t：活用、発音、聞き取り。					4 課を復習して練習問題を解く。小テストに向けて数字1-20を練習する(概ね2時間)。					
11	5 課(1) 学習：モデル会話「人や物を描写する」、形容詞、数字30-100。g：会話練習、性格の語彙。t：発音、聞き取り。					練習問題を解く、小テストに向けて形容詞の意味を覚える(概ね1時間)。					

回	授業計画	準備学修
12	5 課(2) 学習：モデル会話「人や物を描写する」、所有形容詞、指示代名詞。g：会話練習、描写の語彙。t：発音、聞き取り。	5 課を復習して練習問題を解く。小テストに向けて家族の名詞や形容詞の意味を覚える（概ね2 時間）。
13	6 課(1) 学習：モデル会話「行く・来る」、動詞の活用と使い方。g：会話練習、国名の語彙。t：活用、発音、聞き取り。	練習問題を解く、小テストに向けてallerとvenirの活用を覚える（概ね1 時間）。
14	6 課(2) 学習：モデル会話「行く・来る」、定冠詞の縮約、疑問文。g：会話練習、行き先の語彙。t：発音、聞き取り。	練習問題を解く、小テストに向けて行き先の語彙を覚える（概ね1 時間）。
15	表現と数字の確認小テスト、6 課(3) 学習：モデル会話「行く・来る」、疑問文のかたちまとめ、強勢形。g：会話練習。t：表現の復習、発音、聞き取り。	6 課を復習して練習問題を解く。確認小テストに向けて表現の復習をする（概ね2 時間）。
教科書	「Salut、 tout facile ! やさしいサリュ（改訂版）」田辺保子 他著 駿河台出版社	
参考文献	仏和辞書（電子辞書も含む）。初回授業で簡単な案内を聞いた後、必要な場合は購入してください。 NHK Eテレ「旅するためのフランス語」 放送：木曜日23:30から23:55 再放送：翌週月曜日午前6:00から6:25 （番組名や放送時間については現時点のもので、今後変更になる可能性があります）。	
備考	【小テスト】実施後に解答解説し、採点結果を次の回で返却する。関わる達成目標は①、評価の基準は解答の正確性100%。 【提出物および授業内の作業】添削して次の回で返却する。関わる達成目標は②③、評価の基準は解答の適切さ50%、理解度50%。 【確認小テスト】実施後に解答解説する。関わる達成目標は④、評価の基準は解答の正確性100%。	

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力	科目ナンバリング CE-4-ESE-05				
			●	●						
科目名	キャリア形成演習Ⅰ				単位 認定者	川出 裕佳		評価の 方法	レポート(LMS)	60 %
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	1年	開講時期	前期	単位数	2 単位		授業内課題等	30 %
						授業時間数	30 時間		受講態度	10 %
					授業形態	演習	授業回数		15 回	
授業の概要	「社会の動きの意識的な観察を行いどのような分野に関わり、どのように自身を活かしていくかをシミュレーションする」「働く意味について考え、学生各自が自らの将来をイメージできるようにする」ことから、職業意識を涵養していく。また、グループワークを通して、自己と他者の価値観の違いに気づき、他者を尊重しつつ、自分の意見や主張を論理的に話す力を養う。さらには、自分自身がイメージした将来の姿に到達するために必要な計画を立てられるようにする。									
到達目標	①将来やりたいこと、できることを見極めることによって職業意識を高める。 ②社会人として働く意味や将来就きたい職業を具体的にイメージできるようになる。 ③ライフステージに沿ったキャリアプランを立てることができる。 ④語学力を生かしたグローバル人材として活躍するための大学生活をプランニングできる。									
学修者への期待等	充実した大学生活を送りながら将来社会人となることを意識して必要な力の養成を目指しているため、グループワークや実践家を招いたフリートークを通して自分の意見を積極的に発言することを期待します。									
回	授業計画					準備学修				
1	ガイダンス, 大学生活とキャリア					グループワークを通したブレインストーミングを行います。				
2	自分自身を知るⅠ 発達理論からのアプローチ					ニュースや新聞記事を参考に労働問題に関するトピックに目を通しておくこと。また、授業後には、振り返りを通して学んだ内容をまとめておくこと。(概ね1時間程度)				
3	自分自身を知るⅡ 社会学的アプローチ					ニュースや新聞記事を参考に労働問題に関するトピックに目を通しておくこと。また、授業後には、振り返りを通して学んだ内容をまとめておくこと。(概ね1時間程度)				
4	「働くこと」ー社会が求める人材像ー					ニュースや新聞記事を参考に労働問題に関するトピックに目を通しておくこと。また、授業後には、振り返りを通して学んだ内容をまとめておくこと。(概ね1時間程度)				
5	社会や企業の現状と課題					ニュースや新聞記事を参考に労働問題に関するトピックに目を通しておくこと。また、授業後には、振り返りを通して学んだ内容をまとめておくこと。(概ね1時間程度)				
6	国際比較からみた日本の労働現状					ニュースや新聞記事を参考に労働問題に関するトピックに目を通しておくこと。また、授業後には、振り返りを通して学んだ内容をまとめておくこと。(概ね1時間程度)				
7	若者と労働：フリータ、ニート、ブラック企業、パラサイトシングル、パラサイトダブル					ニュースや新聞記事を参考に労働問題に関するトピックに目を通しておくこと。また、授業後には、振り返りを通して学んだ内容をまとめておくこと。(概ね1時間程度)				
8	若者の貧困、格差					ニュースや新聞記事を参考に労働問題に関するトピックに目を通しておくこと。また、授業後には、振り返りを通して学んだ内容をまとめておくこと。(概ね1時間程度)				
9	ライフイベント：就学、就職、結婚、出産					ニュースや新聞記事を参考に労働問題に関するトピックに目を通しておくこと。また、授業後には、振り返りを通して学んだ内容をまとめておくこと。(概ね1時間程度)				
10	ワークライフバランスとジェンダー視点					ニュースや新聞記事を参考に労働問題に関するトピックに目を通しておくこと。また、授業後には、振り返りを通して学んだ内容をまとめておくこと。(概ね1時間程度)				
11	グローバル社会に求められる力とは					ニュースや新聞記事を参考に労働問題に関するトピックに目を通しておくこと。また、授業後には、振り返りを通して学んだ内容をまとめておくこと。(概ね1時間程度)				
12	労働者とセーフティネット					ニュースや新聞記事を参考に労働問題に関するトピックに目を通しておくこと。また、授業後には、振り返りを通して学んだ内容をまとめておくこと。(概ね1時間程度)				
13	キャリア形成と求められる基礎能力					ニュースや新聞記事を参考に労働問題に関するトピックに目を通しておくこと。また、授業後には、振り返りを通して学んだ内容をまとめておくこと。(概ね1時間程度)				
14	事例で考えるライフデザイン					ニュースや新聞記事を参考に労働問題に関するトピックに目を通しておくこと。また、授業後には、振り返りを通して学んだ内容をまとめておくこと。(概ね1時間程度)				
15	キャリアプランの発表					ニュースや新聞記事を参考に労働問題に関するトピックに目を通しておくこと。また、授業後には、振り返りを通して学んだ内容をまとめておくこと。(概ね1時間程度)				
教科書	特に用いない。講義では、レジュメや資料を配布し、重要な文献についてはその都度紹介する。講義で随時配る資料はファイルしておくこと。									
参考文献	必要に応じて適宜紹介する。									
備考	本講では参加型授業を目指しているため、積極的に授業に参加し、発言することが望ましい。受講者の理解を促すために、講義の内容および計画を変更する場合がある。変更になった場合は事前に連絡する。									
※以下は該当者のみ記載する。										
実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)										
現在キャリア関係会社にて勤務。公共機関で勤務等10年以上の実務経験を持つ。										

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力	科目ナンバリング CE-4-ESE-06				
			●	●						
科目名	キャリア形成演習Ⅱ				単位 認定者	加藤 雅子		評価 の方法	授業内課題	50 %
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	1 年	開講時期	後期	単位数	2 単位		受講態度	30 %
					授業時間数	30 時間	レポート		20 %	
					授業形態	演習	授業回数		15 回	
授業の概要	業界研究、企業研究を実践、グループワークやディスカッション、プレゼンテーション、各分野の専門家による講義も導入していく。これにより現代社会の動向を捉え、全体性の中での仕事・学生自分の役割や価値への気づきを創っていく。既存の職業にこだわらず、キャリア形成に係る研究や他者とのディスカッションを通して、活躍の分野を切り拓くことにも観点が向き、学生それぞれに独自性や企画力が反映されたキャリアプランが作成される。									
到達目標	①将来やりたいこと、できることを見極めることによって職業意識を高める。 ②社会人として働く意味や将来就きたい職業を具体的にイメージできるようになる。 ③ライフステージに沿ったキャリアプランを立てることができる。 ④語学力を生かしたグローバル人材として活躍するための大学生活をプランニングできる。									
学修者への期待等	充実した学生生活を送りながら将来社会人となることを意識して必要な力の養成を目指しているため、グループワーク等では積極的に取り組み、発言すること。									
回	授業計画					準備学修				
1	働くとは、就活準備の心構え					前期既習内容を復習しておくこと。自分が働くイメージをより具体的にしておくこと。（概ね30分程度）				
2	就活マナー（第一印象の重要性、敬語と言葉遣い、面接マナー）					配布資料を読み、ポイントを押さえて練習しておくこと。（概ね30分程度）				
3	社会で必要となるコミュニケーションスキル					気になる業界ニュースを選び、自分の意見を1分間で話せるように準備しておくこと。（概ね30分程度）				
4	キャリアデザイン（ライフライン・チャート、マインドマップ作成）、人生100年時代を豊かに生きる（社会人基礎力）					自分のこれまでの（小学生～現在）歴史を印象深いイベントや出来事と絡め振り返っておく。また今後の生き方を具体的に考えておくこと。（概ね30分程度）				
5	職業理解①（業界・職種・企業研究）					自分の目指す業界・職種・企業について調べておくこと。 ※別途授業中に説明する。（概ね30分程度）				
6	職業理解②（グループワーク及び発表）					自分が目指す業界や企業に関するニュース、情報を収集し、意見・感想を纏めておくこと。（概ね30分程度）				
7	現代社会の動向、社会情勢、経済から将来の職業を考える					新聞やニュース、ネットからの情報から今後の社会、経済を考え、ディスカッション出来るように準備しておくこと。（概ね30分程度）				
8	就職活動の進め方、求人票の見方、履歴書の書き方					自分の目指す企業の求人票（2021年版）を見て、自分の就活の進め方、スケジュールを考えておくこと。（概ね30分程度）				
9	魅力ある応募書類の書き方（エントリーシート、履歴書）					自己分析を行い、強み、弱みを書き出してくること。裏付ける個性溢れる理由、エピソードを準備する。（概ね30分程度）				
10	面接講座（面接の種類と実施の目的、面接のポイント、模擬面接）					面接で質問される内容を想定し、面接マナーも含め、受け答えの練習をしておくこと。（概ね30分程度）				
11	就職体験報告会（先輩から就職活動体験談及び質疑応答）					先輩に聞きたいことを準備しておくこと。（概ね30分程度）				
12	専門家による講義① ※学校側で手配 ※講義順番は調整					ご来校される専門家の業界について興味を持ち、新聞やニュース、ネットからの情報を収集してくこと。（概ね30分程度）				
13	専門家による講義②					ご来校される専門家の業界について興味を持ち、新聞やニュース、ネットからの情報を収集してくこと。（概ね30分程度）				
14	専門家による講義③					ご来校される専門家の業界について興味を持ち、新聞やニュース、ネットからの情報を収集してくこと。（概ね30分程度）				
15	講座のまとめと総括：社会人とキャリア形成					これまでの総復習をしておくこと。（概ね30分程度）				
教科書	特に用いない。講義では、レジュメや資料を配布し、重要な文献についてはその都度紹介する。講義で随時配る資料はファイルしておくこと。									
参考文献	「大学生のキャリアデザイントレーニング」見洋書房、「未来を拓くキャリア・デザイン講座」中央経済社、他。									
備考	本講では参加型授業を目指しているため、積極的に授業に参加し、発言することを期待する。受講者の理解を促すために、講義の内容および計画を変更する場合がある。変更になった場合は事前に連絡する。									
※以下は該当者のみ記載する。										
実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)										
・大手就職支援会社、教育会社にて大学生・高校生・中高年層の就職支援を行っている。 ・元大手航空会社で客室乗務員の教育を担当。 ・企業の採用人事担当者向けへのセミナーを担当。										

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-4-ESE-02				
	●	●	●							
科目名	基礎ゼミ				単位認定者	備考参照		評価の方法	試験（レポート）	50 %
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	1 年	開講時期	前期	単位数	1 単位		授業内課題等	30 %
						授業時間数	30 時間		受講態度	20 %
				授業形態	演習	授業回数	15 回			
授業の概要	初学者が大学教育を学ぶにあたって必要とされる基礎力を養う。2年間の短期大学での学びを有意義なものとするため、大学生活への導入、大学教育の意義や目的を理解し、文章の読み方・書き方（文章表現力）など、基礎的なスキルを身につけ、大学生活の様々な場面で活用できるようになることを目標とする。 また、批判的思考力を養い、グループディスカッションやプレゼンテーションを通して、コミュニケーションスキルの向上を目指す。									
到達目標	学修についての自己管理ができ、計画的な学修を実行できるようになる。 仲間を信頼し、協力して学修を遂行できるようになる。									
学修者への期待等	授業は合同実施の回とゼミ単位で実施の回とがあるため、掲示等をよく確認の上、授業に臨むこと。また、グループ活動では、他人任せにせず、皆で協力し、積極的に取り組むこと。									
回	授業計画				準備学修				担当	
1	オンライン教材の利用について（LMS、Xreading、Quizlet、オンライン英会話、Zoomなど）※ノートパソコンを持参する。				（復習）オンライン教材のシステムに慣れ、利用する（概ね1時間程度）				全専任教員	
2	仲間づくり・チームビルディング								全専任教員	
3	学修環境（図書館ガイド：図書館活用法、文献検索）と外部語学試験受験のススメ（資格奨学金）								全専任教員	
4	先輩から学ぶ（2年生の体験談発表、質疑応答）				（予習）2年生への質問事項を考えておいてください（概ね20分程度）				全専任教員	
5	体の健康を保つために（保健室）								保健室・ 全専任教員	
6	心の健康を保つために（相談室）								相談室・ 全専任教員	
7	プレゼンテーション①テーマ設定、ブレインストーミング、相手に伝えるプレゼンテーションの工夫				（復習）プレゼンテーションに必要な準備を進めてください。（概ね60分）				スミス・ジョーンズ・金井・小松・相田	
8	プレゼンテーション②内容の推敲と発表の準備、ゼミ教員からの助言				（予習）プレゼンテーションの練習をしてください。（概ね30分程度）				スミス・ジョーンズ・金井・小松・相田	
9	プレゼンテーション③ゼミ内発表会と意見交換								スミス・ジョーンズ・金井・小松・相田	
10	プレゼンテーション④合同発表会								スミス・ジョーンズ・金井・小松・相田	
11	レポートの書き方を学ぶ 大学生活を有意義に送るために（グループワーク、グループディスカッション）				（予習）与えられたテーマについて考えをまとめておいてください。（概ね30分程度）				全専任教員	
12	先輩に学ぶ：ゲストスピーカーによる講演会				（予習）ゲストスピーカーへの質問を考えてきてください。（概ね30分程度）				全専任教員	
13	学外学修①：見学地の訪問と現地学修				（予習）見学先のHP等をみてきてください。（概ね30分程度）				全専任教員	
14	学外学修②：見学後の考察				（復習）学んだことをまとめておいてください。（概ね1時間程度）				全専任教員	
15	前期の総括。夏季休暇の過ごし方。総合演習Ⅰの募集。				（予習）夏季休暇中の予定を考えておいてください。（概ね30分程度）				全専任教員	
教科書										
参考文献	授業時に、適宜紹介する。									
備考	単位認定者：スミス アンソニー、ジョーンズ ドミニク、金井典子、小松義隆、 相田明子 第7回～第10回はゼミ別にて実施する。ゲストスピーカー、学外学修先の都合により、 実施順は入れ替わる場合がある。状況によって、遠隔授業になることがある。									
※以下は該当者のみ記載する。										
実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)										

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力	科目ナンバリング					
						CE-4-ESE-03					
	●	●	●	●	●						
科目名	総合演習Ⅰ				単位 認定者	スミス アンソニー		評価の方法	試験 (レポート)	60	%
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	1 年	開講時期	後期	単位数	1 単位		授業内課題等	20	%
						授業時間数	30 時間		受講態度	20	%
				授業形態	演習	授業回数	15 回				
授業の概要	「基礎ゼミ」で学んだことを基に、さらなるコミュニケーション力の向上を目指す。 国際共通語として現代世界で利用されている英語について、「話す」「聞く」「読む」「書く」の4技能の習得を通じて、自主的に、かつ、論理的に自分の考えを第三者に伝えるプレゼンテーション力を身につける。また、少人数のゼミを編成し、英語を用いて様々な場面や事柄について学び、グループワークや発表を行うことにより、実用的英語力を強化する。										
到達目標	アメリカの歴史、および文化に対する基本的な知識と理解を得る。										
学修者への期待等	配付されたプリント教材等を十分に読み、内容を把握した上で授業に臨むこと。										
回	授業計画					準備学修					
1	America is Born. Jamestown					プリント “America is Born. Jamestown” について予習しておくこと。（概ね60分）					
2	“A New England”					プリント “A New England” について予習しておくこと。（概ね60分）					
3	Benjamin Franklin					プリント “Benjamin Franklin” について予習しておくこと。（概ね60分）					
4	Growing Up					プリント “Growing Up” について予習しておくこと。（概ね60分）					
5	George Washington and the Minutemen					プリント “Goerge Washington and the Minutemen” について予習しておくこと。（概ね60分）					
6	“We The People …” The United States is Born.					プリント “We The People …”について予習しておくこと。（概ね60分）					
7	Thomas Jefferson					プリント “Thomas Jefferson” について予習しておくこと。（概ね60分）					
8	“Industry Forever!” “Long Live King Cotton!”					プリント “Industry Forever!” “Long Live King Cotton!”について予習しておくこと。（概ね60分）					
9	War and a Song					プリント “War and a Song”について予習しておくこと。（概ね60分）					
10	Iron Horses And Talking Wires					プリント “Iron Horses And Talking Wires”について予習しておくこと。（概ね60分）					
11	Manifest Destiny And God’s Will					プリント “Manifest Destiny And God’s Will”について予習しておくこと。（概ね60分）					
12	Blossoming Words					プリント “Blossoming Words”について予習しておくこと。（概ね60分）					
13	“The South…” What will Become of Her?					プリント “The South…” What will Become of Her?について予習しておくこと。（概ね60分）					
14	The Chains of Slavery					プリント “The Chains of Slavery”について予習しておくこと。（概ね60分）					
15	A Ware for Freedom: A War to Save the Nation 総合演習Ⅱの募集					プリント “A Ware for Freedom: A War to Save the Nation”について予習しておくこと。（概ね60分）					
教科書	プリント教材										
参考文献	授業内で適宜紹介する。										
備考	状況により遠隔授業に変更する場合がある。										
※以下は該当者のみ記載する。											
実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)											

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング					
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-4-ESE-03					
	●	●	●	●	●						
科目名	総合演習Ⅰ				単位 認定者	ジョーンズ　ドミニク		評価 の方法	試験 (レポート)	40	%
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	1 年	開講時期	後期	単位数	1 単位		授業内課題等	30	%
						授業時間数	30 時間		受講態度	30	%
				授業形態	演習	授業回数	15 回				
授業の概要	「基礎ゼミ」で学んだことを基に、さらなるコミュニケーション力の向上を目指す。 国際共通語として現代世界で利用されている英語について、「話す」「聞く」「読む」「書く」の4技能の習得を通じて、自主的に、かつ、論理的に自分の考えを第三者に伝えるプレゼンテーション力を身につける。また、少人数のゼミを編成し、英語を用いて様々な場面や事柄について学び、グループワークや発表を行うことにより、実用的英語力を強化する。										
到達目標	英国とアイルランドの歴史、および文化に対する基本的な知識と理解を深める。										
学修者への 期待等	積極的に楽しく取り組むことのできる学生の履修を希望する。配付されたプリント教材等を十分に読み、内容を把握した上で授業に臨むこと。意見を出し合い高めあうゼミになることを目指しています。										
回	授業計画					準備学修					
1	British & Irish Festivals					(予習) 英国とアイルランドの祭りについて考える。(概ね30分程度)					
2	British & Irish Cuisine ① Food					(予習) 英国とアイルランドの料理について考える。(概ね30分程度)					
3	British & Irish Cuisine ② Drink										
4	フィールドワーク① 準備					(予習) フィールドワークの行き先について考えてくる。(概ね30分程度)					
5	フィールドワーク② 学外イベント										
6	British & Irish Movies ① 昔					(予習) 英国とアイルランドの映画について考える。(概ね30分程度)					
7	British & Irish Movies ② 現代										
8	ゲストスピーカーによる講演会					(予習) ゲストスピーカーへの質問を考えてきてください。(概ね30分程度)					
9	British & Irish Sports					(予習) 英国とアイルランドのスポーツについて考える。(概ね30分程度)					
10	Famous British & Irish People ① 昔					(予習) 有名な英国とアイルランド人について考える。(概ね30分程度)					
11	Famous British & Irish People ② 現代										
12	British & Irish Music					(予習) 英国とアイルランドの音楽について考える。(概ね30分程度)					
13	プレゼンテーションの準備					発表の準備予習 (概ね1時間)					
14	プレゼンテーション					発表の準備予習 (概ね1時間)					
15	活動の総括、総合演習Ⅱの募集										
教科書	適宜、資料を配布する。										
参考文献	授業内で適宜紹介する。										
備考	内容の進捗によってシラバスの内容を変更することがあります。状況により、遠隔授業になる場合がある。										
※以下は該当者のみ記載する。											
実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)											

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力	科目ナンバリング CE-4-ESE-03					
	●	●	●	●	●						
科目名	総合演習Ⅰ				単位 認定者	金井 典子		評価の 方法	試験 (レポート)	40	%
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	1 年	開講時期	後期	単位数	1 単位		授業内課題等	40	%
						授業時間数	30 時間		受講態度	20	%
					授業形態	演習	授業回数		15 回		
授業の概要	「基礎ゼミ」で学んだことを基に、さらなるコミュニケーション力の向上を目指す。 国際共通語として現代世界で利用されている英語について、「話す」「聞く」「読む」「書く」の4技能の習得を通じて、自主的に、かつ、論理的に自分の考えを第三者に伝えるプレゼンテーション力を身につける。また、少人数のゼミを編成し、英語を用いて様々な場面や事柄について学び、グループワークや発表を行うことにより、実用的英語力を強化する。										
到達目標	作品の内容を理解し、朗読劇にまとめることができる。朗読劇に取り組むことにより、相手に伝えるための表現法を考え、実践することができる。グループで協力して取り組むことができる。										
学修者への期待等	発信型、グループ型の取り組みであるため、強調しながら積極的に取り組むことのできる学生の履修を希望する。 授業時間外にも、放課後や空き時間等にグループ練習が必要となることを理解し対応する。										
回	授業計画					準備学修					
1	授業の概要。グループ作り。英語学修課題の説明。					(事後)毎週の学修課題に取り組む。(概ね1時間程度)					
2	Reader's Theatre(朗読劇)とは何かを学ぶ。					(事後)毎週の学修課題に取り組む。(概ね1時間程度)					
3	(作品①)音読のための作品理解。					(事前)作品を読んで内容を理解する。(概ね1時間程度) (事後)毎週の学修課題に取り組む。(概ね1時間程度)					
4	(作品①)音声による表現方法。					(事後)毎週の学修課題に取り組む。(概ね1時間程度) (事後)音読練習を繰り返す。(概ね1時間程度)					
5	(作品①)群読の練習。効果的な表現方法とは。					(事後)毎週の学修課題に取り組む。(概ね1時間程度) (事後)発表会に向けて、練習する。(概ね2時間程度)					
6	(作品①)発表会と意見交換 グループディスカッション					(事後)毎週の学修課題に取り組む。(概ね1時間程度)					
7	(作品②)作品の理解 (分担発表)					(事前)作品を読んで内容を理解する。(概ね2時間程度) (事後)毎週の学修課題に取り組む。(概ね1時間程度)					
8	(作品②)Reader's Theatreへの台本作成、担当分担					(事後)毎週の学修課題に取り組む。(概ね1時間程度) (事後)台本を完成させる。(概ね1時間程度)					
9	(作品②)表現の工夫、プロソディ					(事後)毎週の学修課題に取り組む。(概ね1時間程度) (事後)台本を音読練習する。(概ね2時間程度)					
10	(作品②)担当パートの練習、ピア・レビュー					(事後)毎週の学修課題に取り組む。(概ね1時間程度) (事後)音読練習をする。(概ね2時間程度)					
11	(作品②)発表会へ向けての予行練習					(事後)毎週の学修課題に取り組む。(概ね1時間程度) (事後)グループで練習する。(概ね2時間程度)					
12	(作品②)発表会への修正 グループディスカッション					(事後)毎週の学修課題に取り組む。(概ね1時間程度) (事後)グループで練習する。(概ね2時間程度)					
13	(作品②)作品発表会への最終確認と準備					(事後)毎週の学修課題に取り組む。(概ね1時間程度)					
14	(作品②)作品発表会と意見交換【合同開講：2年総合演習Ⅱ29回目】					(事後)毎週の学修課題に取り組む。(概ね1時間程度)					
15	活動の総括、総合演習Ⅱの募集					(事後)毎週の学修課題に取り組む。(概ね1時間程度)					
教科書	適宜、資料を配布する。										
参考文献	Sounds Like American: A Guide to Fluency in Spoken English. Ann Cook、Aushi Mishima. Cengage Learning.										
備考	状況により、遠隔授業に変更する場合がある。 履修人数により、Oral Communication Festivalへの参加を検討する。										

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング					
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-4-ESE-03					
	●	●	●	●	●						
科目名	総合演習Ⅰ				単位認定者	小松 義隆		評価の方法	試験 (レポート)	70	%
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	1 年	開講時期	後期	単位数	1 単位		受講態度	30	%
						授業時間数	30 時間				
				授業形態	演習	授業回数	15 回				
授業の概要	「基礎ゼミ」で学んだことを基に、さらなるコミュニケーション力の向上を目指す。 国際共通語として現代世界で利用されている英語について、「話す」「聞く」「読む」「書く」の4技能の習得を通じて、自主的に、かつ、論理的に自分の考えを第三者に伝えるプレゼンテーション力を身につける。また、少人数のゼミを編成し、英語を用いて様々な場面や事柄について学び、グループワークや発表を行うことにより、実用的英語力を強化する。										
到達目標	作品が執筆された時代、社会背景について調査し、語、熟語、英文の意味を文脈に即して正確に把握することができる。また登場人物の性格、特徴、背景などをよく考えたセリフ回しを考えることができるようになる。相当量の英文の精読を通じて作品の面白みを味わいながら内容への造詣を深めることができる。1つの作品を丁寧に読み終えることで達成感と自信を感じることができる。										
学修者への期待等	本ゼミでは、英語文学作品の簡易版をテキストとして使用し、作品が執筆された当時の周情的調査をしながら翻訳を行います。比較的導入しやすく、有名な作品をテキストにとり挙げますので読書翻訳計画に基づいて翻訳を進めてください。ゼミ内では、各回で各自が担当した範囲の内容の発表や担当箇所に出てきた興味深い語彙や、構文、周辺情報等を発表してもらいますので合わせてノートに書き留めてください。最終的に翻訳ノート（+読後感想）を提出して頂きます。辞書は必携で、それぞれの文脈にあった意味を引けるようにしてください。										
回	授業計画					準備学修					
1	本ゼミの目的進め方、ゼミグループメンバー確認、講読テキストの選択、読書翻訳計画の作成					テキストを各自購入しておき、簡単に目を通して読書翻訳計画を立てておいてください。（概ね1時間）					
2	作品講読と翻訳 1.Marley's ghost(p.1~4) 中の担当箇所、内容の発表、担当箇所に関しての周辺情報、気になった表現などの発表					担当箇所(p.1~4)の精読と翻訳、作品の時代・文化背景に関する周辺情報調査（インターネット等）、気になる語彙や表現のまとめ（概ね1~2時間）					
3	作品講読と翻訳 1.Marley's ghost(p.5~9) 中の担当箇所、内容の発表、担当箇所に関しての周辺情報、気になった表現などの発表					担当箇所(p.5~9)の精読と翻訳、作品の時代・文化背景に関する周辺情報調査（インターネット等）、気になる語彙や表現のまとめ（概ね1~2時間）					
4	作品講読と翻訳 1.Marley's ghost(p.10~13) 中の担当箇所、内容の発表、担当箇所に関しての周辺情報、気になった表現などの発表					担当箇所(p.10~13)の精読と翻訳、作品の時代・文化背景に関する周辺情報調査（インターネット等）、気になる語彙や表現のまとめ（概ね1~2時間）					
5	作品講読と翻訳 2.The first of the three spirits(p.14~19) 中の担当箇所、内容の発表、担当箇所に関しての周辺情報、気になった表現などの発表					担当箇所(p.14~19)の精読と翻訳、作品の時代・文化背景に関する周辺情報調査（インターネット等）、気になる語彙や表現のまとめ（概ね1~2時間）					
6	作品講読と翻訳 2.The first of the three spirits(p.20~25) 中の担当箇所、内容の発表、担当箇所に関しての周辺情報、気になった表現などの発表					担当箇所(p.20~25)の精読と翻訳、作品の時代・文化背景に関する周辺情報調査（インターネット等）、気になる語彙や表現のまとめ（概ね1~2時間）					
7	作品講読と翻訳 3.The second of the three spirits(p.26~30) 中の担当箇所、内容の発表、担当箇所に関しての周辺情報、気になった表現などの発表					担当箇所(p.26~30)の精読と翻訳、作品の時代・文化背景に関する周辺情報調査（インターネット等）、気になる語彙や表現のまとめ（概ね1~2時間）					
8	作品講読と翻訳 3.The second of the three spirits(p.31~34) 中の担当箇所、内容の発表、担当箇所に関しての周辺情報、気になった表現などの発表					担当箇所(p.31~34)の精読と翻訳、作品の時代・文化背景に関する周辺情報調査（インターネット等）、気になる語彙や表現のまとめ（概ね1~2時間）					
9	作品講読と翻訳 3.The second of the three spirits(p.35~38) 中の担当箇所、内容の発表、担当箇所に関しての周辺情報、気になった表現などの発表					担当箇所(p.35~38)の精読と翻訳、作品の時代・文化背景に関する周辺情報調査（インターネット等）、気になる語彙や表現のまとめ（概ね1~2時間）					
10	作品講読と翻訳 4.The last of the three spirits(p.39~42) 中の担当箇所、内容の発表、担当箇所に関しての周辺情報、気になった表現などの発表					担当箇所(p.39~42)の精読と翻訳、作品の時代・文化背景に関する周辺情報調査（インターネット等）、気になる語彙や表現のまとめ（概ね1~2時間）					
11	作品講読と翻訳 4.The last of the three spirits(p.43~46) 中の担当箇所、内容の発表、担当箇所に関しての周辺情報、気になった表現などの発表					担当箇所(p.43~46)の精読と翻訳、作品の時代・文化背景に関する周辺情報調査（インターネット等）、気になる語彙や表現のまとめ（概ね1~2時間）					
12	作品講読と翻訳 4.The last of the three spirits(p.47~50) 中の担当箇所、内容の発表、担当箇所に関しての周辺情報、気になった表現などの発表					担当箇所(p.47~50)の精読と翻訳、作品の時代・文化背景に関する周辺情報調査（インターネット等）、気になる語彙や表現のまとめ（概ね1~2時間）					
13	作品講読と翻訳 5.The end of the story(p.51~57) 中の担当箇所、内容の発表、担当箇所に関しての周辺情報、気になった表現などの発表					担当箇所(p.51~57)の精読と翻訳、作品の時代・文化背景に関する周辺情報調査（インターネット等）、気になる語彙や表現のまとめ（概ね1~2時間）					
14	作品講読を通して得た情報や知識のまとめ、内容の要約・感想文作成と発表（当該映画作品の鑑賞）					これまでの精読と翻訳の振り返り、翻訳・単語表現ノートの振り返りとまとめ（概ね2時間）					
15	まとめと評価（当該映画作品の鑑賞）					提出用翻訳ノート、読後感の作成（概ね3時間）					
教科書	Oxford Bookworm Library Oxford University Press Charles Dickens <i>A Christmas Carol</i> (Stage 3)										
参考文献											
備考	内容の進捗によってシラバスの内容を変更することがあります。 状況により、遠隔授業になる場合があります。 レポート（翻訳ノート、読後感想等）はLMSに提出してください。コメントをつける形式でフィードバックします。										
※以下は該当者のみ記載する。											
実務経験を有する教員による授業科目（実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性）											

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-4-ESE-03				
	●	●	●	●	●					
科目名	総合演習Ⅰ				単位認定者	相田 明子		評価の方法	授業内課題（レポート・発表等）	80 %
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	1 年	開講時期	後期	単位数	1 単位		受講態度	20 %
					授業形態	演習	授業時間数		30 時間	
							授業回数		15 回	
授業の概要	「基礎ゼミ」で学んだことを基に、さらなるコミュニケーション力の向上を目指す。国際共通語として現代世界で利用されている英語について、「話す」「聞く」「読む」「書く」の4技能の習得を通じて、自主的に、かつ、論理的に自分の考えを第三者に伝えるプレゼンテーション力を身につける。また、少人数のゼミを編成し、英語を用いて様々な場面や事柄について学び、グループワークや発表を行うことにより、実用的英語力を強化する。									
到達目標	1. 児童文学に関する基礎的知識について学び、作品を読解する際に活用することができる。 2. 英語で書かれた詩やおとぎ話を、辞書を用いて正確に読むことができる。 3. 子供向けに書かれた詩を声に出して読んだり、手遊びを加えて歌うことができる。 すべての項目において、グループで相談しながら達成することができる。									
学修者への期待等	英語テキストを読解するだけではなく、音声で「聞く」、声に出して「聞かせる」「歌う」、または作品に関する挿絵や映像を「見る」ことによって、総合的に理解を深めます。準備学修も含め、積極的に楽しく学ぶ姿勢が求められます。									
回	授業計画					準備学修				
1	授業の進め方、課題、評価などについて。グループ決定。「子ども向け」の文学とはどのようなものだろう。					シラバスをよく読んでおく。「子ども向け」の文学作品をインターネットや図書で調べておく。（概ね30分）				
2	英語圏の児童文学の成立と発展について、文化的・時代的な背景をふまえながら概要を学ぶ。					配布されたプリントを読み、授業で学んだ事柄をまとめる（概ね1時間）				
3	Mother Goose—①Sing a song of sixpence 他 英詩を読み、リズムを学び、意味を考える。挿絵を見ながら解釈をグループで深め、完成した和訳を発表する。					事前：配布された詩を読む。（概ね1時間） 事後：音読練習。ノートに要点をまとめる（概ね30分）				
4	Mother Goose—②数・曜日を学ぶための詩（数編） 英詩を読み、リズムを学び、意味を考える。映像を見ながら一緒に歌い、手遊びをつける。					事前：配布された詩を読む。（概ね1時間） 事後：音読練習。ノートに要点をまとめる（概ね30分）				
5	Mother Goose—③アルファベットを覚えるための詩（数編）英詩を読み、リズムを学び、意味を考える。該当する絵本を見ながら和訳の解釈を再考し、グループごとに発表する。					事前：配布された詩を読む。（概ね1時間） 事後：音読練習。ノートに要点をまとめる（概ね30分）				
6	Mother Goose—④Humpty Dumpty などなぞ詩 英詩を読み、リズムを学び、歴史的背景を考慮する。グループで話し合った和訳を発表する。映像を見ながら歌う。					事前：配布された詩を読む。（概ね1時間） 事後：音読練習。ノートに要点をまとめる（概ね30分）				
7	Mother Goose—⑤つみかさね詩 英詩を読み、リズムを学び、つみかさね詩の特徴を考え（関係代名詞の役割を生かし）ながら、和訳をする。グループごとに発表する。					事前：配布された詩を読む。（概ね1時間） 事後：音読練習。ノートに要点をまとめる（概ね30分）				
8	Mother Goose—意義と役割について・まとめと発表					事前：発表にむけた練習（概ね1時間） 事後：レポートの作成				
9	Charles Perrault の「おとぎ話」—①『赤ずきんちゃん』、おとぎ話の形式を考えながらテキストを読む。					事前：配布された物語を読む。（概ね1時間） 事後：音読練習。ノートに要点をまとめる（概ね30分）				
10	Charles Perrault の「おとぎ話」—①『赤ずきんちゃん』、「教訓」について考える。挿絵を見ながら比較考察。					事前：配布された物語を読む。（概ね1時間） 事後：音読練習。ノートに要点をまとめる（概ね30分）				
11	Charles Perrault の「おとぎ話」—②『シンデレラ』おとぎ話の形式を考えながら、テキストの読解をする。					事前：配布された物語を読む。（概ね2時間） 事後：音読練習。ノートに要点をまとめる（概ね30分）				
12	Charles Perrault の「おとぎ話」—②先週に続き『シンデレラ』を読解する。「教訓」について各々の理解を発表する。挿絵を見ながら、各場面の自己解釈と比較考察をする。					事前：配布された物語を読む。（概ね2時間） 事後：音読練習。ノートに要点をまとめる（概ね30分）				
13	Charles Perrault の「おとぎ話」—②『シンデレラ』現代版のストーリー内容と比較・考察をする。					事前：現代版のストーリーを調べ、相違点を確認しておく（概ね30分）				
14	Charles Perrault の「おとぎ話」—まとめと発表					事前：発表にむけた練習（概ね1時間） 事後：レポートの作成				
15	既習内容をふりかえり、まとめる。総合演習Ⅱの募集。					事前：使用したプリント・資料をまとめておく				
教科書	プリントを適宜配布します。									
参考文献	「お伽話による比較文化論」原 英一 松柏社 1997									
備考	本科目はアクティブ・ラーニングを取り入れた学習法とする。授業の進捗には若干の変更がある場合がある。状況により遠隔授業になる場合がある。									
※以下は該当者のみ記載する。										
実務経験を有する教員による授業科目（実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性）										

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力	科目ナンバリング					
						CE-4-ESE-08					
科目名	TOEIC Preparation				単位 認定者	尾形 まゆみ		評価の方法	試験（筆記）	60	%
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	選択	1 年	開講時期	後期	単位数	1 単位		授業内課題等	30	%
						授業時間数	30 時間		受講態度	10	%
					授業形態	演習	授業回数		15 回		
授業の概要	本科目は、リスニング、リーディング、文法、語彙に関する基礎力を再確認しながら、総合的な英語力を定着させることを目的とする。英語力の評価として広く社会で利用されているTOEIC® Listening and Reading Test (TOEIC® L&R)の問題演習を通して、英語力の弱点や強みを理解し、効果的な学修方法を構築できるようになる。本科目を通して、 TOEIC® L&Rのスコアアップへの意欲を高めていく。										
到達目標	学生は基礎的な英語力とテストスキルを身につけ、授業中に学修したことをTOEIC®公開テストで活用することができる。										
学修者への期待等	授業の予習復習を必ず行うこと。電子辞書を用意すること。各自で公式TOEIC®の試験（1・3・4・5・6・7・9・10・11・12月の年10回）の申し込みを行い、受講後に自分の英語力を確認することを強く勧める。										
回	授業計画					準備学修					
1	オリエンテーション、Pre-Test					シラバスをよく読み、授業の趣旨、授業内容、評価方法などについて十分に理解しておく。（1時間）					
2	Unit1: Entertainment (Listening)					映画や音楽などの娯楽に関する単語・リスニングセクションの予習（1時間）					
3	Unit1: Entertainment (Reading)					文法・映画や音楽などの娯楽に関するリーディングセクションの予習（1時間）					
4	Unit2 :Personnel (Listening)					求人広告や社内人事に関する単語・リスニングセクションの予習（1時間）					
5	Unit2 :Personnel (Reading)					文法・求人広告や社内人事に関するリーディングセクションの予習（1時間）					
6	Unit3: Office Work & Supplies (Listening)					オフィス業務や備品に関する単語・リスニングセクションの予習（1時間）					
7	Unit3: Office Work & Supplies (Reading)					文法・オフィス業務や備品に関するリーディングセクションの予習（1時間）					
8	Unit4: Office Messages (Listening)					電話やEメールなどのオフィスメッセージに関する単語・リスニングセクションの予習（1時間）					
9	Unit4: Office Messages (Reading)					文法・電話やEメールなどのオフィスメッセージに関するリーディングセクションの予習（1時間）					
10	Unit5: Eating Out (Listening)					ランチやパーティーなどの外食に関する単語・リスニングセクションの予習（1時間）					
11	Unit5: Eating Out (Reading)					文法・ランチやパーティーなどの外食に関する単語・長文リーディングセクションの予習（1時間）					
12	Unit6: Technology (Listening)					コンピューターなどの科学技術に関する単語・リスニングセクションの予習（1時間）					
13	Unit6: Technology (Reading)					文法・コンピューターなどの科学技術に関するリーディングセクションの予習（1時間）					
14	Unit7: Research & Merchandise Development (Listening)					調査研究や商品開発に関する単語・リスニングセクションの予習（1時間）					
15	Unit7: Research & Merchandise Development (Reading)					文法・調査研究や商品開発に関するリーディングセクションの予習（1時間）					
教科書	「SUCCESSFUL STEPS FOR THE TOEIC L&R TEST -New Edition-」（テーマ別TOEIC L&R TEST 総合演習）成美堂										
参考文献	必要に応じて講義中に適宜指示します。										
備考	必ず毎回授業の学習箇所の問題に解答して授業に臨むこと。授業中に質問に答えられないと予習をしていないと見なされ、授業態度評価に影響します。毎回授業の初めに前Unitのリスニング復習テストを行うので、ダウンロードした音声聞いて復習しておくこと。シラバスの内容は学生の熟達度、受講生数、授業の進行状況により変更する場合がある。										
※以下は該当者のみ記載する。											
実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)											

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング						
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-4-ESE-09						
	●	●										
科目名	STEP Preparation					単位認定者	小松 義隆		評価の方法	試験(筆記)	40	%
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科		選択	1 年	開講時期	後期	単位数	1 単位		授業内課題等	30	%
						授業形態	演習	授業時間数		30 時間	受講態度	30
								授業回数		15 回		
授業の概要	本科目は、専門基礎科目で学修しているリスニング、リーディング、文法、語彙に関する基礎力を再確認しながら、総合的な英語力を定着させることを目的とする。授業では、実用英語技能検定の過去問題を活用し、特に語彙、文法、リーディングに関した学修を行う。反復練習を繰り返し、英語力を強化することにより、実用英語検定試験受験への意欲を高めていく。											
到達目標	授業中に取り組む英検対策問題演習を通し、目標級を合格するための英語力とテストスキルを身につけ、授業中に学修したことを実際の試験で活用することができる。											
学修者への期待等	英検 2 級の過去問題集を使用する。必ず対応箇所の予習復習を行うこと。特に予習時は実際の試験時に各問題に割り当てる目安の時間を意識しながら、辞書を使わずに解いてみること。授業時は辞書などを必ず用意すること。各自で英検の試験の申し込みを行い、受講後に自分の英語力を確認することを強く勧める。授業の進捗、進捗の度合いによっては上位級である準1級の過去問題にも挑戦する。											
回	授業計画						準備学修					
1	授業の導入 2019年度 第3回英検2級過去問題演習① (問題1～2)						テキストを購入し授業計画の内容を事前に行っておくこと (1時間程度)					
2	2019年度 第3回英検2級過去問題演習② (問題3A～3C)						授業計画の内容を事前に行っておくこと、修得した語彙や表現を記録し復習を行うこと。(1時間程度)					
3	2020年度 第1回英検2級過去問題演習① (問題1～2)						授業計画の内容を事前に行っておくこと、修得した語彙や表現を記録し復習を行うこと。(1時間程度)					
4	2020年度 第1回英検2級過去問題演習② (問題3A～3C)						授業計画の内容を事前に行っておくこと、修得した語彙や表現を記録し復習を行うこと。(1時間程度)					
5	2020年度 第2回英検2級過去問題演習① (問題1～2)						授業計画の内容を事前に行っておくこと、修得した語彙や表現を記録し復習を行うこと。(1時間程度)					
6	2020年度 第2回英検2級過去問題演習② (問題3A～3C)						授業計画の内容を事前に行っておくこと、修得した語彙や表現を記録し復習を行うこと。(1時間程度)					
7	まとめ						今までに学修したことを復習し、語彙や表現をまとめること。 (1時間程度)					
8	2020年度 第3回英検2級過去問題演習① (問題1～2)						授業計画の内容を事前に行っておくこと、修得した語彙や表現を記録し復習を行うこと。(1時間程度)					
9	2020年度 第3回英検2級過去問題演習② (問題3A～3C)						授業計画の内容を事前に行っておくこと、修得した語彙や表現を記録し復習を行うこと。(1時間程度)					
10	2021年度 第1回英検2級過去問題演習① (問題1～2)						授業計画の内容を事前に行っておくこと、修得した語彙や表現を記録し復習を行うこと。(1時間程度)					
11	2021年度 第1回英検2級過去問題演習② (問題3A～3C)						授業計画の内容を事前に行っておくこと、修得した語彙や表現を記録し復習を行うこと。(1時間程度)					
12	2021年度 第2回英検2級過去問題演習① (問題1～2)						授業計画の内容を事前に行っておくこと、修得した語彙や表現を記録し復習を行うこと。(1時間程度)					
13	2021年度 第2回英検2級過去問題演習② (問題3A～3C)						授業計画の内容を事前に行っておくこと、修得した語彙や表現を記録し復習を行うこと。(1時間程度)					
14	2019年度 第3回英検準1級過去問題演習① (問題1～2)						授業計画の内容を事前に行っておくこと、修得した語彙や表現を記録し復習を行うこと。(1時間程度)					
15	2019年度 第3回英検準1級過去問題演習② (問題3A～3C)						授業計画の内容を事前に行っておくこと、修得した語彙や表現を記録し復習を行うこと。(1時間程度)					
教科書	「2022年度版 英検 2級 過去6回全問題集」旺文社英検書 2022											
参考文献	「2022年度版 英検 準1級 過去6回全問題集」旺文社英検書 2022											
備考	内容の進捗によってシラバスの内容を変更することがあります。 状況により、遠隔授業になる場合があります。											

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

現代英語学科 2年生

(2021年度入学生)

- 教育課程（カリキュラムマップ）
- カリキュラムツリー
- 年間予定表
- シラバス

学修成果（到達目標）

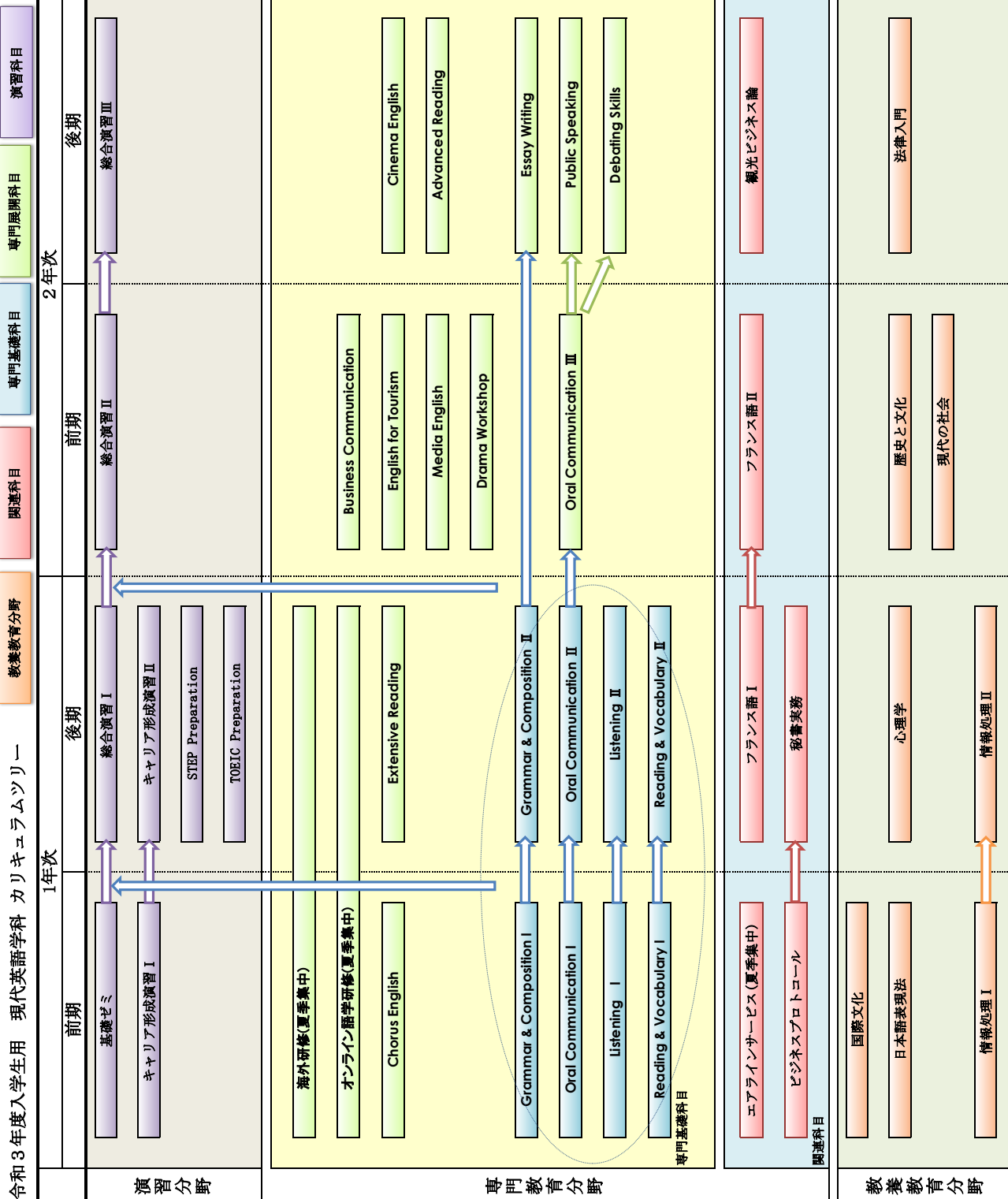
- 1 **【基礎力】** 一般教養並びに各専門分野の基礎的能力
 - ① 人間、社会、文化などについての教養を身につけている。
 - ② 身近な話題に関して対応することができる英語4技能を身につけている。（CEFR-B1レベル程度）
- 2 **【実践力】** 各分野の実際の場面に対応できる力
 - ① 自立した英語使用者として、臆せずコミュニケーションを図ることができる。
 - ② 他者の考えを理解し、多角的に物事を捉えながら、自分の考えを構築し表現することができる。
- 3 **【人間関係力】** 専門職・社会人として必要な人間性・コミュニケーション能力
 - ① 社会や職場に必要なコミュニケーション能力を身につけ、他者と良好な人間関係を築くことができる。
 - ② 基本的なプロトコルやビジネス実務能力を身につけ、実践することができる。
- 4 **【生涯学習力】** 生涯にわたって学び、成長できる力
 - ① 生涯にわたって課題を発見し、解決する力を身につけている。
 - ② 変化に富むグローバル社会において、生涯を通じて自分を成長させることができる。
- 5 **【地域理解力】** 地域・文化の多様性を理解し、地域に貢献できる力
 - ① 自国の歴史・文化・社会・経済について理解し、異文化間コミュニケーションに役立てることができる。
 - ② 様々な地域の文化・社会を知り、それぞれの価値観に対応して調和と共生を積極的に図ることができる。

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力
学修成果とは、学生がその授業科目で何ができるようになったかを表すものです。					
●は、各授業科目が学修成果の1～5のどれに当てはまるかを表すものです。					

現代英語学科 カリキュラムマップ

科目区分			授業科目の名称	授業回数	履修年次・学修成果										単位数				
					1年					2年					必修	選択			
					前期	後期	学修成果					前期	後期	学修成果					
1	2	3	4	5			1	2	3	4	5								
教養教育分野	人間と文化	日本語表現法	15	○		●	●									1			
		国際文化	15	○			●		●							2			
		歴史と文化	15							○				●	●	2			
	人間と社会	心理学	15		○			●	●								2		
		法律入門	15								○	●		●		2			
		現代の社会	15							○		●			●	2			
	人間と科学	情報処理Ⅰ	15	○			●	●								1			
		情報処理Ⅱ	15		○			●	●								1		
専門教育分野	専門基礎科目	Oral CommunicationⅠ	30	○		●	●									2			
		Oral CommunicationⅡ	30		○	●	●									2			
		ListeningⅠ	30	○		●	●									2			
		ListeningⅡ	30		○	●	●									2			
		Reading & VocabularyⅠ	30	○		●	●									2			
		Reading & VocabularyⅡ	30		○	●	●									2			
		Grammar & CompositionⅠ	30	○		●	●									2			
		Grammar & CompositionⅡ	30		○	●	●									2			
	専門展開科目	Oral CommunicationⅢ	30							○			●			●	2		
		Business Communication	15							○			●	●			2		
		Essay Writing	15								○	●	●				2		
		Media English	15							○			●			●	2		
		Public Speaking	15								○※		●	●			2		
		Debating Skills	15								○※		●	●			2		
		Extensive Reading	15		○	●	●						●				2		
		Advanced Reading	15								○		●		●		2		
		English for Tourism	15							○			●			●	2		
		Chorus English	15	○		●	●										2		
		Cinema English	15								○		●			●	2		
		Drama Workshop	15							○			●			●	2		
		海外研修	集中		○	●	●	●	●	●							2		
		オンライン語学研修	集中		○	●	●	●	●	●							1		
関連科目	ビジネスプロトコル	15	○			●	●	●	●							2			
	秘書実務	15		○			●	●								2			
	観光ビジネス論	15								○			●		●	2			
	エアラインサービス	15		○			●		●							2			
	フランス語Ⅰ	15		○				●	●							1			
	フランス語Ⅱ	15								○				●	●	1			
演習分野	演習科目	キャリア形成演習Ⅰ	15	○				●	●								1		
		キャリア形成演習Ⅱ	15		○			●	●								1		
		基礎ゼミ	15	○		●	●	●									1		
		総合演習Ⅰ	15		○	●	●	●	●	●							1		
		総合演習Ⅱ	15								○			●	●	●	●	1	
		総合演習Ⅲ	15									○		●	●	●	●	1	
		TOEIC Preparation	15		○	●	●											1	
		STEP Preparation	15		○	●	●											1	
		総計（卒業要件62単位以上）															40	34	

※選択必修（Public Speaking / Debating Skills より、2単位以上必修）



2022年度 現代英語学科2年生 年間予定表

前期

	日	月	火	水	木	金	土
4月						1	2
	3	4	5	6	7 オリエンテーション	8 オリエンテーション	9
	10	11 1	12 健康診断	13 健康診断	14 1	15 1	16
	17	18 2	19 1	20 1	21 2	22 2	23
	24	25 3	26 2	27 2	28 3	29 昭和の日	30
5月	1	2	3 憲法記念日	4 みどりの日	5 こどもの日	6 3	7
	8	9 4	10 3	11 3	12 4	13 4	14
	15	16 5	17 4	18 4	19 5	20 5	21
	22	23 6	24 5	25 5	26 6	27 6	28
	29	30 7	31 6	1 6	2 7	3 7	4
6月	5	6 8	7 7	8 7	9 8	10 8	11
	12	13 9	14 8	15 8	16 9	17 9	18
	19	20 10	21 9	22 9	23 10	24 10	25
	26	27 11	28 10	29 10	30 11	1 11	2
7月	3	4 12	5 11	6 11	7 12	8 12	9
	10	11 13	12 12	13 12	14 13	15 13	16
	17	18 海の日	19 13	20 13	21 14	22 14	23
	24	25 14	26 14	27 14	28 15	29 15	30
	31	1 15	2 15	3 15	4 予備日	5 定期試験	6
8月	7	8 定期試験	9 追試験	10	11 山の日	12	13
	14	15	16	17	18	19 不合格者発表	20
	21	22	23	24	25 再試験	26	27
	28	29	30	31	1	2	3
9月	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17
	18	19 敬老の日	20	21	22 オリエンテーション	23 秋分の日	24
	25	26 1	27 1	28 1	29 1	30 1	1

※振替授業日については、変更になる場合があります。LMSや掲示にて確認してください。

※追試験の日程については、別途、LMSや掲示にて確認してください。

※再試験の日程については、変更になる場合があります。LMSや掲示にて確認してください。

2022年度 現代英語学科2年生 年間予定表

後期

	日		月		火		水		木		金		土	
9月	18		19	敬老の日	20		21		22	オリエンテーション	23	秋分の日	24	
	25		26	1	27	1	28	1	29	1	30	1	1	
10月	2		3	2	4	2	5	2	6	2	7	2	8	
	9		10	スポーツの日	11	3	12	3	13	3	14	3	15	
	16		17	3	18	4	19	4	20	4	21	4	22	
	23		24	4	25	5	26	5	27	5	28	せいよう祭 準備日	29	せいよう祭
	30		31	5	1	6	2	6	3	文化の日	4	5	5	
11月	6		7	6	8	7	9	7	10	6	11	6	12	
	13		14	7	15	8	16	8	17	7	18	7	19	
	20		21	8	22	9	23	勤労感謝の日	24	8	25	8	26	
	27		28	9	29	10	30	9	1	9	2	9	3	
12月	4		5	10	6	11	7	10	8	10	9	10	10	
	11		12	11	13	12	14	11	15	11	16	11	17	
	18		19	12	20	13	21	12	22	12	23	12	24	
	25		26		27		28		29		30		31	
1月	1		2		3		4	13	5	13	6	13	7	
	8		9	成人の日	10	14	11	14	12	14	13	14	14	
	15		16	13	17	15	18	15	19	15	20	15	21	
	22		23	14	24	月15	25	予備日	26	定期試験	27	定期試験	28	
	29		30	定期試験	31	追試験	1		2		3	不合格者発表	4	
2月	5		6		7		8	再試験	9		10		11	建国記念の日
	12		13		14		15		16		17		18	
	19		20		21		22		23	天皇誕生日	24		25	
	26		27		28		1		2		3		4	
3月	5		6		7		8		9		10		11	
	12		13		14		15		16		17		18	
	19		20	卒業式	21	春分の日	22		23		24		25	
	26		27		28		29		31		31			

※振替授業日については、変更になる場合があります。LMSや掲示にて確認してください。

※追試験の日程については、別途、LMSや掲示にて確認してください。

※再試験の日程については、変更になる場合があります。LMSや掲示にて確認してください。

■科目名称、開講時期の変更に伴う読替対応表（現代英語学科）
（2020年度以前に入学の学生適用）

2021年度入学生より、教育課程（カリキュラム）が変更になりましたが、2020年度以前に入学した学生は、入学時の旧教育課程（カリキュラム）に基づき履修することになります。

旧教育課程の2年生科目についてはそのまま開講となりますが、1年生科目については科目名称や開講時期、対象学年が変更になっている場合がありますので、以下の表を確認して履修して下さい。

なお、不明な点は教員に相談し、特に再履修をする場合は履修間違いのないよう気を付けてください。

※網掛け部分は変更なしの科目です。

2020年度カリキュラム（2020年度以前に入学の学生適用）										2021年度カリキュラム													
科目区分		授業科目の名称	授業回数	履修年次				単位数		読替対応 授業科目の名称	開講 対象年度	授業 回数	履修年次				単位数		シラ バス 頁数	備考			
				1年		2年		必修	選択				自由	1年		2年		必修			選択		
				前期	後期	前期	後期							前期	後期	前期	後期						
教養 教育分野	人間と文化	日本語表現法	15	○				2		日本語表現法	2021	15	○				1			単位数が2単位→1単位に変更（演習）となるため他学科履修			
		言語学基礎	15	○				2		（科目廃止）	2022								科目廃止のため別途開講				
		東北学	15				○		2	（科目廃止）	2022								科目廃止のため他学科履修				
		歴史と文化	10				○		1		歴史と文化	2022	15				○	2		授業回数・単位数・授業概要の変更。自学科での読替または他学科（10回）履修			
	人間と社会	大学生活論	15		○				1		（科目廃止）	2022								科目廃止のため、外部講師分は他学科履修、学科独自分は別途開講			
		心理学	15			○				2													
		暮らしの中の法律	10					○	1		法律入門	2022	15					○	2		科目名称・授業回数・単位数・授業概要の変更。自学科での読替または他学科（10回）履修		
		現代の社会	10				○		1		現代の社会	2022	15				○		2		授業回数・単位数・授業概要の変更。自学科での読替または他学科（10回）履修		
	人間と科学	情報処理Ⅰ	15	○					1														
		情報処理Ⅱ	15			○				1													
		食と健康	15					○	2		（科目廃止）	2022									科目廃止のため別途開講		
専門 教育分野	専門 基礎 科目	Oral CommunicationⅠ	30	○					2														
		Oral CommunicationⅡ	30			○				2													
		ListeningⅠ	30	○						2													
		ListeningⅡ	30			○				2													
		Reading & VocabularyⅠ	30	○						2													
		Reading & VocabularyⅡ	30			○				2													
		Grammar & CompositionⅠ	30	○						2													
		Grammar & CompositionⅡ	30			○				2													
		国際文化論	15			○				2		国際文化	2021	15	○				2		分野の変更（専門教育→教養教育）、科目名の変更、配当時期変更（1年後期→1年前期）		
	専門 展開 科目	Oral CommunicationⅢ	30				○			2													
		Business Communication	15			○				2		Business Communication	2022	15				○		2		配当時期変更（1年後期→2年前期）	
		Media English	15				○			2		Media English	2022	15				○			2	必修から選択へ変更	
		Essay Writing	15					○		2													
		Public Speaking	15					○		2		Public Speaking	2022	15					○		2	必修から選択へ変更	
		Extensive Reading	15			○				2													
		英語文学講読	15					○		2		Advanced Reading	2022	15					○		2	科目名称変更	
		English for Tourism	15				○			2													
		Chorus English	15	○						2													
		Cinema English	15					○		2													
		Drama English	15				○			2		Drama Workshop	2022	15				○			2	科目名称変更	
		海外研修	集中		○					2													
	関連 科目	ビジネスプロトコール	15	○					2														
		マーケティング	15					○		2		（科目廃止）	2022									科目廃止のため他学科履修	
		ビジネス文書実務	15			○				2		秘書実務	2021	15				○			2	科目名称変更、授業概要変更	
		観光ビジネス論	15					○		2													
		エアラインサービス	15	○						2													
	演習 科目	キャリア形成演習	30	○				2		キャリア形成演習Ⅰ	2021	15	○				1			キャリア形成演習Ⅰとキャリア形成演習Ⅱを両方履修する			
										キャリア形成演習Ⅱ	2021	15			○			1					
		基礎ゼミ	15	○					1														
		総合演習Ⅰ	15			○			1														
		総合演習Ⅱ	30			○		2		総合演習Ⅱ	2022	15				○		1		総合演習Ⅱと総合演習Ⅲを両方履修する			
										総合演習Ⅲ	2022	15					○		1				
		英語特別演習Ⅰ	15	○						2	TOEIC Preparation	2021	15			○			1		旧カリ英語特別演習Ⅰは、TOEIC PreparationとSTEP Preparation（1単位15コマ）に分割される。両方履修し、旧カリの2単位×15コマと同等とする。		
											STEP Preparation	2021	15			○				1			
	英語特別演習Ⅱ	15				○				2	（科目廃止）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	自由科目のため読替は設定せず		

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング						
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CO-0-HCU-03						
				●	●							
科目名	歴史と文化				単位認定者	小原 豊志		評価の方法	試験 (レポート)	70	%	
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	2年	開講時期	前期	単位数	2		単位	授業内課題等	20	%
						授業時間数	30		時間	受講態度	10	%
				授業形態	講義	授業回数	15		回			
授業の概要	本科目は英語を専門とする学生たちが教養として知っておくべき「歴史と文化」をアメリカ史を中心に学ぶ授業である。とりわけ、アメリカ合衆国における人種と宗教に焦点をあて、白人性と福音主義の生成・発展過程を追跡することにより、現代における人種差別問題や反知性主義現象を理解することを目指す。授業の前半部は黒人(奴隷)問題の展開について、後半部はアメリカ独特のキリスト教の展開について視聴覚教材を用いつつ講義を行う。受講生には授業の感想を提出してもらったり、お互いに意見交換をしてもらったりして、双方向の授業を展開する。											
到達目標	世界に対して大きな影響力を有するアメリカ合衆国のさまざまな歴史事象において人種や宗教がいかなる役割を演じたかを理解する。また、これによって、現代世界における人種(民族)差別問題や宗教的原理主義に対する洞察力を身につける。											
学修者への期待等	授業を理解するために、毎回必ず出席してください。歴史的事象を理解するのみならず、その事象が現代の世界にどのような影響を与えているかを考えるよう心がけてください。											
回	授業計画					準備学修						
1	現代アメリカの人種問題					配布資料をよく読み、今回の授業内容を理解するとともに、課題を完成させること。(約1時間)						
2	「人種」とは何か					配布資料をよく読み、今回の授業内容を理解するとともに、課題を完成させること。(約1時間)						
3	黒人奴隷制度とアメリカの独立					配布資料をよく読み、今回の授業内容を理解するとともに、課題を完成させること。(約1時間)						
4	黒人奴隷制度とアメリカの発展					配布資料をよく読み、今回の授業内容を理解するとともに、課題を完成させること。(約1時間)						
5	南北戦争と黒人解放					配布資料をよく読み、今回の授業内容を理解するとともに、課題を完成させること。(約1時間)						
6	奴隷解放後の黒人問題					配布資料をよく読み、今回の授業内容を理解するとともに、課題を完成させること。(約1時間)						
7	公民権運動と黒人問題					配布資料をよく読み、今回の授業内容を理解するとともに、課題を完成させること。(約1時間)						
8	公民権運動後の黒人問題					配布資料をよく読み、今回の授業内容を理解するとともに、課題を完成させること。(約1時間)						
9	現代アメリカとキリスト教					配布資料をよく読み、今回の授業内容を理解するとともに、課題を完成させること。(約1時間)						
10	植民地期のキリスト教—ピューリタニズムと「大覚醒」					配布資料をよく読み、今回の授業内容を理解するとともに、課題を完成させること。(約1時間)						
11	独立革命とキリスト教					配布資料をよく読み、今回の授業内容を理解するとともに、課題を完成させること。(約1時間)						
12	第二次信仰復興運動					配布資料をよく読み、今回の授業内容を理解するとともに、課題を完成させること。(約1時間)						
13	第三次信仰復興運動とキリスト教原理主義					配布資料をよく読み、今回の授業内容を理解するとともに、課題を完成させること。(約1時間)						
14	『エルマー・ガントリー』と反知性主義					配布資料をよく読み、今回の授業内容を理解するとともに、課題を完成させること。(約1時間)						
15	『ジーザス・キャンブ』に見るキリスト教原理主義					配布資料をよく読み、今回の授業内容を理解するとともに、課題を完成させること。(約1時間)						
教科書	教科書は使用せず、授業において資料を配布します。											
参考文献	授業時に適宜指示します。											
備考												
※以下は該当者のみ記載する。												
実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)												

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング					
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CO-0-HSO-04					
	●			●							
科目名	法律入門				単位認定者	鈴木 翔太		評価の方法	授業内課題	80	%
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	2年	開講時期	後期	単位数	2 単位		受講態度	20	%
						授業時間数	30 時間				
					授業形態	講義	授業回数		15 回		
授業の概要	社会生活をしていく上で必要な基本的な法律について学修する。特に日常の社会生活・大学生活に関係の深い様々な問題を取り上げて、問題点、解決方法、回避方法など、具体的な事例を通じて理解し身につけていく。										
到達目標	社会問題を考える際の土台となる法律の基本的な用語や概念を理解し、説明できる。身近な法律問題の学習を通じて、自ら問題を解決するための思考方法を養う。										
学修者への期待等	聞き慣れない用語や概念が多いと思いますので、復習を中心に取り組んで下さい。 法律用語と日常用語の違い、授業内で扱った事例や問題は、重点的に復習すること。その際、結論だけでなく理由も説明できるようにしておくこと。										
回	授業計画					準備学修					
1	法律の種類と法律を学ぶ意味										
2	憲法、民法、商法のそれぞれ特徴と違い					前回講義の内容について適宜小テストを実施するため、レジュメを参照して復習すること（30分程度）					
3	憲法（１）基本的人権 —平等権、精神的自由等—					前回講義の内容について適宜小テストを実施するため、レジュメを参照して復習すること（30分程度）					
4	憲法（２）基本的人権 —経済的自由、その他の人権—					前回講義の内容について適宜小テストを実施するため、レジュメを参照して復習すること（30分程度）					
5	憲法（３）人権総括、統治機構					前回講義の内容について適宜小テストを実施するため、レジュメを参照して復習すること（30分程度）					
6	民法（１）総則					前回講義の内容について適宜小テストを実施するため、レジュメを参照して復習すること（30分程度）					
7	民法（２）物権					前回講義の内容について適宜小テストを実施するため、レジュメを参照して復習すること（30分程度）					
8	民法（３）債権（契約等）					前回講義の内容について適宜小テストを実施するため、レジュメを参照して復習すること（30分程度）					
9	民法（４）債権（不法行為）					前回講義の内容について適宜小テストを実施するため、レジュメを参照して復習すること（30分程度）					
10	民法（５）親族・相続					前回講義の内容について適宜小テストを実施するため、レジュメを参照して復習すること（30分程度）					
11	消費者法					前回講義の内容について適宜小テストを実施するため、レジュメを参照して復習すること（30分程度）					
12	交通法					前回講義の内容について適宜小テストを実施するため、レジュメを参照して復習すること（30分程度）					
13	ネットに関する法的課題（１）SNSの法的課題					前回講義の内容について適宜小テストを実施するため、レジュメを参照して復習すること（30分程度）					
14	ネットに関する法的課題（２）コンテンツ・ネット取引等の法的課題					前回講義の内容について適宜小テストを実施するため、レジュメを参照して復習すること（30分程度）					
15	まとめ（小テスト）					前回講義の内容について適宜小テストを実施するため、レジュメを参照して復習すること（30分程度）					
教科書	特に指定しない。必要に応じてレジュメや資料を配付する。										
参考文献	授業内で適宜紹介する。										
備考	講義は全て遠隔（オンデマンド）で実施する。 授業内容は、進度に応じて変更する場合がある。各回の授業内課題については、前回までの講義の内容から出題し、講義内で模範解答を配布した上で解説を行う。 「授業内課題」の評価については、各回の授業内課題の他、第15回で実施の小テストを含む。										

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目（実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性）

公認会計士として、法定監査（金融商品取引法、会社法等）、株式上場支援、内部統制構築支援等の業務に従事。様々なビジネス現場での経験から、具体的な事例を紹介して、分かりやすく解説する。

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング					
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	C0-0-HS0-03					
	●				●						
科目名	現代の社会				単位認定者	吉田 理		評価の方法	試験 (レポート)	60	%
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	2年	開講時期	前期	単位数	2 単位		授業内課題等	20	%
						授業時間数	30 時間		受講態度	20	%
					授業形態	講義	授業回数		15 回		
授業の概要	現代の日本が世界の中でどのような立場にあるか、初めに日本及び主な国の文化・思想・宗教ならびに近代の歴史を学ぶことから理解をする。そのうえで政治・経済の視点を軸にして現代の日本の様々な問題点について学修し、現代の社会を生きるために不可欠な基本知識を身につけ、社会生活において適切な選択や判断ができることを目指す。										
到達目標	取り上げるテーマは、いづれも社会人として当然備うるべき常識と考えられる事項である。社会生活自体はもちろんのこと就職活動における面接等でそれらについて問われた際に、概略と自身の考えを述べられるようになることを目標とする。										
学修者への期待等	「自立した大人」になるための下地を作ってほしいという観点から、各人の専攻に関わらず社会人として当然知っておくべき事項を取り上げる。一般的な知識を修得し、良き職業人を目指すという意欲をもって受講してほしい。										
回	授業計画					準備学修					
1	「現代の社会」導入(現代世界概観)					私たちを取り巻く現代社会について、その特徴を列挙し考察すること。当日配信する確認テストに備えること。(30分程度)					
2	現代社会の誕生(特に現代日本と大衆社会)					前回の講義内容(「現代の社会」導入)を復習し、当日配信する確認テストに備えること。(1時間程度)					
3	現代社会の特質(特に生命科学と情報技術)					前回の講義内容(「現代の社会」導入)を復習し、当日配信する確認テストに備えること。(1時間程度)					
4	現代社会と人間の本質(特に自己形成)					前回の講義内容(現代社会の特質)を復習し、当日配信する確認テストに備えること。(1時間程度)					
5	日本国憲法の基本的性格(特に社会権・参政権)					前回の講義内容(現代社会と人間の特質)を復習し、当日配信する確認テストに備えること。(1時間程度)					
6	日本の政治機構と政治参加(特に地方自治と政党政治)					前回の講義内容(日本国憲法の基本的性格)を復習し、当日配信する確認テストに備えること。(1時間程度)					
7	現代の経済社会(特に財政と金融) 附、レポート作成に当たって(説明)					前回の講義内容(日本の政治機構と政治参加)を復習し、当日配信する確認テストに備えること。(1時間程度)					
8	少子高齢化と国民の福祉(その原因と対策、社会保障の概要について)					前回の講義内容(現代の経済社会)を復習し、当日配信する確認テストに備えること。(1時間程度)					
9	消費者問題(消費者問題の歴史、消費者を保護するための制度について)					前回の講義内容(少子高齢化と国民の福祉)を復習し、当日配信する確認テストに備えること。(1時間程度)					
10	労働問題(日本の労働事情や労働関係法規・制度、労働格差について) 附、レポート作成に当たって(再度)					前回の講義内容(消費者問題)を復習し、当日配信する確認テストに備えること。(1時間程度)					
11	現代社会の特質・補足(生命科学)					前回の講義内容(労働問題)を復習し、当日配信する確認テストに備えること。(1時間程度)					
12	日本の政治機構と政治参加・補足1(選挙制度と世論)					前回の講義内容(生命科学)を復習し、当日配信する確認テストに備えること。(1時間程度)					
13	日本の政治機構と政治参加・補足2(裁判と司法権)					前回の講義内容(選挙制度と世論)を復習し、当日配信する確認テストに備えること。(1時間程度)					
14	現代の経済社会・補足(日本の財政課題)					前回の講義内容(裁判と司法権)を復習し、当日配信する確認テストに備えること。(1時間程度)					
15	日本の社会保障制度と環境問題 附、レポート作成に当たって(最終)					前回の講義内容(日本の財政課題)を復習し、当日配信する確認テストに備えること。(1時間程度)					
教科書	「2022小論文頻出テーマ解説集 現代を知るplus」第一学習社										
参考文献	「別冊NHK 100分de名著 読書の学校 特別授業 君たちはどう生きるか」池上彰著 (NHK出版(2017)) 各項目について報道している日刊新聞(購読していない場合は各社のweb版でも可。ただし不特定者によるまとめ記事はむしろ不可)										
備考	講義は全て遠隔(オンデマンド)で実施するが、板書を中心に進めるのでノートを準備すること。 成績の主は試験の代わりとして課されるレポート作成であり、単位認定の必須事項となる(未提出は認定しない)。 確認テストのうち任意の回は授業内課題として成績に加える。受講態度は、確認テスト解答送信で判断する。										

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力	科目ナンバリング CE-2-EAD-01					
		●			●						
科目名	Oral CommunicationⅢ				単位 認定者	ジョーンズ ドミニク		評価 の方法	試験（DEPA）	30	%
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	2年	開講時期	前期	単位数	2 単位		授業内課題	40	%
						授業時間数	60 時間		受講態度	20	%
				授業形態	演習	授業回数	30 回		オンライン英会話	10	%
授業の概要	「Oral CommunicationⅡ」をさらに発展させ、日常の物事や時事問題などに関して、積極的に自分の意見を英語で表出することを目的とする。授業では、時事に関する視聴覚教材や読解教材を取り入れ、現代社会の事象に関する自身の考えやスタンスをも言語化できるようにする。グループディスカッションを多く取り入れ、メンバーが持ち回りで議長の役割を担い、グループの意見をまとめ、発表する。身近な話題に限らず、幅広い話題に関して、自分の考えを論理的かつ積極的に表現できる力を身につける。										
到達目標	将来のキャリアと継続教育に役立つような英語を駆使する自信をつけ、コミュニケーションに役立つ語彙や表現を修得する。										
学修者への期待等	授業には、テキスト、辞書（言語の学修に辞書は必須）、ノート、ファイル（授業で渡されたプリント等を整理できるもの）を必ず持参すること。また、授業の前に必ず予習しておくこと。具体的には、次の授業で学ぶであろう章に目を通し、分からない語彙があれば辞書で調べておくこと。Online WorkbookやAudio、visual material、を利用して、できるだけ抵抗や苦労なく内容理解が進められるようにしてください。課外課題としてオンライン英会話も勉強します。										
回	授業計画				準備学修						
1	本授業の進め方について、予習、復習、評価について、My Keynote Online登録英語で自己紹介				テキストの使い方Your guide to My Keynote Onlineに目を通す。Videoを見ておく。授業計画に対応するVocabularyの予習（概ね1時間）						
2	Types of Animals① Language Focus Part 1 Describing events in the Present				Preparation for Language Focus Part 1の予習、My Keynote Online（概ね30分）						
3	Types of Animals② Language Focus Part 2 Reviewing present actions				Preparation for Language Focus Part 2の予習、My Keynote Online（概ね30分）						
4	Types of Animals③ Speaking Task				My Keynote Online（概ね30分）						
5	Types of Animals復習				疑問点などを質問できるように整理しておくこと（概ね30分）						
6	Extended Family① Language Focus Part 1 Future plans				Language Focusの予習、My Keynote Online（概ね30分）						
7	Extended Family② Language Focus Part 2 Review of future tenses				My Keynote Online（概ね30分）						
8	Extended Family③ Speaking Task				My Keynote Online（概ね30分）						
9	Extended Family復習				疑問点などを質問できるように整理しておくこと（概ね30分）						
10	Genres of Fiction① Language Focus Part 1 Adding details				Vocabularyの予習、My Keynote Online（概ね30分）						
11	Genres of Fiction② Language Focus Part 2 Relative clauses				Language Focusの予習、My Keynote Online（概ね30分）						
12	Genres of Fiction③ Speaking Task				My Keynote Online（概ね30分）						
13	Genres of Fiction復習				疑問点などを質問できるように整理しておくこと（概ね30分）						

回	授業計画	準備学修
14	プレゼンテーション (1) Presentation preparation	発表の準備をしてきてください (概ね1時間)
15	プレゼンテーション (2) Presentation	
16	Music① Language Focus Part 1 Talking about quantity	Vocabularyの予習、 My Keynote Online (概ね30分)
17	Music② Language Focus Part 2 Countable and uncountable nouns	Language Focusの予習、 My Keynote Online (概ね30分)
18	Music③ Speaking Task	My Keynote Online (概ね30分)
19	Music復習	疑問点などを質問できるように整理しておくこと (概ね30分)
20	Design Elements① Language Focus Part 1 Talking about place and position	Vocabularyの予習、 My Keynote Online (概ね30分)
21	Design Elements② Language Focus Part 2 Prepositions of place	Language Focusの予習、 My Keynote Online (概ね30分)
22	Design Elements③ Speaking Task	My Keynote Online (概ね30分)
23	Design Elements復習	疑問点などを質問できるように整理しておくこと (概ね30分)
24	Sources of Information① Language Focus Part 1 Reporting what somebody said	Vocabularyの予習、 My Keynote Online (概ね30分)
25	Sources of Information② Language Focus Part 2 Reported speech	Language Focusの予習、 My Keynote Online (概ね30分)
26	Sources of Information③ Speaking Task	My Keynote Online (概ね30分)
27	プレゼンテーション (1) Presentation preparation	疑問点などを質問できるように整理しておくこと (概ね30分)
28	プレゼンテーション (2) Presentation	発表の準備をしてきてください (概ね1時間)
29	Discussion English Proficiency Assessment Preparation	疑問点などを質問できるように整理しておくこと (概ね30分)
30	Discussion English Proficiency Assessment	疑問点などを質問できるように整理しておくこと (概ね30分)
教科書	「Keynote Combo Split 2A with My Keynote Online」 David Bohlke National Geographic Cengage Learning	
参考文献	特になし	
備考	内容の進捗によってシラバスの内容を変更することがあります。状況により、遠隔授業になる場合があります。	

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力	科目ナンバリング CE-2-EAD-01				
		●			●					
科目名	Oral CommunicationⅢ				単位 認定者	スミス アンソニー		評価 の方法	試験(筆記)	50 %
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	2年	開講時期	前期	単位数	2 単位		授業内課題	30 %
						授業時間数	60 時間		授業態度	20 %
				授業形態	演習	授業回数	30 回			
授業の概要	「Oral CommunicationⅡ」をさらに発展させ、日常の物事や時事問題などに関して、積極的に自分の意見を英語で表出することを目的とする。授業では、時事に関する視聴覚教材や読解教材を取り入れ、現代社会の事象に関する自身の考えやスタンスをも言語化できるようにする。グループディスカッションを多く取り入れ、メンバーが持ち回りで議長の役割を担い、グループの意見をまとめ、発表する。身近な話題に限らず、幅広い話題に関して、自分の考えを論理的かつ積極的に表現できる力を身につける。									
到達目標	身近な話題に限らず、幅広い話題に関して、自分の考えを論理的かつ積極的に、英語でディベートできる力を身につける。									
学修者への期待等	授業には、テキスト、辞書（言語の学修に辞書は必須）、ノート、ファイル（授業で渡されたプリント等を整理できるもの）を必ず持参すること。また、授業の前に必ず予習しておくこと。具体的には、次の授業で学ぶであろう章に目を通し、分からない語彙があれば辞書で調べておくこと。Online WorkbookやAudio、Visual Materialを利用し、できるだけ抵抗や苦労なく内容理解が進められるようにしてください。									
回	授業計画					準備学修				
1	Unit 1. Eating Well ① (Vocabulary & Reading)					Vocabulary & Listening Section (概ね40分)				
2	Unit 1. Eating Well ② (Conversation I & II)					Conversation & Preparation for Discussion (概ね40分)				
3	Unit 2. Personality Types ① (Vocabulary & Reading)					Vocabulary & Listening Section (概ね40分)				
4	Unit 2. Personality Types ② (Conversation I & II)					Conversation & Preparation for Discussion (概ね40分)				
5	Unit 3. Sports/Music ① (Vocabulary & Reading)					Vocabulary & Listening Section (概ね40分)				
6	Unit 3. Sports/Music ② (Conversation I & II)					Conversation & Preparation for Discussion (概ね40分)				
7	Unit 4. Animal Rights ① (Vocabulary & Reading)					Vocabulary & Listening Section (概ね40分)				
8	Unit 4. Animal Rights ② (Conversation I & II)					Conversation & Preparation for Discussion (概ね40分)				
9	Unit 5. Lifestyles ① (Vocabulary & Reading)					Vocabulary & Listening Section (概ね40分)				
10	Unit 5. Lifestyles ② (Conversation I & II)					Conversation & Preparation for Discussion (概ね40分)				
11	Unit 6. Drinking/Smoking ① (Vocabulary & Reading)					Vocabulary & Listening Section (概ね40分)				
12	Unit 6. Drinking/Smoking ② (Conversation I & II)					Conversation & Preparation for Discussion (概ね40分)				
13	Unit 7. Executive Salaries ① (Vocabulary & Reading)					Vocabulary & Listening Section (概ね40分)				

回	授業計画	準備学修
14	Unit 7. Executive Salaries ② (Conversation I & II)	Conversation & Preparation for Discussion (概ね40分)
15	Unit 8. Endangered Species ① (Vocabulary & Reading)	Vocabulary & Listening Section (概ね40分)
16	Unit 8. Endangered Species ② (Conversation I & II)	Conversation & Preparation for Discussion (概ね40分)
17	Unit 9. Abstract Art/Movies ① (Vocabulary & Reading)	Vocabulary & Listening Section (概ね40分)
18	Unit 9. Abstract Art/Movies ② (Conversation I & II)	Conversation & Preparation for Discussion (概ね40分)
19	Unit 10. Man's Best Friend ① (Vocabulary & Reading)	Vocabulary & Listening Section (概ね40分)
20	Unit 10. Man's Best Friend ② (Conversation I & II)	Conversation & Preparation for Discussion (概ね40分)
21	Unit 11. Gun Control ① (Vocabulary & Reading)	Vocabulary & Listening Section (概ね40分)
22	Unit 11. Gun Control ② (Conversation I & II)	Conversation & Preparation for Discussion (概ね40分)
23	Unit 12. Population Control ① (Vocabulary & Reading)	Vocabulary & Listening Section (概ね40分)
24	Unit 12. Population Control ② (Conversation I & II)	Conversation & Preparation for Discussion (概ね40分)
25	Unit 13. The Influence of Television ① (Vocabulary & Reading)	Vocabulary & Listening Section (概ね40分)
26	Unit 13. The Influence of Television ② (Conversation I & II)	Conversation & Preparation for Discussion (概ね40分)
27	Unit 14. Summer or Winter ① (Vocabulary & Reading)	Vocabulary & Listening Section (概ね40分)
28	Unit 14. Summer or Winter ② (Conversation I & II)	Conversation & Preparation for Discussion (概ね40分)
29	Topical Discussion and Presentation ①	Preparation for Presentation (概ね60分)
30	Topical Discussion and Presentation ②	Preparation for Presentation (概ね60分)
教科書	「My Opinion、 Your Opinion」 Paul McLean マクミラン ランゲージハウス	
参考文献	必要に応じて、授業内で指示する。	
備考	クラス分けで実施する。状況により遠隔授業に変更する場合がある。	

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング					
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-2-EAD-02					
		●	●								
科目名	Business Communication				単位認定者	相田 明子		評価の方法	試験（レポート）	20	%
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	2 年	開講時期	前期	単位数	2 単位		授業内課題(小テスト、単語テスト) 等	60	%
					授業形態	演習	授業時間数		30 時間	発表内容	20
							授業回数		15 回		
授業の概要	本科目では、基本的なビジネスの場に必要な丁寧な英語表現を学習し、実際のビジネスシーンで活用できるようになることを目的とする。 具体的には、電話応対、アポイントメント調整、トラブル対応などの状況において、重要な用語や表現を学び、反復練習を通して、定着を図る。さらに、ロールプレイングを取り入れ、積極的に英語で会話することにより、ビジネスシーンにおける英語コミュニケーション能力を培っていく。										
到達目標	グローバルなビジネスの現場において、取引先と適切なコミュニケーションが行えるようになる。その際に必要とされる会話やe-mailでのやりとりの作法を習得し、実践できるようになる。										
学修者への期待等	毎回の授業準備(提出課題や語彙復習等)を行うこと。また、電子辞書を持参し、授業中に単語を調べられるようにしておくこと。ロールプレイやグループワークを行う場面では、積極的な取り組みが期待される。										
回	授業計画					準備学修					
1	Unit 1 Introducing Yourself (同僚や取引先との初対面の際の挨拶について、ロールプレイ、e-mail作成)					シラバスやコース説明のプリントを熟読しておくこと。指定されたReading課題を行い、次回提出すること。(1.5時間程度)					
2	Unit 2 Introducing Companies (他社に自社を紹介する方法を身に着ける。グループワーク) Useful Vocabulary ①					音声を聴き、“Reading”(The Oldest Companies in the World)を読む。指定されたworksheet、Reading課題を行い、次回提出すること。(1.5時間程度)					
3	Unit 3.Explaining Your Role (自分や自分の属すチームの業務内容を説明する。問題練習、解説) 単語テスト①					音声を聴き、“Reading”(Crazy Job Titles)を読む。指定されたworksheet、Reading課題を行い、次回提出すること。単語テストの準備。(1.5時間程度)					
4	Unit 4.Checking Information (聞き取れない・理解できない事柄を聞き直す。グループワーク、問題練習、解説)					音声を聴き、“Reading”(Features Versus Benefits)を読む。指定されたworksheet、Reading課題を行い、次回提出すること。(1.5時間程度)					
5	Unit 5 Checking Information (聞き取れなかった・理解できなかった情報をどのように確認するか。グループワーク) Useful Vocabulary ②					音声を聴き、“Reading”(The Important of Asking Questions)を読む。指定されたworksheet、Reading課題を行い、次回提出すること。(1.5時間程度)					
6	Unit 6 Giving Your Opinion (自分の意見をはっきりと言う。プレゼンテーション) 単語テスト②					音声を聴き、“Reading”(Let’s get Straight to the Point)を読む。指定されたworksheet、Reading課題を行い、次回提出すること。単語テストの準備。(1.5時間程度)					
7	Unit 7 Making Request (相手の要求に応える、自分の願いを告げる。問題練習、解説) / Unit 1～7までの小テスト					音声を聴き、“Reading”(Saying No)を読む。指定されたworksheet、Reading課題を行い、次回提出すること。Unit 1～7までの復習をする。(3時間程度)					
8	Unit 8 Asking Permission (許可を取る、与える、断るための表現。ロールプレイ) Useful Vocabulary ③					音声を聴き、“Reading”(What’s GDPR?)を読む。指定されたworksheet、Reading課題を行い、次回提出すること。(1.5時間程度)					
9	Unit 9 Making Invitations (招待をする、断る、受けるための表現を学ぶ。プレゼンテーション) 単語テスト③					音声を聴き、“Reading”(Taking a Guest to a Restaurant)を読む。指定されたworksheet、Reading課題を行い、次回提出すること。単語テストの準備。(1.5時間程度)					
10	Unit 10 Making Appointments (会議の時間を調整する、問題練習、解説)					音声を聴き、“Reading”(Schedule a meeting)を読む。指定されたworksheet、Reading課題を行い、次回提出すること。(1.5時間程度)					
11	Unit 11 Cancelling and Rescheduling (会議の予定を立てる、キャンセルする。問題練習、解説)					音声を聴き、“Reading”(How to schedule a meeting)を読む。指定されたworksheet、Reading課題を行い、次回提出すること。(1.5時間程度)					
12	Unit 12 Describing Locations (社内や街で場所を尋ねたり、案内が出来るようになる。問題練習、解説) Useful Vocabulary ④					音声を聴き、“Reading”(Apples’s New “Spaceship Campus”)を読む。指定されたworksheet、Reading課題を行い、次回提出すること。(1.5時間程度)					
13	Unit 13 Looking after a Visitor (訪問者に対する応対。問題練習、解説) 単語テスト④					音声を聴き、“Reading”(To give or not to give)を読む。指定されたworksheet、Reading課題を行い、次回提出すること。(1.5時間程度)					
14	Unit 14 Making a Phone Call (電話の応対とその後のe-mail。グループワーク、問題練習、解説)					音声を聴き、“Reading”(LINE)を読む。指定されたworksheet、Reading課題を行い、次回提出すること。(1.5時間程度)					
15	Unit 15 Taking Messages (電話で伝言を聞き、伝えるための表現。問題練習、解説) / Unit 8～15までの小テスト					音声を聴き、“Reading”(When to call and when to email)を読む。指定されたworksheet、Reading課題を行い、次回提出すること。Unit8～15の復習をする。(3時間程度)					
教科書	「Go Global」Garry Pearson他 成美堂										
参考文献	授業中に適宜紹介する。										
備考	小テスト等のフィードバックは返却の際に行う。本科目はアクティブ・ラーニングを取り入れた学習法とする。シラバスの内容は授業の進行状況によって変更する場合がある。また、状況により遠隔授業になる場合がある。										
※以下は該当者のみ記載する。											
実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)											

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-2-EAD-04				
	●	●								
科目名	Essay Writing				単位 認定者	金井 典子		評価の 方法	授業内課題	70 %
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	2 年	開講時期	後期	単位数	2 単位		試験（レポート）	20 %
						授業時間数	30 時間		受講態度	10 %
				授業形態	演習	授業回数	15 回			
授業の概要	本科目の目的は、英文エッセイの構造を理解し、自ら構成できるライティング力を培うことである。「Grammar & CompositionⅡ」で学んだ、パラグラフライティングの構成を再確認し、身近なトピックにとどまらず、提示された課題に対して、自分の意見を論理的に展開することができるようになることを企図する。Introduction、Body、Conclusionを軸に、論理性に矛盾がなく、より説得力のあるエッセイを書くための技法を学ぶ。また、セルフチェック、ピアチェック等を取り入れ、数多くのエッセイライティングを実施する。									
到達目標	1. 辞書を用いて、語彙・表現・文法においてできる限り間違いのない文章を書くことができる。 2. エッセイの構成を理解し、論にずれのないエッセイをまとめることができる。 3. 書き直しを学びの機会と捉え、向上する意欲を持って取り組むことができる。									
学修者への 期待等	Writingはノートパソコンを使用する。ノートパソコン、 英和・和英辞書を持参すること。（スマートフォンでの検索、翻訳機能では学修することができないため必携） 課題提出締め切りは厳守すること。原則として、課題提出の締め切り延長は行わない。									
回	授業計画					準備学修				
1	授業の進め方・ルール、Prewriting Task.									
2	Writing Process & Prewriting Stage: Brain StormingからMain Ideaへ。 グループでの話し合い。									
3	Paragraph Organization: Topic sentenceとConcluding sentence.									
4	Descriptive Paragraph: your personality.					予習として26、27ページの単語の意味を調べる(概ね20分程度)。				
5	Descriptive Paragraph: revision. 前回の作文を修正する。 Self-revisionとPeer review.									
6	Descriptive Paragraph: final draft. Essay 1 (contrsting essay): two countries、preparation.					LMSを利用し、指定の期限までに、final draftを提出する(概ね30分程度)。				
7	Essay 1: revision. 前回の作文を修正する。Self-revisionとPeer review.									
8	Essay 1: final draft Essay 2(reasons and results): health, brainstorming.					LMSを利用し、指定の期限までに、final draftを提出する(概ね30分程度)。				
9	Essay 2: introduction, body, conclusion. 2 main ideas and supporting sentences.					次回までにfirst draftを仕上げておく（概ね30分程度）。				
10	学修成果の確認（TOEIC IP受験）					TOEICの問題形式を確認し、 必要な準備を行う（概ね1時間程度）。				
11	Essay 2: revision. 前回の作文を修正する。Self-revisionとPeer review.									
12	Essay 3: final draft. Essay 4 (opinion essay): brainstorming.					LMSを利用し、指定の期限までに、final draftを提出する(概ね30分程度)。				
13	Essay 4: how to express your opinions with logical and persuasive explanations.					次回までにfirst draftを仕上げておく（概ね30分程度）。				
14	Essay 4: revision. 前回の作文を修正する。Self-revision と Peer review.									
15	Essay 4: final draft. Free essay writing with STEP materials.					LMSを利用し、指定の期限までに、final draftを提出する(概ね30分程度)。				
教科書	「モデルで学ぶプロセスライティング入門」 柴田美紀 松柏社									
参考文献	授業時に適宜指示する。									
備考	個々の到達度に応じて、ライティング課題を変更する場合がある。状況により、遠隔授業になる可能性がある。									
※以下は該当者のみ記載する。										
実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)										

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力	科目ナンバリング CE-2-EAD-04					
	●	●									
科目名	Essay Writing				単位 認定者	小松 義隆		評価 の 方法	授業内課題	70	%
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	2 年	開講時期	後期	単位数	2 単位		受講態度	30	%
						授業時間数	30 時間				
					授業形態	演習	授業回数		15 回		
授業の概要	本科目の目的は、英文エッセイの構造を理解し、自ら構成できるライティング力を培うことである。「Grammar & Composition II」で学んだ、パラグラフライティングの構成を再確認し、身近なトピックにとどまらず、提示された課題に対して、自分の意見を論理的に展開することができるようになることを企図する。Introduction、Body、Conclusionを軸に、論理性に矛盾がなく、より説得力のあるエッセイを書くための技法を学ぶ。また、セルフチェック、ピアチェック等を取り入れ、数多くのエッセイライティングを実施する。										
到達目標	1. WritingやReadingに必要な語彙知識を固め、Essayの読み書きに応用できる。 2. Essay Writingの基礎を学び、段落構成の整った300語以上の英作文ができるようになる 3. Essayの構造を知り、Reading能力を高め、効率的に英文が読めるようになる										
学修者への期待等	辞書必携。 テキストは「日本文化の再発見」をテーマにしており、対外的に説明・紹介する機会も多い内容と考えられます。改めて日本文化について理解を深めるとともに、読者が読みやすい文章を構成する方法を学んでください。										
回	授業計画					準備学修					
1	授業の進め方・ルールについて。 Unit 1 The Story of Wagashi 1人称・2人称を使わずに客観的に書く					Unit 1 Vocabulary～Pre-writing～Drop by～Grammar～Writing Task1-3～Reading Taskまで予習しておく（概ね1時間）					
2	Unit 2 Architecture: Japanese Castles 文の繋がりを意識する					Unit 2 Vocabulary～Pre-writing～Drop by～Grammar～Writing Task1-3～Reading Taskまで予習しておく（概ね1時間）					
3	Unit 3 Matsuri : Festivals in Japan ほぼ同じ意味を持つ別の表現を考えてみる					Unit 3 Vocabulary～Pre-writing～Drop by～Grammar～Writing Task1-3～Reading Taskまで予習しておく（概ね1時間）					
4	Unit 4 Japanese Corporate Culture Paragraphの基本構造を理解する					Unit 4 Vocabulary～Pre-writing～Drop by～Grammar～Writing Task1-3～Reading Taskまで予習しておく（概ね1時間）					
5	Unit 5 Examination War Topic SentenceからSupporting Sentences					Unit 5 Vocabulary～Pre-writing～Drop by～Grammar～Writing Task1-3～Reading Taskまで予習しておく（概ね1時間）					
6	Unit 6 Uniqueness of Japanese Trains Supporting SentencesからSupports					Unit 6 Vocabulary～Pre-writing～Drop by～Grammar～Writing Task1-3～Reading Taskまで予習しておく（概ね1時間）					
7	Unit 7 The Key to Long Life 本論の展開方法を覚える1：理由や根拠					Unit 7 Vocabulary～Pre-writing～Drop by～Grammar～Writing Task1-3～Reading Taskまで予習しておく（概ね1時間）					
8	Unit 8 Distinct Style or Neglect of Identity 本論の展開方法を覚える2：時系列					Unit 8 Vocabulary～Pre-writing～Drop by～Grammar～Writing Task1-3～Reading Taskまで予習しておく（概ね1時間）					
9	Unit 9 Drinking Rituals 本論の展開方法を覚える3：意見の並列					Unit 9 Vocabulary～Pre-writing～Drop by～Grammar～Writing Task1-3～Reading Taskまで予習しておく（概ね1時間）					
10	後期の学修成果確認（TOEIC IP受験）					TOEIC IPの形式について確認しておく（概ね30分程度）					
11	Unit 10 Traditional Crafts in Japan 序論・本論・結論の役割					Unit 10 Vocabulary～Pre-writing～Drop by～Grammar～Writing Task1-3～Reading Taskまで予習しておく（概ね1時間）					
12	Unit 11 Home Video Game Consoles from Japan 結論を書いてみる					Unit 11 Vocabulary～Pre-writing～Drop by～Grammar～Writing Task1-3～Reading Taskまで予習しておく（概ね1時間）					
13	Unit 12 Onsen Hot Springs 序論を書いてみる					Unit 12 Vocabulary～Pre-writing～Drop by～Grammar～Writing Task1-3～Reading Taskまで予習しておく（概ね1時間）					

回	授業計画	準備学修
14	Unit 13 Folktales: Sensitivity to Thing and Nature 集めた資料からアウトラインを作る	Unit 13 Vocabulary～Pre-writing～Drop by～Grammar～Writing Task1-3～Reading Taskまで予習しておく（概ね1時間）
15	Unit 14 Mythologies and Legends:Sence of Time アウトラインに沿って下書きをしてみる	Unit 14 Vocabulary～Pre-writing～Drop by～Grammar～Writing Task1-3～Reading Taskまで予習しておく（概ね1時間）
教科書	「Writing Skills for Readers～日本文化の再発見から学ぶエッセイの書き方・読み方～」日本英語表現学会テキスト研究部会 2021 南雲堂	
参考文献	授業時に適宜指示する。	
備考	内容の進捗によってシラバスの内容を変更することがあります。 状況により、遠隔授業になる場合があります。 授業内課題（各回の訳等）はLMSに提出してください。コメントをつける形式でフィードバックします。	

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目（実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性）

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング					
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-2-EAD-03					
		●			●						
科目名	Media English				単位 認定者	小松 義隆		評価 の方法	授業内課題等	70	%
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	2年	開講時期	前期	単位数	2 単位		受講態度	30	%
				授業形態	演習	授業時間数	30 時間				
						授業回数	15 回				
授業の概要	本科目は、英語ニュースや英字新聞などを題材として、時事問題に関する英語語彙、英語表現の獲得を目的とする。メディア英語に特有の文法事項、表現や略語等についても学ぶ。 題材としては、BBCやCNNなどの実際のニュース映像を用い、語彙や表現を身につけるだけではなく、リスニングスキルの向上を図っていく。世界の最新ニュースへの関心を高めることも付随した目標である。これに加え、学生が興味をもつニュースや話題なども取り上げていき、選んだ題材を様々な形式で発表することで、学びを深めていく。										
到達目標	米有力紙<i>The Wallstreet Journal</i>中で世界へ「いま一番新しい日本」をレポートしている連載記事Japan Real Timeを題材にメディアの中で使われる英語に親和し、同時にニュースへの関心を高めることが目標である。身近なトピックが英語でどのように伝えられているかを学び、語彙や表現の幅を広げる。										
学修者への 期待等	授業にはテキスト、辞書（言語の学修に辞書は必須）を必ず持参すること。授業の前に必ず予習しておくこと。具体的には、次の授業で学ぶであろう章に目を通し、トピックに関する周辺情報まで調べておくこと。適宜グループワークも行うので積極的に意見を述べること。										
回	授業計画					準備学修					
1	Unit 1 5 Things You Didn't know About Kawaii Kawaiiの美学					NotesやThe Key to Reading Passageを参照しながらChapter 1の内容を予習する。Checking Your Understanding～Listening Summaryまで（概ね1時間）					
2	Unit 2 Uniqlo Finds Wealth of Data in Bangladesh Not-For-Profit Venture ユニクロが蓄積したお宝データ					NotesやThe Key to Reading Passageを参照しながらChapter 1の内容を予習する。Checking Your Understanding～Listening Summaryまで（概ね1時間）					
3	Unit 3 When the B List Is Best 味が勝負のB級グルメ					NotesやThe Key to Reading Passageを参照しながらChapter 1の内容を予習する。Checking Your Understanding～Listening Summaryまで（概ね1時間）					
4	Unit 4 Harvard Degree: The Political Economy of Kumamon くまモンの政治経済学					NotesやThe Key to Reading Passageを参照しながらChapter 1の内容を予習する。Checking Your Understanding～Listening Summaryまで（概ね1時間）					
5	Unit 5 Saving Fukuoka's Street Food 福岡の屋台文化の歴史					NotesやThe Key to Reading Passageを参照しながらChapter 1の内容を予習する。Checking Your Understanding～Listening Summaryまで（概ね1時間）					
6	Unit 6 A Japanese Artist Finds New Life A Year After the Quake ある芸術家の再生と「成長」					NotesやThe Key to Reading Passageを参照しながらChapter 1の内容を予習する。Checking Your Understanding～Listening Summaryまで（概ね1時間）					
7	Unit 7 Fictional Japanese TV Banker Takes Double the Payback ドラマ『半沢直樹』ヒットの要因					NotesやThe Key to Reading Passageを参照しながらChapter 1の内容を予習する。Checking Your Understanding～Listening Summaryまで（概ね1時間）					
8	Unit 8 As Sentiment Improves, Red Lipstick Back in Vogue 赤い口紅と景気の関係					NotesやThe Key to Reading Passageを参照しながらChapter 1の内容を予習する。Checking Your Understanding～Listening Summaryまで（概ね1時間）					
9	Unit 9 Japan's Aging, Female Criminals? 女性受刑者の倍増と犯罪のグローバル化					NotesやThe Key to Reading Passageを参照しながらChapter 1の内容を予習する。Checking Your Understanding～Listening Summaryまで（概ね1時間）					
10	Unit 10 Cult TV Travelogue Lets you Share Wednesday's Ride 『水曜どうでしょう』ロングヒットの秘密					NotesやThe Key to Reading Passageを参照しながらChapter 1の内容を予習する。Checking Your Understanding～Listening Summaryまで（概ね1時間）					
11	Unit 11 Want to Cosplay? Then Lose That Sowrd コスプレを安全に楽しむ方法					NotesやThe Key to Reading Passageを参照しながらChapter 1の内容を予習する。Checking Your Understanding～Listening Summaryまで（概ね1時間）					
12	Unit 12 Fukushima Watch: Who Wrote the New Anti-Nuke Novel? 反原発の新刊本を書いたのは誰？					NotesやThe Key to Reading Passageを参照しながらChapter 1の内容を予習する。Checking Your Understanding～Listening Summaryまで（概ね1時間）					
13	Unit 13 For Some, Scented Fablic Softeners No Laughing Matter 柔軟剤の流行と弊害					NotesやThe Key to Reading Passageを参照しながらChapter 1の内容を予習する。Checking Your Understanding～Listening Summaryまで（概ね1時間）					

回	授業計画	準備学修
14	Unit 14 The 1964 Tokyo Olympics: A Turning Point for Japan オリンピックに見る日本のターニングポイント	NotesやThe Key to Reading Passageを参照しながらChapter 1の内容を予習する。Checking Your Understanding～Listening Summaryまで（概ね1時間）
15	Unit 15 New for Valentine's Day in Japan: No Men バレンタインデーの新潮流	NotesやThe Key to Reading Passageを参照しながらChapter 1の内容を予習する。Checking Your Understanding～Listening Summaryまで（概ね1時間）
教科書	「日本で起きている15のあらゆること」 宮本文 2016 松柏社	
参考文献	授業内で随時指示	
備考	内容の進捗によってシラバスの内容を変更することがあります。 状況により、遠隔授業になる場合があります。 授業内課題（各回の訳等）はLMSに提出してください。コメントをつける形式でフィードバックします。	

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目（実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性）

--

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力	科目ナンバリング CE-2-EAD-05					
		●	●								
科目名	Public Speaking				単位 認定者	ジョーンズ ドミニク		評価 の方法	試験 (DEPA)	30 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	選択	2 年	開講時期	後期	単位数	2 単位		授業内課題	40 %	
					授業形態	演習	授業時間数		30 時間	受講態度	20 %
						授業回数	15 回		オンライン英会話	10 %	
授業の概要	本科目の目的は、「Oral CommunicationⅢ」で培ったスピーキング力を活かし、不特定多数の前でスピーチができるようになることである。まずPublic Speakingの種類とその特性を理解し、効果的なプレゼンテーションを行ううえで、必要不可欠な手法及び表現パターンを学習していく。スピーチやプレゼンテーションのモデルケースを参考に、ビジネスプレゼンテーションを含め学生自らが選んだ題材について、発表するスキルを養うことを企図する。										
到達目標	英語でPublic Speakingを行うための効果的な方法を学びながら、様々なトピックに関する理解を深めるとともに英語能力の向上を目指す。										
学修者への期待等	授業には、テキスト、辞書（言語の学習に辞書は必須）、ノート、ファイル（授業で渡されたプリント等を整理できるもの）を必ず持参すること。また、授業の前に必ず予習しておくこと。具体的には、次の授業で学ぶであろう章に目を通し、分からない語彙があれば辞書で調べておくこと。授業外課題としてオンライン英会話を勉強する。										
回	授業計画					準備学修					
1	英語で自己紹介					英語で自己紹介の準備（概ね30分）					
2	ユニット 1 Posture and Eye Contact					姿勢とアイコンタクト予習（概ね30分）					
3	ユニット 2 Gestures					ジェスチャー予習（概ね30分）					
4	ユニット 3 Voice Inflection					音声活用予習（概ね30分）					
5	ユニット 1～3を踏まえたプレゼンテーション					発表の準備（概ね 1 時間）					
6	ユニット 4 Effective Visuals					効果的なビジュアル予習（概ね30分）					
7	ユニット 5 Explaining Visuals					ビジュアルの説明予習（概ね30分）					
8	ユニット 4～5を踏まえたプレゼンテーション					発表の準備：概ね 1 時間					
9	ユニット 6 The Introduction					発表挨拶イントロダクション習（概ね30分）					
10	ユニット 7 The Body					発表本論予習（概ね30分）					
11	ユニット 6 The Conclusion					発表まとめ予習（概ね30分）					
12	プレゼンテーション準備					発表の準備（概ね 1 時間）					
13	プレゼンテーション発表										
14	Discussion English Proficiency Assessment 準備					疑問点などを質問できるように整理しておくこと（概ね30分）					
15	Discussion English Proficiency Assessment					疑問点などを質問できるように整理しておくこと（概ね30分）					
教科書	「Speaking of Speech Premium Edition」 Charles LeBeau 2021 National Geographic										
参考文献	特になし										
備考	内容の進捗によってシラバスの内容を変更することがあります。状況により、遠隔授業になる場合がある。										

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力	科目ナンバリング CE-2-EAD-13					
		●	●								
科目名	Debating Skills				単位 認定者	ジョーンズ ドミニク		評価の方法	試験（DEPA）	30	%
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	選択	2 年	開講時期	後期	単位数	2 単位		授業内課題	40	%
						授業時間数	30 時間		受講態度	20	%
					授業形態	演習	授業回数		15 回	オンライン英会話	10
授業の概要	本科目はディベートやディスカッションに活用するスキルを学ぶものである。そのスキルとは、帰納的あるいは演繹的な議論上での差異を明らかにし、主張と論証の方法、先入観や事実や意見を明瞭化する手段である。講義では、多岐にわたるトピックの教材を使用する。学生のディベートやクリティカルシンキングの技術を高め、効果的なグループディスカッションやディベートを行うことができるようになる。										
到達目標	英語でDebatingを行うための効果的な方法を学びながら、様々なトピックに関する理解を深めるとともに英語能力の向上を目指す。										
学修者への期待等	積極的に楽しく取り組むことのできる学生の履修を希望する。配付されたプリント教材等を十分に読み、内容を把握した上で授業に臨むこと。学生には積極的な取り組みを期待しています。意見を出し合い高めあうクラスになることを目指しています。授業外課題としてオンライン英会話を学習します。										
回	授業計画					準備学修					
1	ユニット 1 Have An Opinion					授業計画の内容を事前復習を行うこと。（概ね30分程度）					
2	ユニット 2 Explaining Your Opinion					授業計画の内容を事前復習を行うこと。（概ね30分程度）					
3	ユニット 3 Support Your Opinion					授業計画の内容を事前復習を行うこと。（概ね30分程度）					
4	ユニット 1～3を踏まえたディベート					ディベートの準備（概ね 1 時間）					
5	ユニット 4 Organizing Your Opinion					授業計画の内容を事前復習を行うこと。（概ね30分程度）					
6	ユニット 5 Refuting Explanations					授業計画の内容を事前復習を行うこと。（概ね30分程度）					
7	ユニット 4～5を踏まえたディベート					ディベートの準備：概ね 1 時間					
8	ユニット 6 Challenging Supports					授業計画の内容を事前復習を行うこと。（概ね30分程度）					
9	ユニット 7 Organizing Your Refutation					授業計画の内容を事前復習を行うこと。（概ね30分程度）					
10	ユニット 8 Debating An Opinion					授業計画の内容を事前復習を行うこと。（概ね30分程度）					
11	ユニット 9 Discover Debate					授業計画の内容を事前復習を行うこと。（概ね30分程度）					
12	ディベート準備					ディベートの準備（概ね 1 時間）					
13	ディベート発表										
14	Discussion English Proficiency Assessment 準備					疑問点などを質問できるように整理しておくこと（概ね30分）					
15	Discussion English Proficiency Assessment					疑問点などを質問できるように整理しておくこと（概ね30分）					
教科書	「Discover Debate」 Charles LeBeau 1999 Language Solutions										
参考文献	特になし										
備考	内容の進捗によってシラパスの内容を変更することがあります。状況により、遠隔授業になる場合がある。										

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング					
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-2-EAD-07					
		●		●							
科目名	Advanced Reading				単位認定者	金井 典子		評価の方法	試験（中間・期末レポート）	70	%
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	選択	2 年	開講時期	後期	単位数	2 単位		ポスタープレゼンテーション	20	%
					授業形態	演習	授業時間数		30 時間	受講態度	10
							授業回数		15 回		
授業の概要	英語圏で書かれた文学作品を通して、文化や文学世界への興味と関心を広めることを目的とする。学生にとって読みやすく馴染みがあると思われる文学作品を数点取り上げ、その作家の生きた時代や社会背景を学ぶ。原典または簡易版を利用して、内容を読解、鑑賞し、意見交換等を行う。それにより、文学作品の読み方や楽しみ方を学ぶ。内容理解の発展として、映像等の翻案作品を鑑賞し、作品の受容について考える。生涯にわたって読書を楽しむ姿勢を養う。										
到達目標	1. 扱う作家と作品についての概要を理解することができる。 2. 作品内容を理解し、自分の感想や意見を持ち表出することができる。 3. 責任を持って課題に取り組み、成果を示すことができる。										
学修者への期待等	受動的に理解するのではなく、自らの知識と感性で作品に向き合うような学修姿勢を期待する。準備学習に記載の課題を行っていることを前提に授業を進める。ポスタープレゼンテーション、中間レポート、最終レポートは単位修得の必須要件であることを理解し、締め切りに遅れることなく提出する。										
回	授業計画					準備学修					
1	授業の進め方・ルールについて 作家Oscar Wildeと作品Happy Princeについて（講義）					予習としてVocabulary Sectionを完成させ、前半部を読解する。（概ね30分程度）					
2	Happy Prince Part 1 (Listening、Reading、What do you think?) 個人ワークと意見交換ディスカッション					予習としてVocabulary Sectionを完成させ、後半部を読解する。（概ね30分程度）					
3	Happy Prince Part 2 (Listening、Reading、What do you think?) 個人ワークと意見交換ディスカッション。					予習として指定された範囲のテキストを読み、語彙の確認、内容を理解する。（概ね40分程度）					
4	Happy Prince_Original Textの読解① 風景描写について					予習として指定された範囲のテキストを読み、語彙の確認、内容を理解する。（概ね40分程度）					
5	Happy Prine_Original Textの読解② 心理描写について					予習として指定された範囲のテキストを読み、語彙の確認、内容を理解する。（概ね40分程度）					
6	Happy Prince_Original Textの読解③ 愛の形について					予習として指定された範囲のテキストを読み、語彙の確認、内容を理解する。（概ね40分程度）					
7	Happy Prince_Original Textの読解④ 他作品との比較（The Nightingale and the Rose）					予習として指定された範囲のテキストを読み、語彙の確認、内容を理解する。（概ね40分程度）					
8	Happy Prince 翻案作品の鑑賞					中間レポートを期日までに提出する。（概ね120分程度）					
9	Happy Prince ポスタープレゼンテーション の準備					時間内に完成しない場合、発表ポスターを仕上げる。（概ね60分程度）					
10	Happy Prince ポスタープレゼンテーション（意見交換）										
11	Klara and the Sun (Kazuo Ishiguro) 作家：Kazuo Ishiguro について										
12	Klara and the Sun 読解① 近未来小説について					予習として指定された範囲のテキストを読み、語彙の確認、内容を理解する。（概ね40分程度）					
13	Klara and the Sun 読解② Protagonistの視点について					予習として指定された範囲のテキストを読み、語彙の確認、内容を理解する。（概ね40分程度）					
14	Klara and the Sun 読解③ “lifted” / “unlifted” 階層について					予習として指定された範囲のテキストを読み、語彙の確認、内容を理解する。（概ね40分程度）					
15	Klara and the Sun 読解④ 本作のテーマについて（Artificial Friends, Artificial Intelligence）					予習として指定された範囲のテキストを読み、語彙の確認、内容を理解する。（概ね40分程度）					
教科書	使用しない。（ハンドアウトを使用する）										
参考文献	Kazuo Ishiguro、Klara and the Sun. (Faber & Faber、2021)										
備考	ポスタープレゼンテーションは授業内で講評、中間レポートは返却する。状況により遠隔授業になる可能性がある。										

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目（実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性）

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力	科目ナンバリング CE-2-EAD-08					
		●			●						
科目名	English for Tourism				単位 認定者	金井 典子		評価の方法	試験(筆記試験)	60	%
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	選択	2 年	開講時期	前期	単位数	2 単位		授業内課題	30	%
						授業時間数	30 時間		受講態度	10	%
					授業形態	演習	授業回数		15 回		
授業の概要	本科目の目的は、近年増加の一途を辿っている訪日観光客に対応するための英語力及びコミュニケーション能力を培うことである。空港や駅、ホテル、商業施設など、観光・旅行などの現場で必要とされる英単語や英語表現を学ぶ。また、旅行時の病気・けが等に対応するための表現も学修する。 特に、リスニング力とスピーキング力を向上させ、世界の様々な地域からの観光客に対応できることを企図する。観光案内等のロールプレイングも取り入れ、実践的に学修する。										
到達目標	1. 観光に関する表現・語彙を理解し、観光英検2級レベルの問題に対応することができる。 2. インバウンドツーリズム、コロナ禍のツーリズムに関心を持ち、日々のニュース等から、自ら知識や興味の幅を広げることができる。										
学修者への期待等	教科書は個々に書店等で購入すること（3回目までに用意する）。受け身ではなく積極的に学修し、テキスト外の社会事象にも関心を持つことを期待する。学修成果の確認として、観光英語検定2級（準2級）の受験を薦める。										
回	授業計画					準備学修					
1	授業の進め方(予習・復習)の確認 Unit 1(旅行情報)の学修：リスニング、リーディング、和英翻訳。					復習としてVocabulary to Remember をQuizletを利用し、学修する（概ね40分程度）。予習として次ユニットのリスニング問題に回答する（概ね30分程度）。					
2	Unit 2(空港にて)の学修：ダイアログ、リスニング、リーディング、和英翻訳					復習としてVocabulary to Remember をQuizletを利用し、学修する（概ね40分程度）。予習として次ユニットのリスニング問題に回答する（概ね30分程度）。					
3	Unit 3 (ホテル)の学修：ロールプレイ、リスニング、リーディング、和英翻訳					復習としてVocabulary to Remember をQuizletを利用し、学修する（概ね40分程度）。予習として次ユニットのリスニング問題に回答する（概ね30分程度）。					
4	観光英語検定2級の過去問題に挑戦する。(2020年度問題)										
5	Unit 4 (食事)の学修：ロールプレイ、リスニング、リーディング、和英翻訳					復習としてVocabulary to Remember をQuizletを利用し、学修する（概ね40分程度）。予習として次ユニットのリスニング問題に回答する（概ね30分程度）。					
6	Unit 5 (道案内)の学修：ロールプレイ、リスニング、リーディング、和英翻訳					復習としてVocabulary to Remember をQuizletを利用し、学修する（概ね40分程度）。予習として次ユニットのリスニング問題に回答する（概ね30分程度）。					
7	Unit 6(バスと電車)の学修：ダイアログ、リスニング、リーディング、和英翻訳					復習としてVocabulary to Remember をQuizletを利用し、学修する（概ね40分程度）。予習として次ユニットのリスニング問題に回答する（概ね30分程度）。					
8	Unit 1～ Unit 6のTravemaniaを参考に、担当した観光地情報をパンフレット化し、発表する。					観光地について調べ、パンフレットの作成および発表の準備をする（概ね60分程度）。					
9	観光英語検定2級の過去問題に挑戦する。(2021年度問題)										
10	Unit 7 (郵便と両替)の学修：ダイアログ、リスニング、リーディング、和英翻訳					復習としてVocabulary to Remember をQuizletを利用し、学修する（概ね40分程度）。予習として次ユニットのリスニング問題に回答する（概ね30分程度）。					
11	Unit 8 (観光-1)の学修：リスニング、リーディング、和英翻訳					復習としてVocabulary to Remember をQuizletを利用し、学修する（概ね40分程度）。予習として次ユニットのリスニング問題に回答する（概ね30分程度）。					
12	Unit 9 (観光-2)の学修：リスニング、リーディング、和英翻訳					復習としてVocabulary to Remember をQuizletを利用し、学修する（概ね40分程度）。予習として次ユニットのリスニング問題に回答する（概ね30分程度）。					
13	Unit 10 (トラブルと苦情)の学修：ダイアログ、リスニング、リーディング、和英翻訳					復習としてVocabulary to Remember をQuizletを利用し、学修する（概ね40分程度）。予習として次ユニットのリスニング問題に回答する（概ね30分程度）。					
14	Unit 11 (ツアーコンダクターの職務)の学修：リスニング、リーディング					復習としてVocabulary to Remember をQuizletを利用し、学修する（概ね40分程度）。予習として次ユニットのリスニング問題に回答する（概ね30分程度）。					
15	Unit 7からUnit 12のTravemaniaを参考に、担当した観光地情報をパンフレット化し、発表する。					観光地について調べ、パンフレットの作成および発表の準備をする（概ね60分程度）。					
教科書	「English for Tourism:Intermediate (ステップアップ観光英語)」観光英検センター編 三修社										
参考文献	授業時に紹介する。										
備考	各回の単語学修にはQuizlet (アプリ) を使用する。受講生の理解度により、重点の置き方や順番を変えて実施する場合もある。状況により遠隔授業になる場合がある。										
※以下は該当者のみ記載する。											
実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)											

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力	科目ナンバリング CE-2-EAD-10					
		●			●						
科目名	Cinema English				単位 認定者	スミス アンソニー		評価の 方法	試験（筆記）	60	%
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	選択	2 年	開講時期	後期	単位数	2 単位		授業内課題	20	%
					授業形態	演習	授業時間数		30 時間	受講態度	20
							授業回数		15 回		
授業の概要	本科目の目的は、「映画英語」を通して、近現代の英語表現を理解することである。言葉は常に変化していくものであり、特に現代においては瞬く間に古い表現が変わっていく。その意味で「映画英語」は如実に時代を反映していると言える。はじめは字幕なしで、次は字幕ありで、聞き取れないところは何度も繰り返し流し、台詞を暗記に近い状態で覚え、その表現を自分のものにしていく。また、映画に描かれている文化背景についても、理解を深めることを目標とする。										
到達目標	自然な英語でのやりとりや表現を覚えると同時に、言語の背景となる文化や歴史への関心と理解を得る。さらに内容に関するディスカッションを行う。										
学修者への 期待等	授業には、テキスト、辞書（言語の学修に辞書は必須）、ノート、ファイル（授業で渡されたプリント等を整理できるもの）を必ず持参すること。また、授業の前に必ず予習しておくこと。具体的には、次の授業で学ぶであろう章に目を通し、分からない語彙があれば辞書で調べておくこと。										
回	授業計画					準備学修					
1	映画 “Forrest Gump” の概要について										
2	Unit 1. The Ku Klux Klan—An Evil Shadow from the South					語彙チェック問題（10分）内容把握問題（10分）リスニング問題（10分）リーディング問題（20分）概ね50分					
3	Unit 2. Elvis Presley—The Birth of the King of Rock’n’Roll					語彙チェック問題（10分）内容把握問題（10分）リスニング問題（10分）リーディング問題（20分）概ね50分					
4	Unit 3. John F. Kennedy—The Hopes and Death of a Young President					語彙チェック問題（10分）内容把握問題（10分）リスニング問題（10分）リーディング問題（20分）概ね50分					
5	Unit 4. The Folk Song Movement—The Acoustic Protest of New Music					語彙チェック問題（10分）内容把握問題（10分）リスニング問題（10分）リーディング問題（20分）概ね50分					
6	Unit 5. The Vietnam War—America Gets Bogged Down in Southeast Asia					語彙チェック問題（10分）内容把握問題（10分）リスニング問題（10分）リーディング問題（20分）概ね50分					
7	Unit 6. Vietnam War Veterans and PTSD—Suffering from Dreadful Memories					語彙チェック問題（10分）内容把握問題（10分）リスニング問題（10分）リーディング問題（20分）概ね50分					
8	Unit 7. Hippies—The Love and Peace Campaigns of Flower Children					語彙チェック問題（10分）内容把握問題（10分）リスニング問題（10分）リーディング問題（20分）概ね50分					
9	Unit 8. John Lennon—A Fab Beatle Who Shook America					語彙チェック問題（10分）内容把握問題（10分）リスニング問題（10分）リーディング問題（20分）概ね50分					
10	Unit 9. Watergate—All the President’s Scandal					語彙チェック問題（10分）内容把握問題（10分）リスニング問題（10分）リーディング問題（20分）概ね50分					
11	Unit 10. Apple Computer—A Venture That Bore Big Fruit					語彙チェック問題（10分）内容把握問題（10分）リスニング問題（10分）リーディング問題（20分）概ね50分					
12	Unit 11. Bicentennial Celebrations—Happy Birthday, America!					語彙チェック問題（10分）内容把握問題（10分）リスニング問題（10分）リーディング問題（20分）概ね50分					
13	Unit 12. AIDS—The Fight Against a Deadly Disease					語彙チェック問題（10分）内容把握問題（10分）リスニング問題（10分）リーディング問題（20分）概ね50分					
14	Unit 1 から Unit 6 までの内容に関する要約					要約作成（概ね30分）					
15	Unit 7 から Unit 12 までの内容に関する要約					要約作成（概ね30分）					
教科書	プリント配布										
参考文献	必要に応じて授業内で指示する。										
備考	状況により遠隔授業に変更する場合がある。										

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目（実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性）

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング					
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-2-EAD-11					
		●			●						
科目名	Drama Workshop				単位認定者	金井 典子		評価の方法	試験 (レポート)	30	%
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	選択	2 年	開講時期	前期	単位数	2 単位		授業内課題	40	%
					授業時間数	30 時間	参加態度		30	%	
				授業形態	演習	授業回数	15 回				
授業の概要	今まで学修した英語コミュニケーション力を総合的に活用して、リーディングシアター、ショートプレイ、ミュージカルパフォーマンス等、英語でのパフォーマンスを作成し、発信することを目的とする。パフォーマンスを作成する際には、聴衆を意識し、いかに伝えるかということを考えることが必要であり、コミュニケーションの学びを深めることとなる。併せて、人前で英語で演技をすることで、英語を話すことへの自信をつけることにもつながる。大人数で一つのパフォーマンスを作り上げることにより、チームで協力する姿勢も培う。										
到達目標	1. 英語演劇に取り組むことで、英語による表現力を鍛え、発表に足るパフォーマンスをすることができる。 2. 履修生全員で一つの作品を作り上げることで、チームで働く力、意思決定の方法を身につける。 3. オリンピックの歴史を知り、背景知識を深める。										
学修者への期待等	15回の授業以外にも、準備や練習に自主的に活動する必要があることを理解し履修すること。達成感のあるプロジェクトにするため、チームで結束する協調性を示すことを期待する。										
回	授業計画					準備学修					
1	授業の進め方、履修にあたっての心構え Drama Activity、Sherlock Holmesについて										
2	原作ストーリー“The Adventure of the Speckled Band”の理解					予習として、“The Adventure of the Speckled Band”を読み、内容を理解しておく（概ね40分）。					
3	Script (Scholastics)版の内容理解：編集										
4	舞台化のアイデア出し、グループディスカッション					予習として、Scriptを読み直し、舞台化するためのイメージを書き出してくる（概ね30分程度）。					
5	舞台化への役割決め（演者と裏方）、グループディスカッション										
6	Script の音読、プロソディ学修										
7	Stage Directionを決める。グループディスカッション					予習として、ディレクターの視点で、舞台構成を考えてくる（概ね30分程度）。					
8	Props、Costumes、Soundの決定、準備、グループディスカッション					予習として、舞台に必要な道具・衣装・音響等を考えてくる（概ね30分程度）。					
9	セリフ合わせ（演者） Props、Costumes、Sound 準備（裏方）					予習として、演者はセリフの表現方法の工夫、裏方は準備を進める（概ね30分程度）。					
10	Stagingでのセリフ合わせ（演者） Props、Costumes、Sound 準備（裏方）					個々の役割を完成形に近づける（概ね30分程度）。					
11	通し稽古：問題点を見つける グループディスカッション					個々の役割を完成形に近づける（概ね30分程度）。					
12	修正点の改善：通し稽古からの修正をほどこす。					個々の役割を完成形に近づける（概ね30分程度）。					
13	リハーサル：本番を想定した通し稽古をする。					個々の役割を完成形に近づける（概ね30分程度）。					
14	発表：学内から観客を招き、発表する。										
15	振り返り：Drama制作と英語学修について グループディスカッションと発表										
教科書	handoutを利用する。“Sherlock Holmes and the Midnight Killer” Scholastic Action 2020 Springより The Adventure of the Speckled Band. (Xreading収録)										
参考文献	授業時に適宜指示する。										
備考	状況により、遠隔授業になる場合がある。アクティビティが多いので、常に動きやすい服装で参加する。										

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-3-RCO-04				
			●		●					
科目名	観光ビジネス論				単位認定者	成澤 広幸		評価の方法	試験（筆記）	50 %
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	必修	1 年	開講時期	後期	単位数	2 単位		授業内課題	30 %
	現代英語学科	選択	2 年			授業時間数	30 時間		受講態度	20 %
				授業形態	講義	授業回数	15 回			
授業の概要	観光事業は、観光政策のように国や地方公共団体などが公共目的で実施するマクロ的なものと、個々の企業や組織が営利または非営利の目的をもって行うミクロ的なものとに分けられる。本科目では、企業や組織の営む観光ビジネスの全体像について概観する。具体的には、観光ビジネスの基本である移動と宿泊、観光地での諸活動、それらの仲介サービスにおいて、それらの企業や組織がいかなるビジネスモデルに則って事業活動を展開しているかについて、豊富な事例研究を交えながら理解を深める。									
到達目標	様々な組織や団体の観光事業について概略を理解し、社会との関わりの中でどのような役割を果たしているのかを説明できるようになる。									
学修者への期待等	観光ビジネスは個別的な観光活動が対象ですが、難しく考えないで、身近な観光キャンペーンや地域おこしなどで観光が果たしている役割を考えれば、この授業はわかりやすくなります。									
回	授業計画					準備学修				
1	観光ビジネスのマネジメント特性：TDRのマネジメント					TDRのマネジメントのどこが優れているのかを考えておいてください。 予習：概ね20分。復習：概ね20分。				
2	観光ビジネスのイノベーション：楽天トラベル					旅行業における販売方法の進化について理解しておいてください。 予習：概ね20分。復習：概ね20分。				
3	観光ビジネスのグローバル経営：H. I. S.					H. I. S. の海外戦略について理解しておいてください。予習：概ね20分。復習：概ね20分。				
4	観光のマーケティング：下関観光コンベンション協会					地域の観光マーケティングを事例に則して考えておいてください。 予習：概ね20分。復習：概ね20分。				
5	観光とWebビジネス：エキスペディア					エキスペディアのマーケティングの特徴を理解しておいてください。 予習：概ね20分。復習：概ね20分。				
6	旅行業：JTB					JTBの業務内容の変遷について調べておいてください。 予習：概ね30分。復習：概ね20分。				
7	宿泊業：星野リゾート					星野リゾートの方向性を調べておいてください。予習：概ね20分。復習：概ね20分。				
8	航空輸送業：ANA					レベニュー・マネジメントの例をANA以外でも調べておいてください。 予習：概ね30分。復習：概ね20分。				
9	鉄道ビジネス：JR九州					JR九州の活躍の理由を考えておいてください。 予習：概ね20分。復習：概ね20分。				
10	テーマパーク：ハウステンボス					なぜリピーターになるのかを考えておいてください。予習：概ね20分。復習：概ね20分。				
11	グローバル時代の地域観光インフラ：統合型リゾート（IR）					IRの必要性について考えておいてください。 予習：概ね20分。復習：概ね20分。				
12	地域のインバウンド事業：九州オルレ					なぜ九州オルレが成功したか考えていてください。 予習：概ね20分。復習：概ね20分。				
13	観光地の集客イベント事業：長崎さるく					故郷で観光を軸とした地域おこしをするとすれば何が必要かを考えておいてください。 予習：概ね20分。復習：概ね20分。				
14	地域ブランドの構築：宇都宮市					事例を参考に故郷の地域ブランドは何かを考えておいてください。 予習：概ね20分。復習：概ね20分。				
15	新しい旅行スタイル：進化する旅行者ニーズと観光創造					日本内外の観光行動についてのニュース、話題などに注意しておいてください。 予習：概ね20分。復習：概ね20分。				
教科書	特になし									
参考文献	高橋一夫その他『1からの観光事業論』碩学社。高橋一夫その他『1からの観光』碩学社。北川宗忠『現代の観光事業』ミネルヴァ書房。長谷政弘『観光ビジネス論』同友館。									
備考	原則として事前にLMSに授業ファイルをアップロードするので、事前学修及び復習をしてください。LMSなどで課題の提出を行う予定です。 なお、本科目は2クラスに分けて実施します。									

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目（実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性）

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング					
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-3-RCO-08					
				●	●						
科目名	フランス語Ⅱ				単位認定者	野中 みどり		評価の方法	小テスト	30	%
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	選択	2年	開講時期	前期	単位数	1 単位		提出物	30	%
						授業時間数	30 時間		授業内の作業	20	%
					授業形態	演習	授業回数		15 回	確認小テスト	20
授業の概要	フランス語Ⅰに続き、フランス語でコミュニケーションを図るための学修を行う。既習の単語や表現を定着させ、さらに動詞や表現を増強する。教科書に沿い、自己表現の方法を学修し、グループワークで自由な練習を行い、内容の理解と応用を図る。トレーニングとして、発音練習、動詞の活用、単語の小テスト、数字や表現の聞き取りチェックを実施する。フランス語Ⅰと同様、日常表現を紹介し、平易な会話なら自発的に行うことができることを目指す。										
到達目標	①フランス語の発音と文法のルールを理解し実際に使うことができる。 ②モデル会話にしたがって自己表現の方法を身につけ、それらを用いて簡単な会話なら自発的に行うことができる。 ③家族や友人のこと、さらに自分の希望や理由などを表現し、同様の相手の話を理解できる。 ④簡単な挨拶や日常表現を覚えて使えるようになるとともにフランスの文化や社会について知識を得る。										
学修者への期待等	授業で指示された単語リストや表現を覚えて小テストに臨み、それらの単語や動詞を次の会話で使えるように練習してください。授業内では積極的に発音・会話練習に参加し、授業後はモデル会話を復習して学んだ表現を毎回ノートにまとめてください。										
回	授業計画					準備学修					
1	先に学習した内容の復習。7課(1) 学習：モデル会話「時刻の表現」、疑問詞quel。グループワーク(以下g)：会話練習。トレーニング(以下t)：発音、聞き取り。					指示された課題を提出できるよう準備しておく(概ね2時間)。					
2	7課(2) 学習：モデル会話「時刻の表現」、ir動詞の活用。g：会話練習、活用練習。t：活用、発音、聞き取り。					練習問題を解く、小テストに向けてir型動詞の活用を覚える(概ね1時間)。					
3	7課(3) 学習：モデル会話「時刻の表現」、疑問詞「何を」、動詞の活用。g：会話練習、活動の語彙。t：活用、発音、聞き取り。					7課を復習して練習問題を解く。小テストに向けて数字と動詞の活用を復習する(概ね2時間)。					
4	8課(1) 学習：モデル会話「予定・したいこと」、近接未来、動詞の活用。g：会話練習、乗り物の語彙。t：活用、発音、聞き取り。					練習問題を解く、小テストに向けて動詞faireの活用を覚える(概ね1時間)。					
5	8課(2) 学習：モデル会話「終えたこと・できること」、近接過去、動詞の活用。g：会話練習、旅行の語彙。t：発音、聞き取り。					練習問題を解く、小テストに向けて動詞の活用を復習する(概ね1時間)。					
6	8課(3) 学習：モデル会話「理由・痛い所を言う」、avoir使った表現。g：会話練習、身体部位。t：活用、発音、聞き取り。					8課を復習して練習問題を解く。小テストに向けて動詞の活用を覚える(概ね2時間)。					
7	9課(1) 学習：モデル会話「日常の行動」、代名動詞、指示形容詞。g：会話練習、行動の語彙。t：発音、聞き取り。					練習問題を解く、小テストに向けてavoir使った表現を復習する(概ね1時間)。					
8	9課(2) 学習：モデル会話「天気を言う」、非人称表現。g：会話練習、時の表現の語彙。t：活用、発音、聞き取り。					9課を復習して練習問題を解く。小テストに向けて代名動詞の活用を覚える(概ね2時間)。					
9	10課(1) 学習：モデル会話「場所を言う」、定冠詞の縮約。g：会話練習、位置を表す語彙。t：語彙、発音、聞き取り。					練習問題を解く、小テストに向けて天気表現を復習する(概ね1時間)。					
10	10課(2) 学習：モデル会話「道順を教える」、命令形。g：会話練習、行き方の語彙。t：語彙、発音、聞き取り。					練習問題を解く、小テストに向けて位置を表す表現を復習する(概ね1時間)。					
11	10課(3) 学習：モデル会話「道順を教える」、命令を表す他の表現。g：会話練習、場所の語彙。t：語彙、発音、聞き取り。					10課を復習して練習問題を解く。小テストに向けて場所に関する名詞を覚える(概ね2時間)。					
12	11課(1) 学習：モデル会話「過去のことを言う1」、複合過去形1。g：会話練習、過去分詞の語彙。t：活用、発音、聞き取り。					練習問題を解く、小テストに向けて動詞avoirの活用を復習する(概ね1時間)。					
13	11課(2) 学習：モデル会話「様々な否定表現」、否定表現、中性代名詞en。g：会話練習、代名詞を使う。t：発音、聞き取り。					11課を復習して練習問題を解く。小テストに向けて過去分詞の音と意味を覚える(概ね2時間)。					
14	12課(1) 学習：モデル会話「過去のことを言う2」、複合過去形2。g：会話練習、過去分詞の語彙。t：活用、発音、聞き取り。					練習問題を解く、小テストに向けて動詞の活用を復習する(概ね1時間)。					
15	表現と数字の確認小テスト、12課(2) 学習：中性代名詞y、代名詞のまとめ。g：会話練習、代名詞を使う。t：発音、聞き取り。					確認テストに向けて表現の復習をする、12課を復習して練習問題を解く(概ね2時間)。					
教科書	「Salut、tout facile! やさしいサリュ(改訂版)」田辺保子 他著 駿河台出版社										
参考文献	仏和辞書(電子辞書も含む)。初回授業で簡単な案内を聞いた後、必要場合は購入してください。 NHK Eテレ「旅するためのフランス語」 放送：木曜日23:30から23:55 再放送：翌週月曜日午前6:00から6:25 (番組名や放送時間については現時点のもので、今後変更になる可能性があります)。										
備考	【小テスト】実施後に解答解説し、採点結果を次の回で返却する。関わる達成目標は①、評価の基準は解答の正確性100%。 【提出物および授業内の作業】添削して次の回で返却する。関わる達成目標は②③、評価の基準は解答の適切さ50%、理解度50%。 【確認小テスト】実施後に解答解説する。関わる達成目標は④、評価の基準は解答の正確性100%。										

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力	科目ナンバリング CE-4-ESE-04					
		●	●	●	●						
科目名	総合演習Ⅱ				単位 認定者	スミス アンソニー		評価 の方法	試験 (レポート)	60	%
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	2年	開講時期	前期	単位数	1 単位		授業内課題等	20	%
						授業時間数	30 時間		受講態度	20	%
					授業形態	演習	授業回数		15 回		
授業の概要	本科目では、1年次の学修を基に、自分で考え、課題を発見し、解決する力、情報や異文化、他者の考えなどを理解する力を総合的に育成することを目指す。少人数のゼミを編成し、英語力、 コミュニケーション力、プレゼンテーション力、を深化させ、自主的にスキルアップを目指す姿勢を涵養する。										
到達目標	アメリカの歴史、および文化に対する基本的な知識を得る。										
学修者への期待等	配付されたプリント教材等を十分に読み、内容を把握した上で授業に臨むこと。										
回	授業計画					準備学修					
1	The Age of Hate: Re-Uniting the United States					プリント “The Age of Hate: Re-Uniting the United States” について予習しておくこと。（概ね60分）					
2	”Go West Young Man, and Grow Up with the Country”					プリント “Go West Young Man, and Grow Up with the Country” について予習しておくこと。（概ね60分）					
3	Following the God of Fortune					プリント “Following the God of Fortune” について予習しておくこと。（概ね60分）					
4	A Problem with Indians					プリント “A Problem with Indians” について予習しておくこと。（概ね60分）					
5	Freedom in a Changing World					プリント “Freedom in a Changing World” について予習しておくこと。（概ね60分）					
6	Yankee Ingenuity in Motion					プリント “Yankee Ingenuity in Motion” について予習しておくこと。（概ね60分）					
7	America, the World Power					プリント “America, the World Power” について予習しておくこと。（概ね60分）					
8	Woodrow Wilson and War					プリント “Woodrow Wilson and War” について予習しておくこと。（概ね60分）					
9	From the Roaring Twenties…					プリント “From the Roaring Twenties…” について予習しておくこと。（概ね60分）					
10	…To the Depression in the 1930’s					プリント “…To the Depression in the 1930’s” について予習しておくこと。（概ね60分）					
11	Franklin Delano Roosevelt and the New Deal					プリント “Franklin Delano Roosevelt and the New Deal” について予習しておくこと。（概ね60分）					
12	”They’ve Bombed Pearl Harbor!”					プリント”They’ve Bombed Pearl Harbor!” について予習しておくこと。（概ね60分）					
13	The Cold War					プリント “The Cold War” について予習しておくこと。（概ね60分）					
14	John F. Kennedy and the New Frontier					プリント “John F. Kennedy and the New Frontier” について予習しておくこと。（概ね60分）					
15	”We Shall Overcome!”					プリント “We Shall Overcome!” について予習しておくこと。（概ね60分）					
教科書	プリント教材										
参考文献	授業内で適宜紹介する。										
備考	状況により遠隔授業に変更する場合がある。										
※以下は該当者のみ記載する。											
実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)											

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力	科目ナンバリング CE-4-ESE-04					
		●	●	●	●						
科目名	総合演習Ⅱ				単位 認定者	ジョーンズ ドミニク		評価 の 方法	試験 (レポート)	40	%
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	2年	開講時期	前期	単位数	1 単位		授業内課題等	30	%
						授業時間数	30 時間		受講態度	30	%
					授業形態	演習	授業回数		15 回		
授業の概要	本科目では、1年次の学修を基に、自分で考え、課題を発見し、解決する力、情報や異文化、他者の考えなどを理解する力を総合的に育成することを目標とする。少人数のゼミを編成し、英語力、 コミュニケーション力、 プレゼンテーション力、を深化させ、自主的にスキルアップを目指す姿勢を涵養する。										
到達目標	この授業の目標は、思考、目標設定、コミュニケーション、問題解決のライフスキルを高め、基本的な知識と理解を深めることにある。										
学修者への 期待等	積極的に楽しく取り組むことのできる学生の履修を希望する。配付されたプリント教材等を十分に読み、内容を把握した上で授業に臨むこと。ゼミ生には積極的な取り組みを期待しています。意見を出し合い高めあうゼミになることを目指しています。										
回	授業計画					準備学修					
1	Goal setting					Goal settingの予習 (概ね30分) 復習 (概ね20分)					
2	Affirmations					Affirmationsの予習 (概ね30分) 復習 (概ね20分)					
3	Mindfulness					Mindfulnessの予習 (概ね30分) 復習 (概ね20分)					
4	Mindset					Mindsetの予習 (概ね30分) 復習 (概ね20分)					
5	Grit					Gritの予習 (概ね30分) 復習 (概ね20分)					
6	プレゼンテーションⅠ (1) Presentation preparation					発表の準備をしてきてください (概ね1時間)					
7	プレゼンテーションⅠ (2) Presentation										
8	Be Brave					Be Braveの予習 (概ね30分) 復習 (概ね20分)					
9	Scraper Silver Spoon					Scraper Silver Spoonの予習 (概ね30分) 復習 (概ね20分)					
10	Design Thinking					Design Thinkingの予習 (概ね30分) 復習 (概ね20分)					
11	Applied Design Thinking					Applied Design Thinkingの予習 (概ね30分) 復習 (概ね20分)					
12	フィールドワーク 学外イベント					(予習) フィールドワークの行き先について考えてくる。(概ね30分程度)					
13	Extreme Ownership					Extreme Ownershipの予習 (概ね30分) 復習 (概ね20分)					
14	プレゼンテーションⅡ (1) Presentation preparation					発表の準備をしてきてください (概ね1時間)					
15	プレゼンテーションⅡ (2) Presentation										
教科書	適宜、資料を配布する。										
参考文献	授業内で適宜紹介する。										
備考	状況により、遠隔授業になる場合がある。授業内容には若干の変更がある場合があります。										

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力	科目ナンバリング CE-4-ESE-04					
		●	●	●	●						
科目名	総合演習Ⅱ				単位 認定者	金井 典子		評価 の方法	試験 (レポート)	40	%
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	2年	開講時期	前期	単位数	1 単位		授業内課題	40	%
						授業時間数	30 時間		受講態度	20	%
					授業形態	演習	授業回数		15 回		
授業の概要	本科目では、1年次の学修を基に、自分で考え、課題を発見し、解決する力、情報や異文化、他者の考えなどを理解する力を総合的に育成することを目指す。少人数のゼミを編成し、英語力、 コミュニケーション力、 プレゼンテーション力、を深化させ、自主的にスキルアップを目指す姿勢を涵養する。										
到達目標	・声による表現を主眼としたプロジェクトに取り組み、自身の英語力の向上に努める。 ・英語のプロソディを理解し、自信の発話についても意識して応用することができる。 ・プロジェクト活動により、チームで働く力を培い、発揮する。										
学修者への期待等	前期はpodcast番組を作成します。クリエイティブな活動のため、ゼミ生には積極的な取り組みを期待しています。意見を出し合い高めあうゼミになることを目指しています。										
回	授業計画					準備学修					
1	ゼミの目的、進め方。個人の目標設定。Podcase project要。プロソディ学修①音の連結、音の脱落					【事後】プロソディ学修：指定の箇所を音読しLMSに提出（概ね30分程度）。					
2	(podcast project) 番組構成 ディスカッション プロソディ学修②わたり音、音の同化					【事後】プロソディ学修：指定の箇所を音読しLMSに提出（概ね30分程度）。					
3	(podcast project) 素材選択 ディスカッション プロソディ学修③母音の発音(a/i/u)					【事後】プロソディ学修：指定の箇所を音読しLMSに提出（概ね30分程度）。Podcast：選んだ素材を再考する（概ね30分程度）。					
4	(podcast project) 原稿作成 ディスカッション プロソディ学修③母音の発音(短母音、長母音					【事後】プロソディ学修：指定の箇所を音読しLMSに提出（概ね30分程度）。Podcast：原稿が未完成の場合は完成させる（概ね60分程度）。					
5	(podcast project) 原稿修正 ディスカッション プロソディ学修④子音の発音(t/l/r)					【事後】プロソディ学修：指定の箇所を音読しLMSに提出（概ね30分程度）。Podcast：修正原稿を読み込んでおく（概ね30分程度）。					
6	(podcast project) 表現の工夫 ディスカッション プロソディ学修⑤子音の発音(v/th/s/z)					【事後】プロソディ学修：指定の箇所を音読しLMSに提出（概ね30分程度）。Podcast：原稿音読の練習をする（概ね60分程度）。					
7	(podcast project) 音声録音 プロソディ学修⑥子音の発音(m/n/ng)					【事後】プロソディ学修：指定の箇所を音読しLMSに提出（概ね30分程度）。					
8	(podcast project) 作品の編集 ディスカッション プロソディ学修⑦子音の発音(h/k/g/ng)					【事後】プロソディ学修：指定の箇所を音読しLMSに提出（概ね30分程度）。Podcast：編集箇所に応じて、再練習を行う（概ね30分程度）。					
9	(podcast project) 録音の再調整 ディスカッション プロソディ学修⑧長い語句のアクセント					【事後】プロソディ学修：指定の箇所を音読しLMSに提出（概ね30分程度）。					
10	(podcast project) 完成品の評価 プロソディ学修⑨リズムカルに読む					【事後】プロソディ学修：指定の箇所を音読しLMSに提出（概ね30分程度）。					
11	(podcast project) プロジェクトの学びの評価 ディスカッション プロソディ学修⑩態度・感情を表すイントネーション					【事後】プロソディ学修：指定の箇所を音読しLMSに提出（概ね30分程度）。					
12	("Poupelle" project) 作品の理解 "Poupelle of Chimney Town"の読解① 作品のテーマ ディスカッション					【事後】Poupelle：作品を再度読み、内容を熟考する（概ね30分程度）。					
13	("Poupelle" project) 作品の理解 "Poupelle of Chimney Town"の読解② 登場人物の役割 ディスカッション					【事後】Poupelle：作品を再度読み、内容を熟考する（概ね30分程度）。					
14	("Poupelle" project) アダプテーションの検討 ディスカッション										
15	("Poupelle" project) 総合演習Ⅲへの抱負と計画					期末レポート執筆（概ね60分程度）。					
教科書	必要に応じて、別途購入の指示をする。										
参考文献	「えんとつ町のプペル」にしのあきひろ 幻冬舎 「Sounds Like American」Ann Cook Cengage Learning										
備考	状況により、遠隔授業になる場合がある。LMSに提出の音声課題は、LMS上でコメントと評価のフィードバックを行う。										
※以下は該当者のみ記載する。											
実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)											

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング					
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-4-ESE-04					
		●	●	●	●						
科目名	総合演習Ⅱ				単位認定者	小松 義隆		評価の方法	試験 (レポート)	60	%
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	2年	開講時期	前期	単位数	1 単位		授業内課題等	10	%
						授業時間数	30 時間		受講態度	30	%
					授業形態	演習	授業回数		15 回		
授業の概要	本科目では、1年次の学修を基に、自分で考え、課題を発見し、解決する力、情報や異文化、他者の考えなどを理解する力を総合的に育成することを目指す。少人数のゼミを編成し、英語力、 コミュニケーション力、 プ レゼンテーション力、を深化させ、自主的にスキルアップを目指す姿勢を涵養する。										
到達目標	作品が執筆された時代、社会背景について調査し、語、熟語、英文の意味を文脈に即して正確に把握することができる。精読を通じて作品の面白みを味わいながら内容への造詣を深めることができる。1作品翻訳することによる達成感と自信を感じることができる。										
学修者への期待等	本授業では「総合演習Ⅰ」で扱った英語文学作品より語彙レベルが高い作品をテキストとして使用し、作品が執筆された当時の周回の調査をしながら翻訳を行います。各回で各自が担当した範囲の内容の発表や担当箇所でてきた興味深い語彙や、構文、周辺情報等を発表してもらいますので合わせてノートに書き留めてください。最終的にそれぞれに翻訳ノートを提出して頂きます。										
回	授業計画					準備学修					
1	本ゼミの目的進め方、ゼミグループメンバー確認、講読テキストの選択、読書翻訳計画の作成					テキストを各自購入しておき、簡単に目を通して読書翻訳計画を立てておいてください。(概ね1時間)					
2	作品講読と翻訳 (1.A voyage to Lilliput中の担当箇所)、内容の発表、担当箇所に関しての周辺情報、気になった表現などの発表					担当箇所の精読と翻訳、作品の時代・文化背景に関する周辺情報調査 (インターネット等)、気になる語彙や表現のまとめ (概ね1～2時間)					
3	作品講読と翻訳 (2.Life in Lilliput中の担当箇所)、内容の発表、担当箇所に関しての周辺情報、気になった表現などの発表					担当箇所の精読と翻訳、作品の時代・文化背景に関する周辺情報調査 (インターネット等)、気になる語彙や表現のまとめ (概ね1～2時間)					
4	作品講読と翻訳 (3.Lilliput at war中の担当箇所)、内容の発表、担当箇所に関しての周辺情報、気になった表現などの発表					担当箇所の精読と翻訳、作品の時代・文化背景に関する周辺情報調査 (インターネット等)、気になる語彙や表現のまとめ (概ね1～2時間)					
5	作品講読と翻訳 (4.Gulliver escapes from Lilliput中の担当箇所)、内容の発表、担当箇所に関しての周辺情報、気になった表現などの発表					担当箇所の精読と翻訳、作品の時代・文化背景に関する周辺情報調査 (インターネット等)、気になる語彙や表現のまとめ (概ね1～2時間)					
6	作品講読と翻訳 (5.A voyage to Brobdingnag中の担当箇所)、内容の発表、担当箇所に関しての周辺情報、気になった表現などの発表					担当箇所の精読と翻訳、作品の時代・文化背景に関する周辺情報調査 (インターネット等)、気になる語彙や表現のまとめ (概ね1～2時間)					
7	作品講読と翻訳 (6.Gulliver and his master中の担当箇所)、内容の発表、担当箇所に関しての周辺情報、気になった表現などの発表					担当箇所の精読と翻訳、作品の時代・文化背景に関する周辺情報調査 (インターネット等)、気になる語彙や表現のまとめ (概ね1～2時間)					
8	作品講読と翻訳 (7.At the King’s palace中の担当箇所)、内容の発表、担当箇所に関しての周辺情報、気になった表現などの発表					担当箇所の精読と翻訳、作品の時代・文化背景に関する周辺情報調査 (インターネット等)、気になる語彙や表現のまとめ (概ね1～2時間)					
9	作品講読と翻訳 (8.More adventures in Brobdingnag中の担当箇所)、内容の発表、担当箇所に関しての周辺情報、気になった表現などの発表					担当箇所の精読と翻訳、作品の時代・文化背景に関する周辺情報調査 (インターネット等)、気になる語彙や表現のまとめ (概ね1～2時間)					
10	作品講読と翻訳 (9.Gulliver escapes from Brobdingnag中の担当箇所)、内容の発表、担当箇所に関しての周辺情報、気になった表現などの発表					担当箇所の精読と翻訳、作品の時代・文化背景に関する周辺情報調査 (インターネット等)、気になる語彙や表現のまとめ (概ね1～2時間)					
11	作品講読と翻訳 (10.The flying island of Laputa中の担当箇所)、内容の発表、担当箇所に関しての周辺情報、気になった表現などの発表					担当箇所の精読と翻訳、作品の時代・文化背景に関する周辺情報調査 (インターネット等)、気になる語彙や表現のまとめ (概ね1～2時間)					
12	作品講読と翻訳 (11.Glubbubdrib and Luggnagg中の担当箇所)、内容の発表、担当箇所に関しての周辺情報、気になった表現などの発表					担当箇所の精読と翻訳、作品の時代・文化背景に関する周辺情報調査 (インターネット等)、気になる語彙や表現のまとめ (概ね1～2時間)					
13	作品講読と翻訳 (12.A voyage to the country of the Houyhnhnms中の担当箇所)、内容の発表、担当箇所に関しての周辺情報、気になった表現などの発表					担当箇所の精読と翻訳、作品の時代・文化背景に関する周辺情報調査 (インターネット等)、気になる語彙や表現のまとめ (概ね1～2時間)					
14	作品講読を通して得た情報や知識のまとめ、内容の要約・感想文作成と発表					これまでの精読と翻訳の振り返り、翻訳・単語表現ノートの振り返りとまとめ (概ね2時間)					
15	まとめと総合演習Ⅱ (後期) の内容について					提出用翻訳ノート、読後感の作成 (概ね3時間)					
教科書	「Oxford Bookworm Library Oxford University Press Jonathan Swift Gulliver’s Travels (Stage 4)										
参考文献	「イギリス・アメリカ文学史 作家のこころ」 福田昇八 南雲堂										
備考	辞書必携、逐次参照。状況により、遠隔授業になる場合があります。										

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力	科目ナンバリング					
		●	●	●	●	CE-4-ESE-04					
科目名	総合演習Ⅱ				単位 認定者	相田 明子		評価の 方法	授業内課題等(発表・レポート)	70	%
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	2年	開講時期	前期	単位数	1 単位		受講態度	30	%
					授業形態	演習	授業時間数		30 時間		
							授業回数		15 回		
授業の概要	本科目では、1年次の学修を基に、自分で考え、課題を発見し、解決する力、情報や異文化、他者の考えなどを理解する力を総合的に育成することを目標とする。少人数のゼミを編成し、英語力、 コミュニケーション力、プレゼンテーション力、を深化させ、自主的にスキルアップを目指す姿勢を涵養する。										
到達目標	1. 児童文学に関する基礎的知識について学び、作品を読解する際に活用することができる。 2. 英語で書かれた詩や小説を、辞書を用いて精密に読む(和訳する) ことができる。 3. 詩や小説を通して学ぶ異文化的な背景に興味を持ち、探求することができる。 すべての項目において、グループで相談しながら達成することができる。										
学修者への期待等	P.L.Traversの <i>Mary Poppins</i> を精読します。 授業の準備として、テキストの予習とグループによる作品解釈が求められます。また、声に出して英語を「読む」、作品から読み取れる歴史的な背景や文化・慣習を「調べる」、作品に関する挿絵や映像を「見る」ことによって、総合的に理解を深めます。準備学修も含め、積極的に楽しく学ぶ姿勢が求められます。										
回	授業計画					準備学修					
1	Introduction of Marry Poppins(1) 映画『メアリーポピンズ』を鑑賞する					(予習) 本シラバスをよく読み、授業内容を確認しておく。 また、インターネットなどで検索し、作品の背景に関する情報を知っておく(概ね30分)					
2	Introduction of Marry Poppins(2) 児童文学の成り立ち(概説)、映画鑑賞					(予習) 作者 P.L.Traversについて調べる(概ね30分)					
3	1 East Wind (1) 精読と発表					(予習) Chapter 1の精読、分からない箇所は事前にグループ内で話し合っておく(概ね2時間)					
4	1 East Wind (2) ナニーについて(概説・ディスカッション)					(復習) Chapter 1を読み、気になった事柄(文化的・社会的事項、挿話、言葉遊び等)を挙げておく(概ね30分)					
5	2 The Day Out (1) 精読と発表					(予習) Chapter 2の精読、分からない箇所は事前にグループ内で話し合っておく(概ね2時間)					
6	2 The Dat Out (2) 挿絵と絵本(概説・ディスカッション)					(復習) Chapter 2を読み、気になった事柄(文化的・社会的事項、挿話、英語表現等)を挙げておく(概ね30分)					
7	3 Laughing Gas (1) 精読と発表					(予習) Chapter 3の精読、分からない箇所は事前にグループ内で話し合っておく(概ね2時間)					
8	3 Laughing Gas (2) 作品の時代背景					(復習) Chapter 3を読み、気になった事柄(文化的・社会的事項、挿話、英語表現等)を挙げておく(概ね30分)					
9	4 Miss Lark's Andrew (1) 精読と発表					(予習) Chapter 4の精読、分からない箇所は事前にグループ内で話し合っておく(概ね2時間)					
10	4 Miss Lark's Andrew (2) 時代背景と子どもたち					(復習) Chapter 4を読み、気になった事柄(文化的・社会的事項、挿話、英語表現等)を挙げておく(概ね30分)					
11	5 The Dancing Cow (1) 精読と発表					(予習) Chapter 5の精読、分からない箇所は事前にグループ内で話し合っておく(概ね1時間)					
12	5 The Dancing Cow (2) 英国ナニー事情					(復習) Chapter 5を読み、気になった事柄(文化的・社会的事項、挿話、英語表現等)を挙げておく(概ね30分)					
13	6 Bad Tuesday (revised version) (1) 精読と発表					(予習) Chapter 6の精読、分からない箇所は事前にグループ内で話し合っておく(概ね2時間)					
14	6 Bad Tuesda y(revised version) (2) ナニーの役割(ディスカッション)					(復習) Chapter 6を読み、気になった事柄(文化的・社会的事項、挿話、英語表現等)を挙げておく(概ね30分)					
15	これまでのまとめ/レポート創作のための主題を考える					(予習) これまでの内容をふりかえり、テキストに関連する事柄で、自分が取り組みたい研究テーマについて考えてくる(概ね1時間)					
教科書	「Mary Poppins」 P.L.Travers Houghton Mifflin Harcourt 1997										
参考文献	授業中に指示する										
備考	受講者の理解度等により順番や重点の置き方を変更する場合がある。状況により遠隔授業になる場合がある。										
※以下は該当者のみ記載する。											
実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)											

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力	科目ナンバリング CE-4-ESE-07					
		●	●	●	●						
科目名	総合演習Ⅲ				単位 認定者	スミス アンソニー		評価 の方法	試験 (レポート)	60	%
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	2年	開講時期	後期	単位数	1 単位		授業内課題等	20	%
						授業時間数	30 時間		受講態度	20	%
					授業形態	演習	授業回数		15 回		
授業の概要	本科目では、総合演習Ⅱの学びを発展させ、自分で考え、課題を発見し、解決する力、情報や異文化、他者の考えなどを理解する力を総合的に育成することを目標とする。少人数のゼミを編成し、英語力、コミュニケーション力、プレゼンテーション力を深化させ、卒業後も学び続ける姿勢を涵養する。										
到達目標	英語の歴史、及びブリテン島の歴史を学ぶ。										
学修者への 期待等	配付されたプリント教材等を十分に読み、内容を把握した上で授業に臨むこと。										
回	授業計画					準備学修					
1	Introduction Indo-European Languages					プリント Indo-European Languages について予習しておくこと。(概ね60分)					
2	Britain Before the Coming of the Anglo-Saxons (1)Discussion					プリント Britain Before the Coming of the Anglo-Saxons について予習しておくこと。(概ね60分)					
3	Britain Before the Coming of the Anglo-Saxons (2)Presentation					プリント Britain Before the Coming of the Anglo-Saxonsについて予習しておくこと。(概ね60分)					
4	The Coming of the Anglo-Saxons (1)Discussion					プリント The Coming of the Anglo-Saxons について予習しておくこと。(概ね60分)					
5	The Coming of the Anglo-Saxons (2)Presentation					プリント The Coming of the Anglo-Saxons について予習しておくこと。(概ね60分)					
6	Old English					プリント Old English について予習しておくこと。(概ね60分)					
7	The Scandinavian Invasions (1)Discussion					プリント The Scandinavian Invasionsについて予習しておくこと。(概ね60分)					
8	The Scandinavian Invasions (2)Presentation					プリント The Scandinavian Invasions について予習しておくこと。(概ね60分)					
9	The Norman Conquest (1)Discussion					プリント The Norman Conquest について予習しておくこと。(概ね60分)					
10	The Norman Conquest (2)Presentation					プリント The Norman Conquest について予習しておくこと。(概ね60分)					
11	Middle English					プリント Middle English について予習しておくこと。(概ね60分)					
12	Early Modern English					プリント Early Modern English について予習しておくこと。(概ね60分)					
13	Summary of the History of the English Language (1)Discussion					プリント History of the English Language について予習しておくこと。(概ね60分)					
14	Summary of the History of the English Language (2)Presentation					プリント History of the English Language について予習しておくこと。(概ね60分)					
15	Discussion & Presentation										
教科書	プリント教材										
参考文献	授業内で適宜紹介する。										
備考	状況により遠隔授業に変更する場合がある。										
※以下は該当者のみ記載する。											
実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)											

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力	科目ナンバリング CE-4-ESE-07					
		●	●	●	●						
科目名	総合演習Ⅲ				単位 認定者	ジョーンズ ドミニク		評価 の方法	試験 (レポート)	40	%
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	2 年	開講時期	後期	単位数	1 単位		授業内課題等	30	%
						授業時間数	30 時間		受講態度	30	%
					授業形態	演習	授業回数		15 回		
授業の概要	本科目では、総合演習Ⅱの学びを発展させ、自分で考え、課題を発見し、解決する力、情報や異文化、他者の考えなどを理解する力を総合的に育成することを目標とする。少人数のゼミを編成し、英語力、コミュニケーション力、プレゼンテーション力を深化させ、卒業後も学び続ける姿勢を涵養する。										
到達目標	この授業の目標は、思考、目標設定、コミュニケーション、問題解決のライフスキルを高め、基本的な知識と理解を深めることにある。										
学修者への 期待等	積極的に楽しく取り組むことのできる学生の履修を希望する。配付されたプリント教材等を十分に読み、内容を把握した上で授業に臨むこと。ゼミ生には積極的な取り組みを期待しています。意見を出し合い高めあうゼミになることを目指しています。										
回	授業計画					準備学修					
1	Interview Questions					Interview Questionsの予習（概ね30分） 復習（概ね20分）					
2	Applied Interview Questions					Applied Interview Questionsの予習（概ね30分） 復習（概ね20分）					
3	Self-Defense					Self-Defenseの予習（概ね30分）					
4	Applied Self-Defense					Applied Self-Defenseの予習（概ね30分）					
5	Persuasion					Persuasionの予習（概ね30分） 復習（概ね20分）					
6	Media Bias					Media Biasの予習（概ね30分） 復習（概ね20分）					
7	ゲストスピーカーによる講演会					（予習）ゲストスピーカーへの質問を 考えてきてください。（概ね30分程度）					
8	Exponential Thinking					Exponential Thinkingの予習（概ね30分） 復習（概ね20分）					
9	Disruption					Disruptionの予習（概ね30分） 復習（概ね20分）					
10	UN SDGs					UN SDGsの予習（概ね30分） 復習（概ね20分）					
11	TED Count Us In					TED Count Us Inの予習（概ね30分） 復習（概ね20分）					
12	Personality Types					Personality Typesの予習（概ね30分） 復習（概ね20分）					
13	Social Styles					Social Stylesの予習（概ね30分） 復習（概ね20分）					
14	プレゼンテーションⅢ（1） Presentation preparation					発表の準備をしてきてください（概ね1時間）					
15	プレゼンテーションⅢ（2） Presentation										
教科書	適宜、資料を配布する。										
参考文献	授業内で適宜紹介する。										
備考	状況により、遠隔授業になる場合がある。授業内容には若干の変更がある場合があります。										

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力	科目ナンバリング CE-4-ESE-07					
		●	●	●	●						
科目名	総合演習Ⅲ				単位 認定者	金井 典子		評価 の方法	試験 (レポート)	30	%
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	2年	開講時期	後期 <th>単位数</th> <td>1 単位</td> <td>授業内課題</td> <td>50</td> <td>%</td>	単位数	1 単位		授業内課題	50	%
						授業時間数	30 時間		受講態度	20	%
					授業形態	演習	授業回数		15 回		
授業の概要	本科目では、総合演習Ⅱの学びを発展させ、自分で考え、課題を発見し、解決する力、情報や異文化、他者の考えなどを理解する力を総合的に育成することを目標とする。少人数のゼミを編成し、英語力、コミュニケーション力、プレゼンテーション力を深化させ、卒業後も学び続ける姿勢を涵養する。										
到達目標	・声による表現を主眼とした朗読的に取り組み、自身の英語力の向上に努める。 ・英語のプロソディを理解し、自信の発話についても意識して応用することができる。 ・プロジェクト活動により、チームで働く力を培い、発揮する。										
学修者への 期待等	クリエイティブな活動のため、ゼミ生には積極的な姿勢を期待しています。意見を出し合い高めあうゼミになることを目指しています。12月に開催予定のオーラルコミュニケーションフェスティバルに参加予定です。										
回	授業計画					準備学修					
1	("Poupelle" project) プロジェクト方針と計画 ディスカッション					【事後】 作品を再度読み、内容を熟考する（概ね30分程度）。					
2	("Poupelle" project) 台本化①全体の構図を決め、台本化作業を行う。グループワーク										
3	("Poupelle" project) 台本化②台本を修正し完成させる。ディスカッション					【事後】 完成した台本を何度も音読しておく（概ね60分程度）。					
4	("Poupelle" project) 音声練習①正しい発音に留意し、相応しい抑揚表現を考え、読み合わせを行う。					【事後】 指定の箇所を録音しLMSに提出する（概ね30分程度）。					
5	("Poupelle" project) 音声練習②正しい発音に留意し、場面・状況から抑揚表現を考え、読み合わせを行う。					【事後】 指定の箇所を録音しLMSに提出する（概ね30分程度）。					
6	("Poupelle" project) 音声練習③掛け合いのタイミングを考え、読み合わせを行う。グループワーク					【事後】 指定の箇所を録音しLMSに提出する（概ね30分程度）。					
7	("Poupelle" project) 非言語コミュニケーション①非言語媒体の採用について検討する。ディスカッション					【事後】 指定の箇所を録音しLMSに提出する（概ね30分程度）。					
8	("Poupelle" project) 非言語コミュニケーション②朗読を妨げない非言語媒体の適量を検討する。ディスカッション					【事後】 必要な非言語媒体を作成する（概ね60分程度）。					
9	("Poupelle" project) 完成版①非言語媒体を加えた朗読劇を行い、撮影したものから修正点を挙げる。ディスカッション					【事後】 グループ練習を行う（概ね30分程度）。					
10	("Poupelle" project) 完成版②修正点を反映させ、その内容を精査し、完成版とする。ディスカッション					【事後】 グループ練習を行う（概ね30分程度）。					
11	("Poupelle" project) 完成版③完成版を撮影する。本プロジェクトの学びを集約する。ディスカッション					【事後】 グループ練習を行う（概ね30分程度）。					
12	他大学との学び オーラルコミュニケーションフェスティバル（OCF）参加大学、出場作品から学ぶ。					【事後】 OCF参加についての気づきをまとめる（概ね30分程度）。					
13	OCFの振り返り、ディスカッション ゼミ合同発表会への準備 発表会の詳細決定、2年生の役割分担					【事後】 合同発表会へ向けて必要な準備を行う（概ね30分程度）。					
14	ゼミ合同発表会と意見交換 ディスカッション【合同開講：1年総合演習Ⅰ 14回目】										
15	総合演習Ⅲの振り返り グループディスカッションと発表					期末レポート執筆（概ね60分程度）。					
教科書	必要に応じて、別途購入の指示をする。										
参考文献	「えんとつ町のプペル」にしにあきひろ 幻冬舎										
備考	状況により、遠隔授業になる場合がある。OCF開催日に応じて、実施の順を変更する場合がある。 LMSに提出の音声課題は、LMS上でコメントと評価のフィードバックを行う。										
※以下は該当者のみ記載する。											
実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)											

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力	科目ナンバリング				
		●	●	●	●	CE-4-ESE-07				
科目名	総合演習Ⅲ				単位 認定者	小松 義隆		評価 の 方法	試験 (レポート)	60 %
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	2 年	開講時期	後期 <td>単位数</td> <td>1 単位</td> <td>授業内課題等</td> <td>10 %</td>	単位数	1 単位		授業内課題等	10 %
						授業時間数	30 時間		受講態度	30 %
				授業形態	演習 <th>授業回数</th> <td>15 回</td> <td></td> <td></td>		授業回数		15 回	
授業の概要	本科目では、1年次の学修を基に、自分で考え、課題を発見し、解決する力、情報や異文化、他者の考えなどを理解する力を総合的に育成することを目標とする。少人数のゼミを編成し、英語力、 コミュニケーション力、 プレゼンテーション力、を深化させ、自主的にスキルアップを目指す姿勢を涵養する。									
到達目標	作品が執筆された時代、社会背景について調査し、語、熟語、英文の意味を文脈に即して正確に把握することができる。精読を通じて作品の面白みを味わいながら内容への造詣を深めることができる。英米語の表現の違い等について気づき、理解することができる。1作品翻訳することによる達成感と自信を感じることができる。									
学修者への期待等	本授業では「総合演習Ⅱ」で扱った英語文学作品と同程度の語彙レベルの作品をテキストとして使用します。「総合演習Ⅰ」、「総合演習Ⅱ」では英文学作品を取り挙げましたので、本授業では米文学作品を英米の違いを意識しながら精読します。執筆された当時の歴史背景や英米の表現の違い等も各自で調べてください。各授業回で担当した範囲の内容の発表や担当箇所に出てきた興味深い語彙や、構文、周辺情報等を発表してもらいますので合わせてノートに書き留めてください。最終的にそれぞれに翻訳ノートを提出して頂きます。									
回	授業計画					準備学修				
1	本ゼミの目的進め方、ゼミグループメンバー確認、講読テキストの選択、読書翻訳計画の作成					テキストを各自購入しておき、簡単に目を通して読書翻訳計画を立てておいてください。（概ね1時間）				
2	作品講読と翻訳（1.A voyage to Lilliput中の担当箇所）、内容の発表、担当箇所に関しての周辺情報、気になった表現などの発表					担当箇所の精読と翻訳、作品の時代・文化背景に関する周辺情報調査（インターネット等）、気になる語彙や表現のまとめ（概ね1～2時間）				
3	作品講読と翻訳（2.Life in Lilliput中の担当箇所）、内容の発表、担当箇所に関しての周辺情報、気になった表現などの発表					担当箇所の精読と翻訳、作品の時代・文化背景に関する周辺情報調査（インターネット等）、気になる語彙や表現のまとめ（概ね1～2時間）				
4	作品講読と翻訳（3.Lilliput at war中の担当箇所）、内容の発表、担当箇所に関しての周辺情報、気になった表現などの発表					担当箇所の精読と翻訳、作品の時代・文化背景に関する周辺情報調査（インターネット等）、気になる語彙や表現のまとめ（概ね1～2時間）				
5	作品講読と翻訳（4.Gulliver escapes from Lilliput中の担当箇所）、内容の発表、担当箇所に関しての周辺情報、気になった表現などの発表					担当箇所の精読と翻訳、作品の時代・文化背景に関する周辺情報調査（インターネット等）、気になる語彙や表現のまとめ（概ね1～2時間）				
6	作品講読と翻訳（5.A voyage to Brobdingnag中の担当箇所）、内容の発表、担当箇所に関しての周辺情報、気になった表現などの発表					担当箇所の精読と翻訳、作品の時代・文化背景に関する周辺情報調査（インターネット等）、気になる語彙や表現のまとめ（概ね1～2時間）				
7	作品講読と翻訳（6.Gulliver and his master中の担当箇所）、内容の発表、担当箇所に関しての周辺情報、気になった表現などの発表					担当箇所の精読と翻訳、作品の時代・文化背景に関する周辺情報調査（インターネット等）、気になる語彙や表現のまとめ（概ね1～2時間）				
8	作品講読と翻訳（7.At the King’s palace中の担当箇所）、内容の発表、担当箇所に関しての周辺情報、気になった表現などの発表					担当箇所の精読と翻訳、作品の時代・文化背景に関する周辺情報調査（インターネット等）、気になる語彙や表現のまとめ（概ね1～2時間）				
9	作品講読と翻訳（8.More adventures in Brobdingnag中の担当箇所）、内容の発表、担当箇所に関しての周辺情報、気になった表現などの発表					担当箇所の精読と翻訳、作品の時代・文化背景に関する周辺情報調査（インターネット等）、気になる語彙や表現のまとめ（概ね1～2時間）				
10	作品講読と翻訳（9.Gulliver escapes from Brobdingnag中の担当箇所）、内容の発表、担当箇所に関しての周辺情報、気になった表現などの発表					担当箇所の精読と翻訳、作品の時代・文化背景に関する周辺情報調査（インターネット等）、気になる語彙や表現のまとめ（概ね1～2時間）				
11	作品講読と翻訳（10.The flying island of Laputa中の担当箇所）、内容の発表、担当箇所に関しての周辺情報、気になった表現などの発表					担当箇所の精読と翻訳、作品の時代・文化背景に関する周辺情報調査（インターネット等）、気になる語彙や表現のまとめ（概ね1～2時間）				
12	作品講読と翻訳（11.Glubbubdrib and Luggnagg中の担当箇所）、内容の発表、担当箇所に関しての周辺情報、気になった表現などの発表					担当箇所の精読と翻訳、作品の時代・文化背景に関する周辺情報調査（インターネット等）、気になる語彙や表現のまとめ（概ね1～2時間）				
13	作品講読と翻訳（12.A voyage to the country of the Houyhnhnms中の担当箇所）、内容の発表、担当箇所に関しての周辺情報、気になった表現などの発表					担当箇所の精読と翻訳、作品の時代・文化背景に関する周辺情報調査（インターネット等）、気になる語彙や表現のまとめ（概ね1～2時間）				
14	作品講読を通して得た情報や知識のまとめ、内容の要約・感想文作成と発表					これまでの精読と翻訳の振り返り、翻訳・単語表現ノートの振り返りとまとめ（概ね2時間）				
15	まとめと総合演習Ⅱ（後期）の内容について					提出用翻訳ノート、読後感の作成（概ね3時間）				
教科書	「Oxford Bookworm Library Oxford University Press Louisa May Alcott <i>Little Women</i> (Stage 4)									
参考文献	「イギリス・アメリカ文学史 作家のこころ」福田昇八 南雲堂									
備考	辞書必携、逐次参照。 状況により、遠隔授業になる場合があります。									

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力	科目ナンバリング CE-4-ESE-07						
		●	●	●	●							
科目名	総合演習Ⅲ					単位 認定者	相田 明子		評 価 の 方 法	授業内課題等(発表・レポート)	70	%
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	2年	開講時期	後期	単位数	1 単位	受講態度		30	%	
						授業時間数	30 時間					
					授業形態	演習	授業回数	15 回				
授業の概要	本科目では、総合演習Ⅱの学びを発展させ、自分で考え、課題を発見し、解決する力、情報や異文化、他者の考えなどを理解する力を総合的に育成することを目指す。少人数のゼミを編成し、英語力、コミュニケーション力、プレゼンテーション力を深化させ、卒業後も学び続ける姿勢を涵養する。											
到達目標	1. 児童文学に関する基礎的知識について学び、作品を読解する際に活用することができる。 2. 英語で書かれた詩や小説を、辞書を用いて精密に読む(和訳する)ことができる。 3. 詩や小説を通して学ぶ異文化的な背景に興味を持ち、探求することができる。 すべての項目において、グループで相談しながら達成することができる。											
学修者への期待等	演習Ⅱに続き、P.L.Traversの <i>Mary Poppins</i> を精読します。 授業の準備として、テキストの予習とグループによる作品解釈が求められます。また、声に出して英語を「読む」、作品から読み取れる歴史的な背景や文化・慣習を「調べる」、作品に関する挿絵や映像を「見る」ことによって、総合的に理解を深めます。準備学修も含め、積極的に楽しく学ぶ姿勢が求められます。											
回	授業計画					準備学修						
1	・授業のIntroduction ・英語IIレポートのフィードバック					(予習) 本シラバスをよく読み、授業内容を確認しておく。また、インターネットなどで検索し、作品の背景に関する情報を調べておく(概ね30分)						
2	7 The Bird Woman (1)精読と発表					(予習) Chapter 7の精読、分からない箇所は事前にグループ内で話し合っておく(概ね2時間)						
3	7 The Bird Woman (2)英国の階級制度					(復習) Chapter7を読み、気になった事柄(文化的・社会的事項、挿話、英語表現等)を挙げておく(概ね30分)						
4	8 Mrs. Corry (1)精読と発表					(予習) Chapter 8の精読、分からない箇所は事前にグループ内で話し合っておく(概ね2時間)						
5	8 Mrs. Corry (2)英国の学校制度					(復習) Chapter8を読み、気になった事柄(文化的・社会的事項、挿話、英語表現等)を挙げておく(概ね30分)						
6	9 John and Barbara's Story (1)精読と発表					(予習) Chapter 9の精読、分からない箇所は事前にグループ内で話し合っておく(概ね2時間)						
7	9 John and Barbara's Story (2)教育制度と発音					(復習) Chapter9を読み、気になった事柄(文化的・社会的事項、挿話、英語表現等)を挙げておく(概ね30分)						
8	10 Full Moon (1)精読と発表					(予習) Chapter 10の精読、分からない箇所は事前にグループ内で話し合っておく(概ね2時間)						
9	10 Full Moon (2)女性の職業(ディスカッション)					(復習) Chapter10を読み、気になった事柄(文化的・社会的事項、挿話、英語表現等)を挙げておく(概ね30分)						
10	11 Christmas Shopping (1)精読と発表					(予習) Chapter 11の精読、分からない箇所は事前にグループ内で話し合っておく(概ね2時間)						
11	11 Christmas Shopping (2)作品のテーマ(検索・考察)					(復習) Chapter11を読み、気になった事柄(文化的・社会的事項、挿話、英語表現等)を挙げておく(概ね30分)						
12	12 West Wind (1)精読と発表					(予習) Chapter 12の精読、分からない箇所は事前にグループ内で話し合っておく(概ね2時間)						
13	12 West Wind (2)作品のテーマ(ディスカッション)					(復習) Chapter12を読み、気になった事柄(文化的・社会的事項、挿話、英語表現等)を挙げておく(概ね30分)						
14	『ウォルト・ディズニーの約束』を視聴する 映画化と商業主義について(概説・ディスカッション)					(予習) 配布されたプリントを読み、要点をまとめておく(概ね1時間)						
15	これまでのまとめ / レポート創作のための主題を考える					(予習) これまでの内容をふりかえり、テキストに関連する事柄で、自分が取り組みたい研究テーマについて考えてくる(概ね1時間)						
教科書	「Mary Poppins」P.L.Travers (Houghton Mifflin Harcourt, 1997)											
参考文献	授業中に指示する											
備考	受講者の理解度等により順番や重点の置き方を変更する場合がある。状況により遠隔授業になる場合がある。											
※以下は該当者のみ記載する。												
実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)												

現代英語学科

- ナンバリング
- 学科教員一覧
- 実務経験を有する教員一覧
- オフィスアワー
- 成績評価

1. ナンバリングの見方

【例】NT-1-○○○-01

NT	-	1	-	○○○	-	01
①	半角[-]	②	半角[-]	③	半角[-]	④

① 学科略称（全学共通教養科目も独立した略称）

半角アルファベット（大文字）2桁

全学共通教養教育科目：CO

看護学科：NT

BC学科：BC

リハ学科：理学療法専攻 RP、作業療法専攻 RO

子供学科：CS

歯科衛生学科：DH

栄養学科：NT

観光ビジネス学科：TB

現代英語学科：CE

② 科目レベル

教養科目：0（全学共通教養科目も学科独自教養科目も同じ）

専門支持科目：1

専門展開科目：2

専門統合科目：3

（学科によって専門科目の区分が若干異なるので、基礎的科目分類から順に1から番号を振る）

③ 科目分類

半角アルファベット（大文字）3桁

教養科目は人間と文化：HCU（Human & culture）

人間と社会：HSO（Human & society）

人間と科学：HSC（Human & science）

④ 連続番号

半角数字2桁

全学共通教養教育科目は全学科、以下のナンバリングを使用する。

科目名称	ナンバリング
日本語表現法	CO-0-HCU-01
英語	CO-0-HCU-02

歴史と文化	CO-0-HCU-03
大学生活論	CO-0-HSO-01
暮らしの中の法律	CO-0-HSO-02
現代の社会	CO-0-HSO-03
情報処理	CO-0-HSC-01

2. 現代英語学科のナンバリングの見方

【例】CE-1-〇〇〇-01

CE	-	1	-	〇〇〇	-	01
①	半角[-]	②	半角[-]	③	半角[-]	⑤

- ① 学科（専攻）識別番号
現代英語学科：CE 固定

- ② 科目レベル
教養科目：0
専門基礎科目：1
専門展開科目：2
関連科目：3
演習科目：4

- ③ 科目分類
半角アルファベット（大文字）3桁

専門基礎科目	EBA	English Basics
専門展開科目	EAD	English Advanced
関連科目	RCO	Related Course
演習科目	ESE	English Seminar *英語以外の演習科目もあるが、英語 学科設置の演習科目としてひとく くりに扱う

- ④ 連続番号
半角数字 2桁

2020 年度以前入学生 科目ナンバリング

教養教育分野	人間と文化	日本語表現法	CO-0-HCU-01
		言語学基礎	CE-0-HCU-01
		東北学	CE-0-HCU-02
		歴史と文化	CO-0-HCU-03
	人間と社会	大学生活論	CO-0-HSO-01
		心理学	CE-0-HSO-01
		暮らしの中の法律	CO-0-HSO-02
		現代の社会	CO-0-HSO-03
	人間と科学	情報処理Ⅰ	CO-0-HSC-01
		情報処理Ⅱ	CE-0-HSC-01
		食と健康	CE-0-HSC-02
専門教育分野	専門基礎科目 1 EBA	Oral CommunicationⅠ	CE-1-EBA-01
		Oral CommunicationⅡ	CE-1-EBA-02
		ListeningⅠ	CE-1-EBA-03
		ListeningⅡ	CE-1-EBA-04
		Reading & VocabularyⅠ	CE-1-EBA-05
		Reading & VocabularyⅡ	CE-1-EBA-06
		Grammar & CompositionⅠ	CE-1-EBA-07
		Grammar & CompositionⅡ	CE-1-EBA-08
		国際文化論	CE-1-EBA-09
	専門展開科目 2 EAD	Oral CommunicationⅢ	CE-2-EAD-01
		Business Communication	CE-2-EAD-02
		Media English	CE-2-EAD-03
		Essay Writing	CE-2-EAD-04
		Public Speaking	CE-2-EAD-05
		Extensive Reading	CE-2-EAD-06
		英語文学講読	CE-2-EAD-07
		English for Tourism	CE-2-EAD-08
		Chorus English	CE-2-EAD-09
		Cinema English	CE-2-EAD-10
		Drama English	CE-2-EAD-11
		海外研修	CE-2-EAD-12
	関連科目 3 RCO	ビジネスプロトコール	CE-3-RCO-01
		マーケティング	CE-3-RCO-02
		ビジネス文書実務	CE-3-RCO-03
		観光ビジネス論	CE-3-RCO-04
		エアラインサービス	CE-3-RCO-05

演習分野	演習科目 4 ESE	キャリア形成演習	CE-4-ESE-01
		基礎ゼミ	CE-4-ESE-02
		総合演習Ⅰ	CE-4-ESE-03
		総合演習Ⅱ	CE-4-ESE-04
		英語特別演習Ⅰ	CE-4-ESE-05
		英語特別演習Ⅱ	CE-4-ESE-06

2021 年度以降入学生 科目ナンバリング

教養教育分野	人間と文化 0 HCU	日本語表現法	CO-0-HCU-01
		国際文化	CE-0-HCU-03
		歴史と文化	CO-0-HCU-03
	人間と社会 0 HSO	心理学	CE-0-HSO-01
		法律入門	CO-0-HSO-04
		現代の社会	CO-0-HSO-03
	人間と科学 0 HSC	情報処理Ⅰ	CO-0-HSC-01
		情報処理Ⅱ	CE-0-HSC-01
専門教育分野	専門基礎科目 1 EBA	Oral CommunicationⅠ	CE-1-EBA-01
		Oral CommunicationⅡ	CE-1-EBA-02
		ListeningⅠ	CE-1-EBA-03
		ListeningⅡ	CE-1-EBA-04
		Reading & VocabularyⅠ	CE-1-EBA-05
		Reading & VocabularyⅡ	CE-1-EBA-06
		Grammar & CompositionⅠ	CE-1-EBA-07
		Grammar & CompositionⅡ	CE-1-EBA-08
	専門展開科目 2 EAD	Oral CommunicationⅢ	CE-2-EAD-01
		Business Communication	CE-2-EAD-02
		Essay Writing	CE-2-EAD-04
		Media English	CE-2-EAD-03
		Public Speaking	CE-2-EAD-05
		Debating Skills	CE-2-EAD-13
		Extensive Reading	CE-2-EAD-06
		Advanced Reading	CE-2-EAD-07
		English for Tourism	CE-2-EAD-08
		Chorus English	CE-2-EAD-09
		Cinema English	CE-2-EAD-10
		Drama Workshop	CE-2-EAD-11
		海外研修	CE-2-EAD-12
		オンライン語学研修	CE-2-EAD-13

	関連科目 3 RCO	ビジネスプロトコール	CE-3-RCO-01
		秘書実務	CE-3-RCO-06
		観光ビジネス論	CE-3-RCO-04
		エアラインサービス	CE-3-RCO-05
		フランス語Ⅰ	CE-3-RCO-07
		フランス語Ⅱ	CE-3-RCO-08
演習分野	演習科目 4 ESE	キャリア形成演習Ⅰ	CE-4-ESE-05
		キャリア形成演習Ⅱ	CE-4-ESE-06
		基礎ゼミ	CE-4-ESE-02
		総合演習Ⅰ	CE-4-ESE-03
		総合演習Ⅱ	CE-4-ESE-04
		総合演習Ⅲ	CE-4-ESE-07
		TOEIC Preparation	CE-4-ESE-08
		STEP Preparation	CE-4-ESE-09

現代英語学科 学科教員一覧

	職位	氏名	研究室	電話番号	E-mail
1	教授 (学科長)	スミス アンソニー SMITH ANTHONY	スミス 研究室	022-302-5489	a_smith@seiyogakuin.ac.jp
2	教授	ジョーンズ ドミニク JONES DOMINIC	ジョーンズ 研究室	022-302-5490	d_jones@seiyogakuin.ac.jp
3	教授	カナイ ノリコ 金井 典子	金井 研究室	022-302-5491	n_kanai@seiyogakuin.ac.jp
4	准教授	コマツ ヨシタカ 小松 義隆	小松 研究室	022-302-5584	y_komatsu@seiyogakuin.ac.jp
5	講師	アイタ アキコ 相田 明子	相田 研究室	022-302-4890	a_aida@seiyogakuin.ac.jp

現代英語学科 実務経験を有する教員一覧

科目名	単位	実務教員	実務の概要
暮らしの中の法律	1	鈴木 翔太	公認会計士（法定監査、株式上場支援、内部統制構築支援等業務に従事）
ビジネスプロトコール	2	加藤 雅子	元 航空会社キャビンアテンダント、 接遇マナー、研修業務等の代表
キャリア形成演習Ⅰ	1	川出 裕佳	現在キャリア関係会社にて勤務。公共機 関で勤務等10年以上の実務経験を持つ。
キャリア形成演習Ⅱ	1	加藤 雅子	元 航空会社キャビンアテンダント、 接遇マナー、研修業務等の代表
秘書実務	2	細川 久美子	総務部門における実務経験があり、現在 人事・教育サービス会社の取締役であ る。
	7	実務経験を有する教員が担当する科目の単位	
	62	設置基準上の標準単位数	

2022（令和4）年度 現代英語学科 オフィスアワー

オフィスアワーとは、教員が学生の皆さんとのコミュニケーションを充実させ、個別に相談を受けるために研究室に在室する時間を設ける制度のことです。

相談を希望する教員のオフィスアワーの時間帯は、掲示などによりお知らせします。指定時間に教員が研究室で待機していますが、臨時の会議や出張などにより不在の場合もありますので、電話・メールなどで事前に連絡をとることをおすすめします。

非常勤の先生には、非常勤講師控室（1階事務室内にあります）または授業後の教室で相談をすることができます。

成績評価

成績評価基準は次のとおりです。

判定	成績評価	点数	GP
合格 (単位認定)	秀 (AA)	90点以上	4
	優 (A)	80点以上90点未満	3
	良 (B)	70点以上80点未満	2
	可 (C)	60点以上70点未満	1
不合格 (単位認定不可)	不可 (D)	60点未満 (※)	0
	評価不能 (E)	(1) 履修規程第6条第5項により、受験資格を有しない者 (2) 資格取得に係る実習で、各学科が関係法令を踏まえて授業科目ごとに定める時間数を満たさない者	0

(※) 再試験で合格の場合の成績評価は可 (C)、GP は1ポイントとなります。